

令和3年度
SYLLABUS

日本赤十字豊田看護大学

看護学部 看護学科

令和3年度 学年暦

2021. 3. 31

年月	週数	月	火	水	木	金	土	日	行事等
R.3 4月	1				1	2	3	4	3/31在学生オリエンテーション、4/1-4/2新入生オリエンテーション、4/3入学式、3/31-4/9前期履修登録期間(2-4年生)、4/2-4/9前期履修登録期間(1年生)
	2	5	6	7	8	9	10	11	4/5前期授業開始
	3	12	13	14	15	16	17	18	4/12-4/16前期履修登録変更期間
	4	19	20	21	22	23	24	25	4/21-4/22学生定期健康診断、4/27前期定期試験(4年生)
	5	26	27	28	29	30	1	2	
5月	6	3	4	5	6	7	8	9	
	7	10	11	12	13	14	15	16	
	8	17	18	19	20	21	22	23	
	9	24	25	26	27	28	29	30	5/28いとすぎ祭
6月	10	31	1	2	3	4	5	6	6/4解剖実習の見学(1年生)
	11	7	8	9	10	11	12	13	
	12	14	15	16	17	18	19	20	
	13	21	22	23	24	25	26	27	
7月	14	28	29	30	1	2	3	4	
	15	5	6	7	8	9	10	11	
	16	12	13	14	15	16	17	18	7/17オープンキャンパス
	17	19	20	21	22	23	24	25	
	18	26	27	28	29	30	31	1	
8月	19	2	3	4	5	6	7	8	8/2-8/6前期定期試験(1-3年生)、8/7-9/26夏季休暇期間
	20	9	10	11	12	13	14	15	8/9-8/13全館休館
	21	16	17	18	19	20	21	22	8/20オープンキャンパスミニ、8/23-8/25前期再試験期間(3年生)、英国語学研修、国際救済看護論実習(3年生)
	22	23	24	25	26	27	28	29	
9月	23	30	31	1	2	3	4	5	9/4第1回大学院入試※
	24	6	7	8	9	10	11	12	9/6-9/17統合実習、9/6-10/1後期履修登録期間
	25	13	14	15	16	17	18	19	9/17.22.24前期再試験期間(1.2年生)
	26	20	21	22	23	24	25	26	9/21保健師教育課程選抜試験(2年生)※
	27	27	28	29	30	1	2	3	9/27~看護学各論実習(3年生)、9/27後期授業開始、10/2オープンキャンパスミニ
10月	28	4	5	6	7	8	9	10	10/4-10/8後期履修登録変更期間
	29	11	12	13	14	15	16	17	
	30	18	19	20	21	22	23	24	
	31	25	26	27	28	29	30	31	
11月	32	1	2	3	4	5	6	7	11/2赤十字大会(2年生)
	33	8	9	10	11	12	13	14	
	34	15	16	17	18	19	20	21	11/11防災訓練
	35	22	23	24	25	26	27	28	11/26血液センター見学(1年生)、11/28推薦入試※
	36	29	30	1	2	3	4	5	
12月	37	6	7	8	9	10	11	12	
	38	13	14	15	16	17	18	19	12/13-12/17基礎看護学実習I
	39	20	21	22	23	24	25	26	
	40	27	28	29	30	31	1	2	12/29-1/3冬季休暇期間
R.4 1月	41	3	4	5	6	7	8	9	
	42	10	11	12	13	14	15	16	1/15-1/16大学入学共通テスト、1/24-2/18基礎看護実習II
	43	17	18	19	20	21	22	23	
2月	44	24	25	26	27	28	29	30	1/29大学独自選抜※
	45	31	1	2	3	4	5	6	1/31-2/4後期定期試験(1年生)
	46	7	8	9	10	11	12	13	2/8-2/21保健師専攻学生集中開講期間(2年生)
	47	14	15	16	17	18	19	20	2/7-2/9後期定期試験(3年生)
	48	21	22	23	24	25	26	27	2/19第2回大学院入試※
3月	49	28	1	2	3	4	5	6	2/28-3/3後期試験期間(2年生)、3/5大学入学共通テスト利用選抜(後期)※
	50	7	8	9	10	11	12	13	3/7-3/9後期再試験期間(1.3年生)
	51	14	15	16	17	18	19	20	3/16学位授与式(卒業式)、3/14.15.17後期再試験期間(2年生)
	52	21	22	23	24	25	26	27	
	53	28	29	30	31				3/31在学生オリエンテーション

※…当日および前日は大学への立ち入り制限があります。詳細は適宜お知らせします。

職位		氏名	研究室		メールアドレス
学長	教授	鎌倉 やよい	管理棟3階	学長室	y-kamakura@rctoyota.ac.jp
学部長	教授	村瀬 智子	7階	研究室23	tmurase@rctoyota.ac.jp
研究科長	教授	山田 聡子	5階	研究室1	s-yamada@rctoyota.ac.jp
学務部長		欠			
図書館長	教授	下間 正隆	5階	研究室8	m-shimotsuma@rctoyota.ac.jp

領域	職位	氏名	研究室		メールアドレス
一般教養	特任教授	森 久子	5階	研究室5	mori@rctoyota.ac.jp
	講師	鈴木 寿摩	5階	研究室6	s-suzuki@rctoyota.ac.jp
専門基礎	教授	下間 正隆	5階	研究室8	m-shimotsuma@rctoyota.ac.jp
	教授	森田 一三	5階	研究室9	i-morita@rctoyota.ac.jp
	教授	福間 長知	5階	研究室10	n-fukuma@rctoyota.ac.jp
	助教	高見 精一郎	6階	助手研究室4	takami@rctoyota.ac.jp
	教授	山田 聡子	5階	研究室1	s-yamada@rctoyota.ac.jp
基礎看護学	准教授	中島 佳緒里	5階	研究室7	k-nakajima@rctoyota.ac.jp
	講師	竹内 貴子	5階	研究室3	t-takeuchi@rctoyota.ac.jp
	講師	巻野 雄介	7階	研究室32	y-makino@rctoyota.ac.jp
	助教	加藤 広美	5階	助手研究室2	h-kato@rctoyota.ac.jp
	助教	近藤 絵美	5階	助手研究室2	e-kondo@rctoyota.ac.jp
	助教	池田 亮	5階	助手研究室2	r-ikeda@rctoyota.ac.jp
	助手	高下 翔	5階	助手研究室2	s-takashita@rctoyota.ac.jp
看護管理学	教授	松浦 正子	7階	研究室29	m-matsuura@rctoyota.ac.jp
	准教授	南谷 志野	7階	研究室33	s-nanya@rctoyota.ac.jp
成人看護学	教授	東野 督子	6階	研究室13	tokuko@rctoyota.ac.jp
	准教授	石黒 千映子	6階	研究室12	c-ishiguro@rctoyota.ac.jp
	講師	栩川 綾子	6階	研究室35	a-tochikawa@rctoyota.ac.jp
	助教	田口 栄子	6階	助手研究室3	e-taguchi@rctoyota.ac.jp
	助教	河村 諒	7階	助手研究室5	r-kawamura@rctoyota.ac.jp
	助手	石田 咲	5階	助手研究室1	e-ishida@rctoyota.ac.jp
災害看護学	助手	石原 佳代子	6階	助手研究室3	k-ishihara@rctoyota.ac.jp
	特任教授	小林 洋子	5階	研究室4	y-kobayashi@rctoyota.ac.jp
	講師	長尾 佳世子	5階	研究室2	k-nagao@rctoyota.ac.jp
	講師	藤井 愛海	5階	研究室34	m-fujii@rctoyota.ac.jp
老年看護学	教授	小林 尚司	6階	研究室18	namimo@rctoyota.ac.jp
	准教授	清水 みどり	6階	研究室19	mi-shimizu@rctoyota.ac.jp
	講師	橋本 亜弓	6階	研究室17	a-hashimoto@rctoyota.ac.jp
	助教	近藤 香苗	7階	助手研究室5	k-kondo@rctoyota.ac.jp
	助教	臼井 かおり	7階	助手研究室5	k-usui@rctoyota.ac.jp
在宅看護学	講師	松田 優子	7階	研究室26	y-matsuda@rctoyota.ac.jp
	講師	深谷 由美	5階	研究室11	y-fukaya@rctoyota.ac.jp
母性看護学	教授	野口 眞弓	6階	研究室21	noguchi@rctoyota.ac.jp
	准教授	長田 知恵子	6階	研究室20	c-osada@rctoyota.ac.jp
	講師	千葉 朝子	6階	研究室22	a-chiba@rctoyota.ac.jp
	助手	岩本 真貴子	6階	助手研究室3	m-iwamoto@rctoyota.ac.jp
小児看護学	特任教授	大西 文子	6階	研究室16	fonishi@rctoyota.ac.jp
	准教授	岡田 摩理	6階	研究室14	m-okada@rctoyota.ac.jp
	講師	神道 那実	6階	研究室15	jindo@rctoyota.ac.jp
	助教	遠藤 幸子	5階	助手研究室1	s-endo@rctoyota.ac.jp
	助手	鳥居 賀乃子	5階	助手研究室1	k-torii@rctoyota.ac.jp
精神看護学	教授	村瀬 智子	7階	研究室23	tmurase@rctoyota.ac.jp
	准教授	原田 真澄	7階	研究室24	m-harada@rctoyota.ac.jp
	講師	初田 真人	7階	研究室25	m-hatsuda@rctoyota.ac.jp
	助教	坪之内 千鶴	7階	助手研究室6	tsubonouchi@rctoyota.ac.jp
	助教	飯田 大輔	6階	助手研究室4	d-iida@rctoyota.ac.jp
公衆衛生看護学	教授	長谷川 喜代美	7階	研究室30	k-hasegawa@rctoyota.ac.jp
	准教授	清水 美代子	7階	研究室31	m-shimizu@rctoyota.ac.jp
	助教	廣田 直美	7階	助手研究室6	n-hirota@rctoyota.ac.jp

職位		氏名	研究室		オフィスアワー
学長	教授	鎌倉 やよい	管理棟3階	学長室	月 12:10～13:00
学部長	教授	村瀬 智子	7階	研究室23	月～金 12:10～13:00
研究科長	教授	山田 聡子	5階	研究室1	水 12:10～13:00
学務部長		欠			
図書館長	教授	下間 正隆	5階	研究室8	火 12:10～13:00

領域	職位	氏名	研究室		メールアドレス	
一般教養	特任教授	森 久子	5階	研究室5	前期 水 12:10 - 13:00 後期 火 12:10 - 13:00	
	講師	鈴木 寿摩	5階	研究室6	前期 水 12:10 - 13:00 後期 火 12:10 - 13:00	
専門基礎	教授	下間 正隆	5階	研究室8	火 12:10～13:00	
	教授	森田 一三	5階	研究室9	月 17:00～18:00	
	教授	福間 長知	5階	研究室10	月 12:10～13:00	
	助教	高見 精一郎	6階	助手研究室4	前期 火 12:10～14:30 後期 木 12:10～14:30	
専門	基礎看護学	教授	山田 聡子	5階	研究室1	木 12:10～13:00
		准教授	中島 佳緒里	5階	研究室7	前期 月・水 12:10～13:00 後期 水 12:10～13:00
		講師	竹内 貴子	5階	研究室3	水 12:10～13:30
		講師	巻野 雄介	7階	研究室32	月～水 12:10～13:30(通年)
		助教	加藤 広美	5階	助手研究室2	火 12:10～13:00
		助教	近藤 絵美	5階	助手研究室2	水 12:10～13:00
		助教	池田 亮	5階	助手研究室2	火 12:10～13:00
	看護管理学	助教	高下 翔	5階	助手研究室2	水 12:10～13:00
		教授	松浦 正子	7階	研究室29	木 12:10～13:30
	成人看護学	准教授	南谷 志野	7階	研究室33	水 12:10～13:30
		教授	東野 督子	6階	研究室13	金 12:10～13:00
		准教授	石黒 千映子	6階	研究室12	月 12:10～13:00
		講師	栩川 綾子	6階	研究室35	木 12:10～13:00
		助教	田口 栄子	6階	助手研究室3	金 12:10～13:00
		助教	河村 諒	7階	助手研究室5	木 12:10～13:00
	災害看護学	助手	石田 咲	5階	助手研究室1	金 12:10～13:00
		助手	石原 佳代子	6階	助手研究室3	金 12:10～13:00、実習期間外は適宜
		特任教授	小林 洋子	5階	研究室4	月・水～金 12:10～13:00
		講師	長尾 佳世子	5階	研究室2	月～金 12:10～13:00
		講師	藤井 愛海	5階	研究室34	月～金 12:10～13:00
		教授	小林 尚司	6階	研究室18	金 12:10～13:00
	老年看護学	准教授	清水 みどり	6階	研究室19	木 12:10～13:00
		講師	橋本 亜弓	6階	研究室17	木 12:10～13:00
		助教	近藤 香苗	7階	助手研究室5	木 12:10～13:00
	在宅看護学	助教	臼井 かおり	7階	助手研究室5	木 12:10～13:00
		講師	松田 優子	7階	研究室26	金 12:10～13:00
	母性看護学	講師	深谷 由美	5階	研究室11	金 12:10～13:00
		教授	野口 眞弓	6階	研究室21	金 12:10～13:00
		准教授	長田 知恵子	6階	研究室20	金 12:10～13:00
		講師	千葉 朝子	6階	研究室22	金 12:10～13:00
	小児看護学	助手	岩本 真貴子	6階	助手研究室3	金 12:10～13:00
		特任教授	大西 文子	6階	研究室16	月～水 12:10～13:00 金 12:10～13:00
		准教授	岡田 摩理	6階	研究室14	月～水 12:10～13:00
		講師	神道 那実	6階	研究室15	月 12:10～13:00
		助教	遠藤 幸子	5階	助手研究室2	実習期間中 月 12:10～13:00 実習期間外 在室時随時対応
	精神看護学	助手	鳥居 賀乃子	5階	助手研究室1	実習期間中 金 12:10～13:00 実習期間外 在室時随時対応
教授		村瀬 智子	7階	研究室23	月～金 12:10～13:00	
准教授		原田 真澄	7階	研究室24	実習期間中:金 12:20～12:50 実習期間外:月～金 12:20～12:50	
講師		初田 真人	7階	研究室25	水(実習中を除く) 12:35～12:50	
助教		坪之内 千鶴	7階	助手研究室6	水(実習中を除く) 12:10～12:50	
公衆衛生看護学	助教	飯田 大輔	6階	助手研究室4	実習期間中 金 12:30～12:50 実習期間外 水 12:30～12:50	
	教授	長谷川 喜代美	7階	研究室30	実習期間中 水 12:10～13:00 実習期間外 月～金 12:10～13:00	
	准教授	清水 美代子	7階	研究室31	実習期間中 金 12:10～13:00 実習期間外 月～金 12:10～13:00	
	助教	廣田 直美	7階	助手研究室6	実習期間中 金 12:20～13:00 実習期間外 在室時随時対応	

科目名	教員名
哲学	村瀬 雅俊
教育学	小嶋 季輝
生命倫理	森下 直貴
人間発達論	青柳 真紀子
法学・日本国憲法	早野 暁
音楽論	中野 里美
上級英語	Steeve Plante
スペイン語	ブストス・シアン カルロ
ポルトガル語	ヴァスコンセロス・クラウディオ
社会学	加藤 典子
環境問題と健康	今井 奈妙
	牛島 佳代
文化人類学	渡辺 道斉
日本文化論	永井 博
スポーツレクリエーション実技	三浦 真理子
スポーツ健康科学	三浦 真理子
ボランティア活動論	中村 将洋
赤十字原論	河合 利修
	伊藤 明子
免疫学	錦見 昭彦
栄養代謝学	田口 忠緒
人間工学	斎藤 真
社会福祉学	服部 次郎
保健医療福祉行政論 I	日比野 絹子
	柴川 ゆかり
保健医療福祉行政論 II	片岡 博喜
薬理学	池田 義明
微生物学	清水 宣明
病理学	黒川 景
臨床検査概論	山田 雅之
リハビリテーション論	金田 嘉清
	横田 元実
	鈴木 めぐみ
	谷川 広樹
小山 総市朗	
臨床心理学	目黒 達哉
成人慢性期病態・治療論 I	坂本 宏司
	杉野 安輝
	花木 芳洋
	加藤 智則
成人慢性期病態・治療論 II	太田 喜久夫
	一文字 功
	高杉 浩司
	山本 義浩
久保田 恵章	
成人慢性期援助論 I	生田 美智子
母性病態・治療論	小口 秀紀
	田中 太平
小児病態・治療論	田中 太平
	後藤 芳充
	石井 睦夫
	犬飼 幸子
	笠原 克明
	山田 崇春
	真島 久和
	神田 康司
老年病態・治療論	近藤 敬太
	安井 敬三
	小笠原 雅彦
	加藤 真二
	伊藤 彰博
精神病態・治療論	平野 千晶
	水谷 浩明
災害看護学概論	花木 芳洋

科目名	教員名	オフィスアワー
哲学	村瀬 雅俊	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
教育学	小嶋 季輝	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
生命倫理	森下 直貴	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
人間発達論	青柳 真紀子	授業の前後に講義教室で質問を受け付ける。
法学・日本国憲法	早野 暁	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
音楽論	中野 里美	授業開講日の12:30～13:00に講師控室で質問を受け付ける。
上級英語	Steeve Plante	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
スペイン語	ブストス・シアン カルロ	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
ポルトガル語	ヴァスコンセロス・クラウディオ	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
社会学	加藤 典子	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
環境問題と健康	今井 奈妙	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	牛島 佳代	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
文化人類学	渡辺 道斉	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
日本文化論	永井 博	授業開始前に講義教室で質問を受け付ける。授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。 授業開講日の12:10～12:40分に講師控室で質問を受け付ける。
スポーツレクリエーション実技	三浦 真理子	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
スポーツ健康科学		
ボランティア活動論	中村 将洋	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
赤十字原論	河合 利修	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	伊藤 明子	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
免疫学	錦見 昭彦	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
栄養代謝学	田口 忠緒	授業開講日の授業直後から1時間程講師控室で質問を受け付ける。
人間工学	斎藤 真	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
社会福祉学	服部 次郎	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
保健医療福祉行政論Ⅰ	日比野 絹子	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	柴川 ゆかり	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
保健医療福祉行政論Ⅱ	片岡 博喜	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
薬理学	池田 義明	授業開始前に講義教室で質問を受け付ける。 出席票の空欄に記載された質問は、次回授業冒頭で回答する。
微生物学	清水 宣明	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
病理学	黒川 景	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
臨床検査概論	山田 雅之	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
リハビリテーション論	金田 嘉清	授業開始前に講義教室で質問を受け付ける。授業終了後に講義教室で質問を受け付ける
	横田 元実	授業開始前に講義教室で質問を受け付ける。授業終了後に講義教室で質問を受け付ける
	鈴木 めぐみ	授業開始前に講義教室で質問を受け付ける。授業終了後に講義教室で質問を受け付ける
	谷川 広樹	授業開始前に講義教室で質問を受け付ける。授業終了後に講義教室で質問を受け付ける
	小山 総市朗	授業開始前に講義教室で質問を受け付ける。授業終了後に講義教室で質問を受け付ける
臨床心理学	目黒 達哉	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
成人慢性期病態・治療論Ⅰ	坂本 宏司	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	杉野 安輝	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	花木 芳洋	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	加藤 智則	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
成人慢性期病態・治療論Ⅱ	太田 喜久夫	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	一文字 功	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	高杉 浩司	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	山本 義浩	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
成人慢性期援助論Ⅰ	久保田 恵章	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
成人慢性期援助論Ⅱ	生田 美智子	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	小口 秀紀	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
母性病態・治療論	田中 太平	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	田中 太平	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
小児病態・治療論	後藤 芳充	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	石井 睦夫	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	大飼 幸子	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	笠原 克明	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	山田 崇春	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	真島 久和	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	神田 康司	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	近藤 敬太	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
老年病態・治療論	安井 敬三	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	小笠原 雅彦	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	加藤 真二	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	伊藤 彰博	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	平野 千晶	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
精神病態・治療論	水谷 浩明	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
	花木 芳洋	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。
災害看護学概論	花木 芳洋	授業終了後に講義教室で質問を受け付ける。

シラバスの読み方

担当教員:担当が専任教員の場合、研究室・メールアドレス及びオフィスアワーを巻頭の一覧に掲載しています。質問等があればアポイントを取って訪ねてください。

授業目的:この講義を履修することで期待される学習の成果を示しています。「何のためにどのような能力を修得するのか」ということを包括的に示しています。

人間発達論	担当	青柳 真紀子
-------	----	--------

I 授業目的及び到達目標

【授業目的】

知覚・認知機能、言語や記憶、社会性、運動などの発達に関する知識を得る。
乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期といった発達段階ごとの発達課題を理解し、私たちは生涯を通じて発達する存在であるということを理解する。

【到達目標】

自分自身や身近な人の経験について、発達理論に理解し、さまざまな年代の対象者にかかわる。

到達目標:この講義を履修し、授業目的を達成できた結果、どのような能力・知識・技能を習得できるのかを具体的に示しています。この到達目標がどの程度達成できているかが、成績評価に結び付いています。

II 授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	イントロダクション・遺伝と環境	青柳 真紀子
2	発達の理論Ⅰ：フロ	青柳 真紀子
3	発達の理論Ⅱ：エリ	青柳 真紀子
4	認知発達の基盤Ⅰ：胎児～新生児期	青柳 真紀子
5	認知発達の基盤Ⅱ：乳児における運動能力の発達	青柳 真紀子
6	言語・記憶・思	青柳 真紀子
7	社会性・情緒・	青柳 真紀子
8	まとめ：様々な世代の人とのコミュニケーション	青柳 真紀子

授業内容及び計画:各回の具体的な授業内容及び担当者を示しています。

授業方法:授業形態を示しています。

時間外学習:授業外における学習方法や内容、目安の時間について示しています。大学の単位は授業外における学習を含めた学習時間に基づき与えられているため、授業外の学習は必須です。

III 授業方法

すべて講義

IV 時間外学習

予習:各回のキーワードなどを事前に調べてくる。(30分程度)
復習:授業内で理解できなかった部分について調べる。(30分程度)
その他:発達に関連したニュースや話題に興味を持ち、ビッグデータなどを調べる。

教科書:授業で使用する教科書を示しています。教科書は生協を通して学期始めに購入します。

V 教科書

なし

VI 参考図書

「実験で学ぶ発達心理学」, 杉村伸一郎, 坂田陽子著,

参考図書:必要時に必要な項目を参照するために使用する資料を示しています。[請求番号]がついているものは図書館に所蔵されていますので、図書館で閲覧可能です。

VII 評価方法

定期試験を実施しその成績(100%)によって評価する。なお、遅刻、授業中の迷惑行為は減点対象とする。

評価方法:到達目標に対する達成度をどのように測るのか、具体的な評価の方法(評価項目)及び各評価項目の割合を示しています。原則として各評価項目のうち、未受験又は未提出等により評価できない項目がある場合、該当の授業は不合格となる可能性があります。

VIII フィードバック

授業終了後にコメントを書いて提出してもらい、その内容を参考に授業を改善します。

IX その他

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

フィードバック:学生自らの学びへの振り返りを促す取組等を示しています。

その他:受講学生に望むことや、受講上の注意点等がある場合に記載されています。

～ 科 目 一 覧 ～

哲学	1
教育学	2
生命倫理	4
人間発達論	6
家族論	7
法学・日本国憲法	8
音楽論	10
英語Ⅰ	11
英語Ⅱ	13
英語Ⅲ	15
英語Ⅳ	17
スペイン語	19
ポルトガル語	21
社会学	22
環境問題と健康	24
文化人類学	25
日本文化論	26
情報リテラシー	27
スポーツ健康科学	28
スポーツレクリエーション実技	29
看護プロフェッショナルセミナー	30
ボランティア活動論	31
赤十字原論	33
赤十字と活動	35
赤十字総合セミナー	36
形態機能学Ⅰ	37
形態機能学Ⅱ	39
形態機能学Ⅲ	41
免疫学	43
栄養代謝学	44
人間工学	46
公衆衛生学	48
社会福祉学	49
保健医療福祉行政論Ⅰ	51
保健医療福祉行政論Ⅱ	53
保健情報演習	55
保健統計	57
薬理学	59
微生物学	61
感染制御論	62
病理学	63
臨床検査概論	65
リハビリテーション論	67
臨床心理学	68
看護学概論	69
コミュニケーション論	71
看護過程Ⅰ	72
看護過程Ⅱ	74
ヘルスアセスメント基礎	76
基礎看護技術Ⅰ	78
基礎看護技術Ⅱ	80
基礎看護技術Ⅲ	82
基礎看護学実習Ⅰ	84
基礎看護学実習Ⅱ	85
看護管理学Ⅰ	86

～ 科 目 一 覧 ～

成人急性期病態・治療論Ⅰ	87
成人急性期病態・治療論Ⅱ	89
成人慢性期病態・治療論Ⅰ	91
成人慢性期病態・治療論Ⅱ	93
成人急性期看護学概論	95
成人周術期看護論	96
成人慢性期看護学概論	98
成人慢性期援助論Ⅰ	99
成人看護学技術演習Ⅰ	101
母性病態・治療論	103
母性看護学概論	105
小児病態・治療論	106
小児看護学概論	107
老年病態・治療論	109
老年看護学概論	111
在宅看護学概論	113
精神病態・治療論	115
精神看護学概論	116
災害看護学概論	118
災害看護学援助論	120
国際救援看護論	122
国際救援看護論演習	124
国際救援と英語	126
公衆衛生看護学概論Ⅰ	127
公衆衛生看護学概論Ⅱ	128
健康教育方法論Ⅰ	129
健康教育方法論Ⅱ	131
産業看護論	133
学校看護論	135
地域診断論	137
上級英語	139
情報処理	141
疫学Ⅰ	142
疫学Ⅱ	143
看護倫理学	145
成人機能回復援助論	147
緩和・ターミナルケア援助論	148
感染予防看護論	149
感染予防看護演習	150
成人看護方法論Ⅱ	151
成人看護学実習Ⅰ	153
成人看護学実習Ⅱ	155
成人看護学実習Ⅲ	156
老年看護学Ⅰ	157
老年看護学Ⅱ	158
介護福祉施設実習	160
医療・老人保健施設実習	161
母性看護学Ⅰ	162
母性看護学Ⅱ	164
母性看護学実習	166
小児看護学Ⅰ	168
小児看護学Ⅱ	170
小児看護学実習	172
精神看護学Ⅰ	174
精神看護学Ⅱ	176

～ 科 目 一 覧 ～

精神看護学実習	178
保健指導方法論	180
家族生活支援論	182
地区活動論	184
公衆衛生看護管理	186
公衆衛生看護学実習	188
在宅看護論Ⅱ	190
在宅看護学実習	192
家族看護論	193
医療安全	194
看護管理論	195
統合実習	196
看護研究方法	198
看護活動と研究	200
卒業研究	201
赤十字災害看護学演習	202
赤十字健康生活支援演習	204
赤十字幼児安全演習	205
国際救援看護論実習	206

哲学	1年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 村瀬 雅俊			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護学の基盤となる哲学を理論と実践から学ぶ。具体的には、私たち人間はどういう路を歩んでいかなければならないのか、生命とは何か、進化と学習や世界創造の本質とは何かという根源的問題を立てながら、多様な哲学を挑戦的に学ぶとともに、その統合的な習得を目指す。

【到達目標】

1. 東洋と西洋の視点の相違を把握し、統合哲学について習得できる。
2. 自己と非自己の統合の視点から、生命哲学の概要を理解できる。
3. 進化を前提とした学習の意義という観点から、実践哲学の概要を理解できる。
4. 世界創造の本質を理解したうえで、未来哲学を習得できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	統合哲学への挑戦 1 ~ 西洋と東洋の視点 ~	村瀬 雅俊
2	統合哲学への挑戦 2 ~ 西洋と東洋の視点 ~	村瀬 雅俊
3	生命哲学の試み 1 ~ 自己と非自己の統合 ~	村瀬 雅俊
4	生命哲学の試み 2 ~ 自己と非自己の統合 ~	村瀬 雅俊
5	実践哲学の展望 1 ~ 進化を前提とした学習の意義 ~	村瀬 雅俊
6	実践哲学の展望 2 ~ 進化を前提とした学習の意義 ~	村瀬 雅俊
7	未来哲学に挑む 1 ~ 世界創造の本質 ~	村瀬 雅俊
8	未来哲学に挑む 2 ~ 世界創造の本質 ~	村瀬 雅俊

授業方法

第1回～第8回：講義およびグループ討議（対面とオンラインを効果的に組み合わせる）

時間外学習

各回の授業の予習に30分、復習に30分の時間外学習が必要である。

教科書

「未来から描くケア共創看護学：自然・生命・こころ・技の循環」, 村瀬智子, 村瀬雅俊著, 大学教育出版, 2021年刊行予定
なし

参考図書

「歴史としての生命：自己・非自己循環理論の構築」, 村瀬雅俊著, 京都大学学術出版会, 461/Mu57, 4876984034
「未来共創の哲学：大統一生命理論に挑む」, 村瀬雅俊, 村瀬智子著, 言叢社, 461/Mu57, 9784862090799

評価方法

参加態度・討論参加度30%, 課題レポート70%

フィードバック

各回の講義で提出されたレスポンスカードの記載内容について、次の講義でフィードバックを行う。

その他

特になし

教育学	1年 後期	2単位 (30時間)	選択
担当: 小嶋 季輝			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

人間の創造的な営為の1つである「教育」に関する知見を整理の上で理解し、人間の営為一般に援用可能な形で継承することを目的とする。
教育に関する歴史と教育に関する学問の歴史的蓄積とを手掛かりに、教育の事象に対して立てられてきた建設的な「問い」とその構造について理解していく。そして、この「問い」の有効性と限界の画定により、教育の事象以外の事象への援用を試みる。

【到達目標】

1. これまでの教育の事象に対して立てられてきた建設的な「問い」とその構造を理解することが出来る。
2. 教育の事象に対して、建設的な「問い」を立てることが出来る。
3. 自身の生活の中で遭遇する事象に対して、建設的な「問い」を立てることが出来る。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	教育とは何か? (教科書序章)	小嶋 季輝
2	教育と子ども (教科書第1章)	小嶋 季輝
3	教育と子育て (教科書第2章)	小嶋 季輝
4	教育と知識 (教科書第3章)	小嶋 季輝
5	教育と能力 (教科書第4章)	小嶋 季輝
6	教育と労働 (教科書第5章)	小嶋 季輝
7	教育と公共 (教科書第6章)	小嶋 季輝
8	教育と居場所 (教科書第7章)	小嶋 季輝
9	教育と市民 (教科書第8章)	小嶋 季輝
10	教育と国民 (教科書第9章)	小嶋 季輝
11	教育と差別 (教科書第10章)	小嶋 季輝
12	教育と未来 (教科書終章)	小嶋 季輝
13	教育と生きること (配付資料)	小嶋 季輝
14	教育と生き方 (配付資料)	小嶋 季輝
15	改めて、教育とは何か? (配付資料)	小嶋 季輝

授業方法

講義 (教科書の内容の解説及び教科書の中核的「問い」の検討)

討論 (教科書の中核的「問い」と同型の「問い」について、個人で考え、グループで共有し、グループで考える)

時間外学習

予 習: 内容を理解すること及び提起されている「問い」の意義を理解することを目指して、教科書をよく読み、分からない用語や時代背景などは積極的に調べておく (2時間)。

復 習: 授業において、グループで考えたことについて、グループのメンバーの意見を踏まえながら、改めて自分個人の考えを整理する (ワークシート有り)(1時間)。

教科書

「問いからはじめる教育史」, 岩下誠, 三時眞貴子, 倉石一郎, 姉川雄大 著, 有斐閣, 372/196, 9784641150805

参考図書

各回の授業にて適宜紹介する。
また、教科書の章末の文献リストも参照のこと。

評価方法

各回の討論時のグループワーク (20%)
復習課題の個人ワーク (20%)
期末レポート (60%)

フィードバック

評価基準表に照らした自己評価を一緒に行う。

その他

初回授業では、授業の進め方及び各種課題の実施方法・評価方法について説明します。履修者は必ず出席して下さい（やむを得ず欠席する人は、次回の授業までに担当教員と連絡をとること。）

生命倫理	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 森下 直貴			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

コミュニケーションとシステムの視点から生命倫理の諸問題を考察し、看護師・保健師・助産師として果たすべき役割を学ぶ。

【到達目標】

1. 倫理という事象の本質を理解できる。
2. コミュニケーションシステムおよび四次元関連の思考法を理解できる。
3. 看護をシステムとして捉えることができる。
4. 生命倫理の諸問題を自分の頭で考察できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	はじめに / 誤解としての理解	森下 直貴
2	コミュニケーションの本質	森下 直貴
3	科学システム / 嘘と真実	森下 直貴
4	医療システム / 健康と病気	森下 直貴
5	バイオエシックスの光と影	森下 直貴
6	デジタル医療化と予防医学	森下 直貴
7	生殖補助医療と家族の変容	森下 直貴
8	超高齢社会の医療と介護	森下 直貴

授業方法

講義

時間外学習

予習・復習：教科書の指定した頁や配布したプリントは必ず復習すること。(1時間)
講義に関連する研究課題を与える(4回、メール添付にて提出)。(適宜)

教科書

「システム倫理的思考；対立しながらも、つながり合う」, 森下直貴 著, 幻冬舎メディアコンサルティング, 150/Mo65, 9784344927452
「新版『生きるに値しない命』とは誰のことか：ナチス安楽死思想の原典からの考察」, 森下直貴, 佐野誠編著, 中央公論新社, 498.2/Mo65, 9784121101112

参考図書

「死の選択：いのちの現場から考える」, 森下直貴著, 窓社, 490.15/Mo65, 4896250230
「臓器交換社会：アメリカの現実・日本の近未来」, レネイ・フォックス著, ジュディス・スウェイジー著, 森下直貴他訳, 青木書店, 494.28/F42, 4250990087
「ケースブック医療倫理」, 赤林朗, 大林雅之編著, 医学書院, 490.15/A28, 9784260332507
「健康への欲望と「安らぎ」：ウェルビカミングの哲学」, 森下直貴著, 青木書店, 490.1/Mo65, 9784250203251
「水子：「中絶」をめぐる日本文化の底流」, ウィリアム・R・ラフルーア著, 森下直貴他訳, 青木書店, 385.7/L13, 4250206025
「生命倫理学の基本構図」(シリーズ生命倫理学1), 今井道夫責任編集, 森下直貴責任編集, 丸善出版, 490.15/Sh88/1, 9784621084786
「生命倫理の基本概念」(シリーズ生命倫理学2), 香川知晶, 櫻則章責任編集, 丸善出版, 490.15/Sh88/2, 9784621084793
「生命と科学技術の倫理学：デジタル時代の身体・脳・心・社会」, 森下直貴編, 丸善出版, 461.15/Mo65, 9784621300176

評価方法

定期試験 60%、研究課題レポート(4回) 40%

フィードバック

レポートに対する教員コメントを学生に返す。(メール)

その他

この講義では、倫理の新しい思考法を紹介し、医療に関連する様々な問題の捉え方や考え方を学ぶことに重点を置きます。ここでの捉え方や考え方は医療だけでなく、現代社会のあらゆる事象や問題に応用できます。教科書は少々難解かもしれませんが、しかし、熱心に講義を聞き、自分の頭で考えながら読み進めるなら、必ずや理解できるはずです。教科書に沿って丁寧に説明しますので、ぜひとも食らいついて来てください。

人間発達論	1年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 青柳 眞紀子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

知覚・認知機能、言語や記憶、社会性、運動などの発達に関する知識を得る。
乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期といった発達段階ごとの発達課題を理解し、私たちは生涯を通じて発達する存在であるということを理解する。

【到達目標】

自分自身や身近な人の経験について、発達理論や研究データを当てはめながら自分なりに理解し、さまざまな年代の対象者にかかわるために必要な人間理解を深めることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	イントロダクション・遺伝と環境	青柳 眞紀子
2	発達の理論 : フロイト	青柳 眞紀子
3	発達の理論 : エリクソン、ピアジェ	青柳 眞紀子
4	認知発達の基盤 : 胎児～新生児期	青柳 眞紀子
5	認知発達の基盤 : 乳児における運動能力の発達	青柳 眞紀子
6	言語・記憶・思考の発達	青柳 眞紀子
7	社会性・情緒・自我・人格の発達	青柳 眞紀子
8	まとめ: 様々な世代の人とのコミュニケーション	青柳 眞紀子

授業方法

すべて講義

時間外学習

予習: 各回のキーワードなどを事前に調べてくる。(30分程度)
復習: 授業内で理解できなかった部分について調べる。(30分程度)
その他: 発達に関連したニュースや話題に興味を持ち、ピックアップする。(適宜)

教科書

なし

参考図書

「実験で学ぶ発達心理学」, 杉村伸一郎、坂田陽子編, ナカニシヤ出版
, 376.11/Su39, 9784888488853

評価方法

定期試験を実施しその成績(100%)によって評価する。
なお、遅刻、授業中の迷惑行為は減点対象とする。

フィードバック

授業終了後にコメントを書いて提出してもらい、その回答を次回授業冒頭で提示する。

その他

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

家族論	1年 後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 大西 文子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

核家族が中心となる中、家族機能の変化や家族員の健康問題によって生じる家族問題に対して、家族を支援するための家族看護理論を知り、その基本的知識を学ぶ。

【到達目標】

1. 家族とはどういうものか、家族のもつケア機能など、家族について理解できる。
2. 家族を理解するための方法を説明できる。
3. 家族問題に対して、家族を支援するための家族看護理論を知り、その基本的知識を学ぶことができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	家族とは、家族のもつケア機能、家族の理解、家族健康問題	大西 文子
2	家族看護の歴史とその必要性・視点	大西 文子
3	家族を理解するための家族看護理論： 家族発達理論、 家族システム理論、 家族ストレス対処理論	大西 文子
4	家族を支援するための諸理論：渡辺式家族アセスメント/支援モデル	大西 文子
5	家族を支援するための諸理論：カルガリー家族看護アセスメント介入モデル	大西 文子
6	家族を支援するための諸理論：家族エンパワメントモデル	大西 文子
7	家族看護の実践 乳幼児を家族員にもつ家族の理解と支援	大西 文子
8	まとめ	大西 文子

授業方法

第1回～第7回：講義、第8回：講義・演習・発表

時間外学習

予習：学習内容について、教科書および参考図書で学習してくること（15分）
復習：配布資料と授業中に示したポイントを照らし合わせて学習すること（15分）
その他：授業中に理解できなかったことは、わからないままにせず担当教員に質問すること

教科書

「家族看護学：理論と実践」, 第5版, 鈴木和子, 渡辺裕子, 佐藤律子著, 日本看護協会出版会, N51/Su96/5th, 9784818022089

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

定期試験90%、授業への参加状況・態度10%、で総合的に評価する。遠隔授業となった際にはオンライン講義後のFormsのミニテストへの回答をもって出席とみなし、取り組み状況を受講態度に含めて評価する。

フィードバック

單元ごとの課題に対して、次回の授業開始時に説明するなどのフィードバックを行う。遠隔授業となった際には、Formsやメールへの質問に対しては、次回講義で説明する。

その他

看護師としての勤務経験をもつ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

法学・日本国憲法	1年 前期	2単位 (30時間)	選択
担当: 早野 暁			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

医療・看護は国や自治体の規制が厳しく及び職域であり、患者・病院間の医療契約の内容を理解する際にも法律上の知識は不可欠である。国民の福利厚生の実現の可否は、医療サービスの充実度により決まるといっても過言ではない。また、国や自治体の行政機関は、医療機関との適切な連携を欠いたのでは、各種の行政サービスを提供できない場合もある。それらの背景を考慮すると、医療従事者が、憲法学に関する基礎知識、法学の素養を身につけておくことは、市民の幸福、患者の安心感につながる可能性が高いと考える。医療に関する知識・技術を120%発揮するために、法学及び憲法の基礎知識を習得することを目標とする。

【到達目標】

1. 「権利」、「義務」、「自由」の内容を説明できる。
2. 国民の基本権（人権）と国の法規制が対立するものであることを理解できる。
3. 医療事業が「公共の福祉」による強い制約を受ける理由を説明できる。
4. 統治制度の概要を理解できる。
5. 民主主義の長所と短所を説明できる。
6. 「三権分立」の目的を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	「法」とは何か。なぜ「法」で統治する必要があるのか。	早野 暁
2	憲法、法律、そして判例（法源の種類）	早野 暁
3	基本権（人権）と公共の福祉、法の下での平等	早野 暁
4	思想・良心の自由、表現の自由（精神的自由）	早野 暁
5	財産権、営業の自由、職業選択の自由（経済的自由）	早野 暁
6	信教の自由と政教分離原則	早野 暁
7	勤労者の権利（団結権・団体交渉権・争議権）	早野 暁
8	裁判を受ける権利（民事・刑事・行政）	早野 暁
9	生存権、戦争放棄と自衛権	早野 暁
10	民主主義の長所と短所、選挙権、議院内閣制	早野 暁
11	三権分立の歴史、立法府と司法府の関係	早野 暁
12	刑事司法制度、人身の自由、裁判員制度	早野 暁
13	憲法と条約、憲法改正手続	早野 暁
14	患者の自己決定権と医療機関（医師・看護師）の説明責任	早野 暁
15	まとめ	早野 暁

授業方法

講義

時間外学習

予習：教科書の該当項目を読み、分からないところをチェックしておく。（20分）

復習：教科書およびノートあるいは授業での配付資料を見直し、理解を深める。（20分）

その他：授業で勉強した事項や理論が、どの分野・領域で実践・応用できるか、数多くの可能性に思考を向けてみる。（30分）

教科書

「ワンステップ憲法」, 森口佳樹他著, 嵯峨野書院, 323.14/Mo48, 9784782305461

参考図書

「日本国憲法論」(法学叢書, 7), 佐藤幸治著, 成文堂, 323.14/Sa85, 9784792305116

評価方法

筆記試験の得点(100%)により評価する。過度の欠席および授業態度の状況は、減点の対象となる場合もあるので注意すること。

フィードバック

毎回の講義レジュメに示された「問い」（練習問題）の解答について説明、解説を行う。

その他

なし

音楽論	1年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 中野 里美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

芸術領域である音楽を広く理解し、音楽を取り入れた療法への理解を広める。音楽の役割や影響を検討し、人間の成長や生活の質を豊かにするための方法を考察する。

【到達目標】

音そして音楽を「意図的に使う」ことの意義を知り、セッション等における適切な援助のあり方を考察できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	身近な音環境 音楽についてはなし	中野 里美
2	モーツァルト音楽 聴覚セラピー	中野 里美
3	人の社会における音楽の役割	中野 里美
4	リトミックの教育的意義	中野 里美
5	受動的音楽療法	中野 里美
6	能動的音楽療法	中野 里美
7	音楽療法におけるアセスメントについて	中野 里美
8	即興の力と可能性について	中野 里美

授業方法

講義

時間外学習

予習：シラバスから予測できる範囲内で、概要の理解に努める。(適宜)

復習：配布資料を読み返し、紹介された音楽や資料等を参考に音楽療法への理解を深める。(30分)

その他：返却された小レポートを見直す。(10分)

教科書

なし。プリント等の資料を配布する。

参考図書

講義の中で提示する。

評価方法

毎回の小レポート提出(第1～第8回の講義：各10点満点 合計80点を100点満点に換算)の総合点により評価する。

フィードバック

講義の冒頭にて、前回の講義内における要点の振り返りを行う。

その他

なし。

英語	1年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 森 久子・鈴木 寿摩			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

具体的な看護の事例を扱った教材を用い、総合的な英語力、看護職に必要な実践的な英会話能力の習得を目的とする。コミュニケーションを取るにあたり必須となる基本的な語彙、発音、イントネーションを学び、並行して簡単な物語を少しずつ読み、また同じ場面のCDを聴き、DVDを観ることにより、楽しみながら英語の力を身につけることを目指す。また日常的に頻繁に使われる表現を毎週少しずつ学びながら授業を進めて行く。

【到達目標】

日常的に使われる英語のみでなく、看護に必要な基本的な単語やフレーズを学んだ上で英語でコミュニケーションを取るよう努力することが出来る。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	Orientation	森・鈴木
2	Jane Eyre 1	森・鈴木
3	Hospital Departments	森・鈴木
4	Jane Eyre 2	森・鈴木
5	Body parts	森・鈴木
6	Jane Eyre 3	森・鈴木
7	Mother Teresa	森・鈴木
8	Review test on the previous lessons	森・鈴木
9	Internal organs	森・鈴木
10	Jane Eyre 4	森・鈴木
11	Diseases	森・鈴木
12	Jane Eyre 5	森・鈴木
13	Injuries	森・鈴木
14	Jane Eyre 6	森・鈴木
15	Audio visual material	森・鈴木

授業方法

講義

時間外学習

予習：毎回授業内で行われる確認テストに備える。(30分)

復習：新しく学んだ語彙や表現を復習する。また学んだ箇所の音声教材を各自で聴く。(適宜)

その他：授業で取り上げたテーマを看護の授業で学んだことと照らし合わせ確認する。(適宜)

教科書

「Lifesaver:basic English in medical situations」New edition, Maki Inoue, Toshiya Sato, センゲージラーニング, 837.8/157, 9784863123526

A Shorter Course in Everyday Vocabulary Quizzes; 5分間日常基本英単語・熟語 1000, Seishi Sato, NAN'UN-DO, 834/Sa85, 9784523176688

「Jane Eyre」(Macmillan readers; 2. beginner level), Charlotte Bronte retold by Florence Bell, Macmillan Heinemann ELT, 837.7/Ma22, 9780230030381

参考図書

なし

評価方法

復習テストと学習態度から総合的に評価する。復習テストとは、授業内の確認テストと中間と最後に行うテストを指す。また学習態度は、授業への取り組みのことである。学習意欲の欠如は減点となる。

復習テスト：90%
受講態度：10%

フィードバック

確認テストと復習テストの実施後に模範解答を示し、解説を行う。

その他

なし

英語	1年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 森 久子・鈴木 寿摩			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護の現場で実際に使われている専門用語を始め、医療に関わるさまざまな問題を題材に、包括的、実践的な英語能力の習得を目的とする。第一セメスター同様に基本的な単語やフレーズを学ぶとともに簡単な文章を読み、CDを聴くことによって聴解力、読解力の更なる向上を目指す。

【到達目標】

看護職として簡単な英語を使ってコミュニケーションを取ることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	Orientation + Jane Eyre 7-1	森・鈴木
2	Symptoms 1	森・鈴木
3	Jane Eyre 7-2	森・鈴木
4	Symptoms 2	森・鈴木
5	Jane Eyre 8	森・鈴木
6	Symptoms 3	森・鈴木
7	Jane Eyre 9-1	森・鈴木
8	Review test on the previous lessons	森・鈴木
9	Medical examinations	森・鈴木
10	Jane Eyre 9-2	森・鈴木
11	Night shift and Zeitgeber	森・鈴木
12	Jane Eyre 10	森・鈴木
13	Vital signs	森・鈴木
14	Jane Eyre 11	森・鈴木
15	Audio visual material	森・鈴木

授業方法

講義

時間外学習

予習：毎週行われる確認テストに備える。(30分)

復習：新しく学んだ語彙や表現を復習する。また学んだ箇所の音声教材を各自で聴く。(適宜)

その他：授業で取り上げたテーマを看護の授業で学んだことと照らし合わせて確認する。(適宜)

教科書

「Lifesaver: basic English in medical situations」New edition, Maki Inoue, Toshiya Sato, センゲージラーニング, 837.8/I57, 9784863123526

A Shorter Course in Everyday Vocabulary Quizzes; 5分間日常基本英単語・熟語 1000, Seishi Sato, NAN'UN-DO, 834/Sa85, 9784523176688

「Jane Eyre」(Macmillan readers; 2. beginner level), Charlotte Brontë retold by Florence Bell, Macmillan Heinemann ELT, 837.7/Ma22, 9780230030381

参考図書

なし

評価方法

復習テストと学習態度から総合的に評価する。復習テストとは、授業内の確認テストと中間と最後に行うテストを指す。また学習態度は、授業への取り組みのことである。学習意欲の欠如は減点となる。

復習テスト：90%

受講態度：10%

フィードバック

確認テストと復習テストの実施後に模範解答を示し、解説を行う。

その他

なし

英語	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 森 久子・鈴木 寿摩			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

1年次で学んだことを基礎に英語力をさらに伸ばし、スムーズなコミュニケーションが取れるように包括的な能力を身に着けることを目的とする。コミュニケーションの力を身に着けるため、授業中にクラスメートとの積極的な発話練習が求められる。DVDを少しずつ観ることによって、楽しみながら力を身につけることを目指す。加えて、英語、英語と同様に医療用語を毎週少しずつ学ぶ。

【到達目標】

相手の発話が理解出来て、簡単な英語を使って自分の意思を伝えることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	Introduction + Facilities in the Hospital (1)	森・鈴木
2	Unit 1-1 + Facilities in the Hospital (2)	森・鈴木
3	Unit 1-2 + Medical Departments (1)	森・鈴木
4	Pronunciation practice + Medical Departments (2)	森・鈴木
5	Unit 2-1 + Body Parts (1)	森・鈴木
6	Unit 2-2 + Body Parts (2)	森・鈴木
7	A case study + Medical Terminology (1)	森・鈴木
8	Review test on the previous lessons	森・鈴木
9	Unit 3-1 + Medical Terminology (2)	森・鈴木
10	Unit 3-2+ Patients' Units (1)	森・鈴木
11	Unit 4-1 + Patients' Units (2)	森・鈴木
12	Unit 4-2 + Vital Signs (1)	森・鈴木
13	Audio visual material + Vital Signs (2)	森・鈴木
14	Unit 5-1 + Patient Comfort (1)	森・鈴木
15	Unit 5-2 + Patient Comfort (2)	森・鈴木

授業方法

講義

時間外学習

予習：毎週行われる確認テストに備える。(30分)

復習：新しく学んだ語彙や表現を復習する。また学んだ箇所の音声教材を各自で聴く。(適宜)

その他：授業で取り上げたテーマを看護の授業で学んだことと照らし合わせて確認する。(適宜)

教科書

「Notting Hill：映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』」,新装版, Richard Curtis著, 神谷久美子, Kim R. Kanel編著, 松柏社, 830.7/C96, 9784881985908

「看護師たまごの英語40日間トレーニングキット(基礎編)」, 平野美津子, 菱田治子, 濱畑章子著, アルク, 837.8/Ka54/1, 9784757418950

参考図書

なし

評価方法

復習テストと学習態度から総合的に評価する。復習テストとは、授業内の確認テストと中間と最後に行うテストを指す。また学習態度は、授業への取り組みのことである。学習意欲の欠如は減点となる。

復習テスト：90%

受講態度：10%

フィードバック

確認テスト、復習テストの実施後に模範解答を示し、解説を行う

その他
なし

英語	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 森 久子・鈴木 寿摩			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

英語、英語、英語で学んだことを土台に更なる英語力の向上を目指す。DVD など視聴覚教材を通し、自然なコミュニケーションの力を身に着ける。将来的には授業や教師から学ぶのではなく、自主的に独自で英語が学習できるように、英語の学び方を学ぶ。

【到達目標】

今まで学んだ英語を駆使して、自然なコミュニケーションを取ることができる。また、将来、継続して独自に英語を学ぶ方法を身につけることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	Unit 6-1 + Positioning and Transferring (1)	森・鈴木
2	Unit 6-2 + Positioning and Transferring (2)	森・鈴木
3	Unit 7-1 + Medication (1)	森・鈴木
4	Unit 7-2 + Medication (2)	森・鈴木
5	Unit 8-1 + Critical Care (1)	森・鈴木
6	Unit 8-2 + Critical Care (2)	森・鈴木
7	Audio visual material + Perioperative Care (1)	森・鈴木
8	Review test on the previous lessons	森・鈴木
9	Unit 9-1 + Perioperative Care (2)	森・鈴木
10	Unit 9-2 + Chronic Care Nursing (1)	森・鈴木
11	Unit 10-1 + Chronic Care Nursing (2)	森・鈴木
12	Christmas material + Cancer Nursing (1)	森・鈴木
13	Unit 10-2 + Cancer Nursing (2)	森・鈴木
14	Nursing-related material + Pregnancy & Childbirth (1)	森・鈴木
15	Nursing-related material + Pregnancy & Childbirth (2)	森・鈴木

授業方法

講義

時間外学習

予習：毎週行われる確認テストに備える。(30分)

復習：新しく学んだ語彙や表現を復習する。また学んだ箇所の音声教材を各自で聴く。

(適宜)

その他：授業で取り上げたテーマを看護の授業で学んだことと照らし合わせて確認する。

(適宜)

教科書

「Notting Hill : 映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』」, Richard Curtis著
神谷久美子, Kim R. Kanel編著, 松柏社, 830.7/C96, 9784881985908

「看護師たまごの英語40日間トレーニングキット(基礎編)」, 平野美津子, 菱田治子
濱畑章子著, アルク, 837.8/Ka54/1, 9784757418950

参考図書

なし

評価方法

復習テストと学習態度から総合的に評価する。復習テストとは、授業内の確認テストと中間と最後に行うテストを指す。また学習態度は、授業への取り組みのことである。学習意欲の欠如は減点となる。

復習テスト：90%

受講態度：10%

フィードバック

確認テスト、復習テストの実施後に模範解答を示し、解説を行う

その他
なし

スペイン語	1年 後期	1単位 (30時間)	選択
担当: ブストス・シアン カルロ			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

未修者を対象として、初級レベルの語学力を習得する。また、映像資料を用いて、スペイン文化についてもふれ、異文化理解を深める。

【到達目標】

1. スペイン語の基礎的な知識を獲得できる。
2. 簡単なスペイン語での会話ができる。
3. スペイン文化を通して異文化理解を深めることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	授業の進め方、アルファベットと発音	ブストス・シアン カルロ
2	アクセント、会話表現（あいさつ）	ブストス・シアン カルロ
3	名詞の性と数、名詞句	ブストス・シアン カルロ
4	冠詞、形容詞、数詞、会話表現（飲み物の注文）	ブストス・シアン カルロ
5	主格人称代名詞、規則動詞の直説法現在	ブストス・シアン カルロ
6	否定文と疑問文、会話表現（学生生活）	ブストス・シアン カルロ
7	復習	ブストス・シアン カルロ
8	不規則な動詞	ブストス・シアン カルロ
9	前置詞、会話表現（1週間の行動）	ブストス・シアン カルロ
10	動詞 ser の直説法現在（1）	ブストス・シアン カルロ
11	会話表現（自己紹介）	ブストス・シアン カルロ
12	動詞 ser の直説法現在（2）3人称を用いた表現	ブストス・シアン カルロ
13	指示詞、会話表現（時刻・曜日・日付・値段）	ブストス・シアン カルロ
14	復習	ブストス・シアン カルロ
15	まとめ	ブストス・シアン カルロ

授業方法

講義、演習

時間外学習

予習：各回の教科書の指定ページ部分を読み、概要を理解する。（30分）

復習：授業内容について見直し、疑問点を明らかにする。（30分）

その他：理解できなかった部分について、積極的に解決すること。（適宜）

教科書

「¡Hola! ¿Qué tal? = やあ、元気?」, 辻本千栄子他著, 朝日出版
, 867.8/Ts43, 9784255550299

参考図書

「テーブル式基礎スペイン語便覧」, 高橋覚二著, 評論社, 860.7/Ta33, 4566057070

評価方法

レポート<50%>、授業態度・参加度<50%>

フィードバック

小テスト実施後に、解答の解説を行う。

その他

参考図書、辞書の購入は必要なし。

ポルトガル語	1年 後期	1単位 (30時間)	選択
担当: ヴァスコンセロス クラウディオ			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

ブラジルポルトガル語の入門で会話や読解の基礎を作るクラスです。初めて学ぶ方を対象に、南米の国ブラジルについて文化的案内を兼ねて、発音や基本的な文法を学習し、教科書・プリント等の教材を見ながら、学生さん自身に寸劇を演じてもらうことにより、挨拶や自己紹介買い物等簡単な会話ができることを目標とする。

【到達目標】

基本的なポルトガル語文の構成、規則動詞の活用、SER, ESTAR, TER, GOSTAR 動詞の活用と用法を理解することができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	講座概要・アルファベット、自己紹介「私の名前は麻理です」	クラウディオ
2	SER 動詞の活用と用法 ・挨拶	クラウディオ
3	男・女、単・複数冠詞、紹介 「こちらは僕の友達のペドロです」	クラウディオ
4	SER 動詞の活用と用法 ・男・女、単・複数所有詞	クラウディオ
5	SER 動詞の活用と用法	クラウディオ
6	TER 動詞の活用と用法 「あなたの家族の写真を持っていますか」	クラウディオ
7	TER 動詞の活用と用法	クラウディオ
8	男・女、単・複数指示詞	クラウディオ
9	ESTAR 動詞の活用と用法 「彼は食堂にいます」	クラウディオ
10	ESTAR 動詞の活用と用法	クラウディオ
11	疑問詞・SER, ESTAR 動詞の使い分け	クラウディオ
12	SER, ESTAR, TER 動詞の使い分け	クラウディオ
13	GOSTAR 動詞の活用と用法 「私は歴史の本が好きです」	クラウディオ
14	GOSTAR 動詞の活用と用法	クラウディオ
15	まとめ	クラウディオ

授業方法

講義・演習

時間外学習

予 習：宿題として出された課題を必ずやってくること。(30分程度)
復 習：各自必要に応じて行うこと。(適宜)
その他：各自必要に応じて行うこと。(適宜)

教科書

「ニューエクスプレスブラジルポルトガル語」(CD 付), 香川正子著, 白水社, 869/Ka17, 9784560087978
プリント教材や練習問題も配布する。

参考図書

「現代ポルトガル語辞典」, 3訂版, 池上岑夫, 白水社, 869.3/133/3rd, 9784560000922

評価方法

毎回の小テストと試験(80%)、参加度(20%)を加味して総合評価する。

フィードバック

小テスト実施後に解答・解説を行う。

その他

ポルトガル語をこれまでまったく学んだことがない人が対象である。

社会学	1年 前期	2単位 (30時間)	選択
担当: 加藤 典子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護を志す学生に要求されることは、患者を人間として理解する、社会学的想像力である。ひとりひとりの患者は社会に属し、各々の社会的経験のなかで生きている。本講義の目的は、看護職に必要な人間を理解する力を高めることに役立つ社会学的思考と知識を獲得することである。

【到達目標】

1. 社会学理論（例えば、役割理論、ジェンダー論、近代化論等）を理解できる。
2. 社会学的な統計データを読んだり、活用したりできる。
3. 社会現象を、人間・集団・社会の関連という視点から説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	イントロダクション（全体説明）、社会学の歴史	加藤 典子
2	社会学とは何か：社会学の理念、全体構造、理論	加藤 典子
3	<私>をめぐる社会学	加藤 典子
4	ジェンダーとセクシュアリティをめぐる社会学（1）ジェンダー	加藤 典子
5	ジェンダーとセクシュアリティをめぐる社会学（2）セクシュアリティ	加藤 典子
6	家族をめぐる社会学（1）家族の絆、結婚の個人化	加藤 典子
7	家族をめぐる社会学（2）夫婦・親子の関係、家族の発達	加藤 典子
8	家族をめぐる社会学（3）家族変動を捉える枠組みと脱近代家族	加藤 典子
9	地域をめぐる社会学（1）アーバニズム論、都市社会学	加藤 典子
10	地域をめぐる社会学（2）コミュニティ、郊外	加藤 典子
11	メディアと情報化をめぐる社会学（1）メディアと近代社会	加藤 典子
12	メディアと情報化をめぐる社会学（2）情報化社会と公共性	加藤 典子
13	階級・階層をめぐる社会学：階級と階層、社会的排除と貧困	加藤 典子
14	NPO・ボランティアをめぐる社会学	加藤 典子
15	講義全体のまとめ	加藤 典子

授業方法

第1～5回、9～15回：講義 第6～8回：講義、演習、発表

時間外学習

予習：教科書の該当ページに一通り目を通してくる。（1時間程度）
 復習：授業で理解できなかった点を調べたり、次の授業時に質問するなどして、授業内容の理解を深める。（1時間程度）
 その他：日頃からニュースや新聞等で取り上げられる社会問題に関心を持つこと。（適宜）

教科書

「よくわかる社会学」（やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ）、第3版、宇都宮京子編、ミネルヴァ書房、361/U96/3rd、9784623089710

参考図書

授業の中で、必要に応じて適宜、紹介する。

評価方法

試験 [80%]、受講態度 [20%] によって総合的に評価する。

フィードバック

毎回、授業中に質問の時間を設けるので、学生から質問があれば、その都度、対応する。

その他

受講者の習熟度に合わせて授業を進めるため授業が予定通りには進まない可能性がある。

環境問題と健康	1年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 牛島 佳代・今井 奈妙			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

環境問題は、人間と環境との相互作用の過程のさまざまな段階で発生し、「からだ」、「こころ」、「つながりや結びつき」に影響を及ぼす諸問題である。人間を取り巻く環境と健康の間には、目に見える水や目に見えない大気、放射線、化学物質等があり、これらの環境に問題が生じ、それが健康に与える影響について、医学、心理学、社会学、法学、経済学、看護学などの学際的な研究手法から学ぶ。

【到達目標】

1. 環境問題と健康との関係について考えることができる。
2. 水質汚染と健康との関係について理解することができる。
3. 放射線被曝と健康との関係について理解することができる。
4. 化学物質と健康との関係について理解することができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	環境問題と健康とは ~ Environmental Health Perspectives ~	牛島 佳代
2	社会環境と健康 ~ 社会環境から考える ~	牛島 佳代
3	水質汚染と健康 ~ 水俣病から考える ~	牛島 佳代
4	放射線被曝と健康 ~ 原発事故を経験した親子調査から考える ~	牛島 佳代
5	化学物質と健康 ~ 日常生活汚染による健康障害 ~	今井 奈妙
6	住宅環境と健康 ~ シックハウス症候群という課題 ~	今井 奈妙
7	食生活と健康 ~ 地球の歴史を考えながら食べる ~	今井 奈妙
8	生態看護学に挑戦 ~ 患者を看ない看護師の養成方法 ~	今井 奈妙

授業方法

第1～8回 講義

時間外学習

- ・講義ごとに予習（30分）、復習（30分）を行う。

教科書

配布資料をテキスト代わりとする。

参考図書

「水俣病」（岩波新書、青-841）、原田正純著、岩波書店、080/185/841、9784004111139
「終わらない被災の時間：原発事故が福島県中通りの親子に与える影響(ストレス)」、成元哲編著、石風社、369.36/So41、9784883442508
「沈黙の春」、新装版、レイチェル・カーソン著、青樹築一訳、新潮社、519/C24、4105197037
「地球を脅かす化学物質：発達障害やアレルギー急増の原因」、木村 黒田純子著、海鳴社、519/Ki39、9784875253419

評価方法

毎回提出してもらおうレスポンスカードの内容により評価する（100％）。

フィードバック

毎回提出してもらおうワークシートの内容を次回紹介する。

その他

文化人類学	1年 前期	2単位 (30時間)	選択
担当: 渡辺 道斉			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

文化が人間のものの見方や感じ方、判断、日常の行動、人間関係等いかに大きな影響を及ぼしているかを理解し、地球上のさまざまな文化や社会の多様性と共通性を学ぶ。

【到達目標】

1. 人類の知的遺産について理解できる。
2. 多様な人々に対して理解し共感できる。
3. 現代社会で起きていることが理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	文化人類学とはどのような学問か	渡辺 道斉
2	生物としての人間、人類の起源と進化	渡辺 道斉
3	日本人の起源を探る	渡辺 道斉
4	日本人の起源を探る	渡辺 道斉
5	文化の定義、文化と言語	渡辺 道斉
6	シンボル体系としての文化	渡辺 道斉
7	異文化を理解するとは	渡辺 道斉
8	民族生殖観と男女関係、親子関係	渡辺 道斉
9	婚姻と家族の多様性	渡辺 道斉
10	ライフサイクルと境界理論	渡辺 道斉
11	通過儀礼の構造	渡辺 道斉
12	宗教と世界観	渡辺 道斉
13	健康と身体、環境と健康	渡辺 道斉
14	病と治療、医療の体系	渡辺 道斉
15	人間の死のとらえ方	渡辺 道斉

授業方法

講義

時間外学習

予習：授業内容のキーワードについて調べる。(Googleでもかまわない。)(30分)
復習：授業で配布したプリントとノートを見直す。(30分)
その他：疑問点、聞き逃した箇所は質問する。(適宜)

教科書

使用しない。

参考図書

「文化人類学」(系統看護学講座,基礎分野),第3版,波平恵美子編,医学書院, N08/Ke28/50 , 9784260013161

評価方法

試験(80%)、課題提出(10%)、受講態度(10%)受講中の私語には厳しく対応する。

フィードバック

学習内容のフィードバック等は授業内に行う。

その他

なし

日本文化論	1年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 永井 博			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

いわゆる「日本文化論」は、たとえば茶道などのさまざまな伝統芸能や、アキハバラから発信されるアニメなどの現代のコンテンツを日本に独自の「文化」として論じます。しかし、これらの伝統芸能や芸術あるいは学術などの知的生産物を「文化」と呼ぶのはなぜなのでしょう。そのような、精神的で、ある集団に固有のものを「文化」と呼ぶのは、それほど古くからのことではありません。そしてそういうものを「文化」と呼ぶことにはいろいろな問題が含みこまれています。たとえば、世界にはそのような精神的で素晴らしい「文化」を持っている国とそうでない国があって、持っている国は進んだ国、そうでない国は遅れた国だという差別的な考え方がその一つです。このように考えると、「日本」の「文化」はどのような「文化」なのかと考えるのではなく、むしろ「文化」という概念のもとに何が語られているかを考えることの方が、より大きな問題であると思われます。この講義では、いろいろな人の「日本文化論」を取り上げて、「日本」の「文化」がどのように語られ、どのような問題をかたちづくってきたかについて一緒に考える。

【到達目標】

上に述べた「文化」という概念が含む問題を自らの中にも根付いている自分の問題としてとらえ、それをどのように克服していくかについて考える糸口を見つけることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス・日本文化論について考えるために / 受講上の注意	永井 博
2	文化 概念・ 文明 概念の問題について	永井 博
3	ブルーノ・タウト『日本文化私観』『ニッポン』	永井 博
4	日本の食文化について考える：日本と韓国のお雑煮	永井 博
5	加藤周一<雑誌文化論>	永井 博
6	谷崎潤一郎「陰翳礼賛」	永井 博
7	三島由紀夫「文化防衛論」	永井 博
8	坂口安吾「日本文化私観」	永井 博

授業方法

第1回～第8回：講義

時間外学習

予 習：講義でとりあげる諸家の「日本文化論」のテキストを読む。(1時間)
復 習：講義の内容を、資料とノートを材料にして見直す。(30分)
その他：講義でとりあげた諸家の他の文章を読む。(適宜)

教科書

なし。プリントなどの資料を講義の時に配る。

参考図書

「国境の越え方：国民国家論序説」, 増補, 西川長夫著, 平凡社
, 080.1/N83/380, 4582763804

評価方法

参加と授業中の態度(30%)、提出物(20%)、試験(50%)で総合評価する。

フィードバック

毎時間講義終了後にミニレポートを提出し、翌週にコメントを書き込み、全員の前で紹介しながらディスカッションするかたちでフィードバックする。

その他

なし

情報リテラシー	1年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 森田 一三・高見 精一郎			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

情報通信技術の急激な進歩に応じて情報を収集、編集、分析し、安全に発信・共有する情報活用能力が求められている。本科目では、大学の学習で求められる、課題・レポート・論文の作成において必要なICT (Information and Communication Technology) 技術の確認および習得することを目指す。具体的には安全な情報管理の理解やマイクロソフトワードとエクセルの基本技術習得を目的とする。

【到達目標】

1. 情報の安全な収集や発信、共有について説明できる。
2. マイクロソフトワードを用いて文章の入力ができる。
3. マイクロソフトエクセルを用いて簡単な計算やグラフの作成ができる。
4. マイクロソフトワードを用いてグラフと文章の混在したレポートが作成できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	オリエンテーション 情報の安全な収集や発信、共有について	森田・高見
2	メールの書き方、情報管理の方法について	森田・高見
3	ワード：起動・終了、基本的な操作、レイアウト	森田・高見
4	ワード：画像と文字のレイアウト	森田・高見
5	エクセル：基本的な操作、起動・終了、画面構成、データ入力	森田・高見
6	エクセル：数式・関数の使い方	森田・高見
7	エクセル：グラフの作り方	森田・高見
8	ワードとエクセルの連携	森田・高見

授業方法

講義、演習

時間外学習

予習：日常的に情報機器に触れ、情報の収集、発信を行う。(30分)
復習：習った技術を実際の課題・レポート・論文の作成において用いる。(30分)

教科書

なし。適宜プリントを配布する。

参考図書

授業中に適宜紹介する。

評価方法

成績評価は、受講態度(参加・貢献度)〔40%〕、課題の提出〔60%〕を合計して算出する。

フィードバック

課題を実施しながら具体的な手順を解説する。

その他

講義で使用するマイクロソフトワードおよびエクセルは2016とする。
データを保存するためのUSBメモリ(空き容量は1GB程度あれば充分)を持参すること。
医療および研究において情報管理及び情報処理の経験を持つ教員が専門知識・技術を本科目で教授する。

スポーツ健康科学	1年 後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 三浦 真理子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

生涯にわたって健康を維持・増進するために、身体の仕組みや働きについて理解するとともにスポーツや運動を実施する上での正しい知識を身につける。

【到達目標】

1. スポーツや運動が身体に及ぼす影響について説明できる。
2. スポーツや運動を安全に実施するための知識を身につけ、実践することができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス(授業の進め方、成績評価について)、健康とは	三浦 真理子
2	熱中症について	三浦 真理子
3	生活習慣病とその予防	三浦 真理子
4	大学生の生活習慣について	三浦 真理子
5	健康と栄養	三浦 真理子
6	健康を維持・増進するための運動	三浦 真理子
7	トレーニングについて	三浦 真理子
8	スポーツ傷害とその予防	三浦 真理子

授業方法

- ・第1回～第2回、第4回～第8回：講義
- ・第3回：講義、討論

時間外学習

予習：各自必要に応じて行うこと（30分）。
復習：返却されたワークシートを見直す（30分）。
その他：健康やスポーツに関する文献を読むことによって知識を深める（適宜）。

教科書

毎回の授業でプリントを配布する。

参考図書

授業中に適宜紹介する。

評価方法

定期試験（70%）、ワークシート等（20%）、受講態度（10%）

フィードバック

ワークシート返却時にフィードバックを行う。

その他

なし

スポーツレクリエーション実技	1年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 三浦 真理子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

さまざまなスポーツやレクリエーションを通じて、ルール等を工夫し身体を動かすことの楽しさを学び、自分たちで運動プログラムの作成・指導する能力を身につける。

【到達目標】

1. 自らルールを工夫し、楽しく身体を動かすことができる。
2. 健康や安全に留意し運動を実践することができる。
3. 運動プログラムの作成および指導ができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス (授業内容、注意事項について)	三浦 真理子
2	レクリエーション	三浦 真理子
3	ドッジボール・ドッジビー	三浦 真理子
4	キックベース	三浦 真理子
5	フライングディスク(アルティメット等)	三浦 真理子
6	ダンスエクササイズ	三浦 真理子
7	ダンスエクササイズ(作成・指導)	三浦 真理子
8	ダンスエクササイズ(作成・指導)	三浦 真理子
9	ダンスエクササイズ(作成・指導)	三浦 真理子
10	まとめ	三浦 真理子
11	バレーボール・ソフトバレーボール	三浦 真理子
12	サッカー・フットサル	三浦 真理子
13	バスケットボール	三浦 真理子
14	ニュースポーツ・レクリエーション(工夫)	三浦 真理子
15	パラスポーツ・アダプテッドスポーツ	三浦 真理子

授業方法

- ・第1回～第5回：試合等(実技)
- ・第6回～第10回：グループ活動(発表)
- ・第11回～第15回：オンデマンド形式予定 1
1...雨天等でグラウンドが使用できない場合は、講義の順番を前後させて実施する可能性がある。

時間外学習

- 予習：最適なコンディションで実技に臨めるように体調管理をする(適宜)。
- 復習：授業で行ったスポーツのルールや技術などを確認する(30分)。
- その他：余暇時間を活用し、スポーツやレクリエーションを実践する(30分)。

教科書

なし

参考図書

なし

評価方法

授業態度・参加度(50%)、技術点(30%)、発表点(20%)

フィードバック

自身で作成した運動プログラムの指導後に、教員評価等を記載しフィードバックを行う。オンデマンド形式の場合は、毎回Formsによる課題を課し、同時に質問を受け付ける。

その他

欠席・遅刻をせず、積極的に授業に参加すること。
運動に適した服装および靴で授業を受けること。忘れた場合には参加できない。

看護プロフェッショナルセミナー	1年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 森田 一三・松浦 正子・東野 督子・野口 眞弓・長谷川 喜代美・長田 知恵子・岡田 摩理・鈴木 寿摩・竹内 貴子・巻野 雄介・橋本 亜弓・深谷 由美・初田 真人・高見 精一郎			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

大学生活の導入として主体的な学び方やレポートの作成、プレゼンテーションの方法、討議の方法を学ぶと共に、キャリア支援として卒業生等との触れ合いをとおして、本学で看護学を学ぶ意義を意識化し、学習意欲を高める。

【到達目標】

1. 小集団活動や討議をとおして、本学で看護学を学ぶ意義を言語化し発表できる。
2. レポートを作成するために必要な情報収集やプレゼンテーション方法、討議方法について体験学習をとおして理解できる。
3. 上級生や看護専門職者等の体験談を聞き、看護職の役割をイメージすることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス・小集団活動の説明	全担当教員
2	プレゼンテーション方法	全担当教員
3	上級生による講演	全担当教員
4	小集団活動 ・レポートの作成	全担当教員
5	患者体験者による講演	全担当教員
6	小集団活動 ・レポートの作成	全担当教員
7	プレゼンテーション方法	全担当教員
8	プレゼンテーション方法 ・レポートの作成	全担当教員
9	資料・図書検索	全担当教員
10	医学中央雑誌による文献検索	全担当教員
11	プレゼンテーション方法	全担当教員
12	卒業生(看護専門職種)による講演	全担当教員
13	小集団活動 ・レポートの作成	全担当教員
14	小集団活動・プレゼンテーション方法 まとめ	全担当教員
15	小集団活動・プレゼンテーション方法 まとめ	全担当教員

授業方法

講義・演習

時間外学習

予習：テーマに関する内容について書籍やweb等で調べ関心・理解を深める。(30分)。
復習：学んだスキルについて実践し、大学で学ぶ学習方法を身に着ける(30分)。

教科書

「医中誌Web検索ガイド」,第3版,医学中央雑誌刊行会,医学中央雑誌刊行会,
<https://www.jamas.or.jp/user/guide/>

参考図書

適宜、紹介する。

評価方法

討論への参加(50%)、レポート(40%)、発表(10%)

フィードバック

発表時やレポート作成過程においてフィードバックを行う。

その他

なし。

ボランティア活動論	1年 後期	1単位 (30時間)	選択
担当: 村瀬 智子・山田 聡子・下間 正隆・高見 精一郎・中村 将洋			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

ボランティア活動についての基本的知識、現状、課題、あり方について知り、学生自身が地域におけるボランティア活動を通して、地域や福祉について多角的な視野から捉え直す機会を持ち、社会性を育む。

【到達目標】

1. ボランティア活動についての基本的知識、現状、課題、あり方を知る。
2. 学生自身が地域におけるボランティア活動に参加し、地域や福祉について多角的な視野から捉え直す機会を持つことができる。
3. 地域におけるボランティア活動を通して、社会性をより育むことができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス 大学生におけるボランティア活動の意義と可能性	全担当教員 中村 将洋
2	現代社会に求められるボランティアと活動の場 - 地域福祉、環境、災害 -	中村 将洋
3	ボランティア活動の現状と課題	中村 将洋
4	ボランティア活動を推進する組織と機能	中村 将洋
5	ボランティア活動の実際	全担当教員
6	ボランティア活動の実際	全担当教員
7	ボランティア活動の実際	全担当教員
8	ボランティア活動の実際	全担当教員
9	ボランティア活動の実際	全担当教員
10	ボランティア活動の実際	全担当教員
11	ボランティア活動の実際	全担当教員
12	ボランティア活動の実際	全担当教員
13	ボランティア活動の発表とまとめ	全担当教員
14	ボランティア活動の発表とまとめ	全担当教員
15	ボランティア活動の発表とまとめ	全担当教員

授業方法

講義・演習

時間外学習

予習：学習内容に関する情報について、メディアや新聞等から少なくとも一つは準備する。(15分)

復習：学習または活動内容について、記録を残しておく。(15分)

その他：活動したいボランティアにはどのようなものがあるか、また、フィールド等、積極的に考える。

教科書

「ボランティア論：「広がり」から「深まり」へ」, 柴田謙治, 原田正樹, 名賀亨編, みらい, 369.7/Sh18, 9784860152062

参考図書

適宜、紹介する。

評価方法

授業への参加状況10%、ボランティア活動の課題レポート60%、発表・まとめへの参加態度30%を総合的に評価する。

フィードバック

レポートに教員コメントを記載して学生に返却する。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、ボランティア活動における看護の視点・思考力等を本科目で教授する。

赤十字原論	1年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 小林 洋子・河合 利修・伊藤 明子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

本学の建学の精神である「赤十字理念を基調とした人道」を基本から学ぶことにより、赤十字看護の行動指針である「赤十字の基本原則」を実際の現場で運用できるよう、基盤となる能力の修養を目的とする。

あわせて、赤十字の歴史や国際人道法、国際救援活動の実際を知ることにより、世界のほとんどの国と地域にネットワークを持つ世界最大の人道支援機関の一員であることを自覚し、国際的な視野に立って生命と健康、尊厳を守ることの重要性を理解する契機とする。

【到達目標】

1. 赤十字の歴史と基本的なしくみについて理解できる。
2. 赤十字の理念と基本原則を理解し、実際の現場で運用しようと意識することができる。
3. 国際的な視野に立って、生命と健康、尊厳の重要性が理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	赤十字の誕生と歴史、しくみ ・赤十字の誕生とアンリー・デュナン ・日本赤十字社の誕生	小林 洋子
2	赤十字の誕生と歴史、しくみ ・赤十字の誕生とアンリー・デュナン ・日本赤十字社の誕生	小林 洋子
3	赤十字の理念と基本原則 ・赤十字の理念 ・「人道の敵」	河合 利修
4	赤十字の理念と基本原則 ・赤十字の理念 ・「人道の敵」	河合 利修
5	国際人道法 ・国際人道法の要点、基本原則 ・国際人道法の発展と歴史 ・ジュネーブ諸条約 ・赤十字と国際人道法	河合 利修
6	国際人道法 ・国際人道法の要点、基本原則 ・国際人道法の発展と歴史 ・ジュネーブ諸条約 ・赤十字と国際人道法	河合 利修
7	世界と日本の赤十字、まとめ ~ 国際救援の現場から見えてくるもの ~ ・赤十字の標章 ・赤十字の国際活動 ・まとめ	小林洋子
8	世界と日本の赤十字、まとめ ~ 国際救援の現場から見えてくるもの ~ ・赤十字の標章 ・赤十字の国際活動 ・まとめ	小林洋子

授業方法

第1回、第2回：講義，第3回 - 第6回：講義（オンライン配信），第7回・第8回：講義

時間外学習

予習：教科書の指定ページを読み、その部分を理解する。（30分）

復習：教科書およびノートを見直し、授業の内容の理解を深める。（30分）

その他：世界の紛争・災害や、赤十字に関するニュースなどを積極的に見るようにする。（適宜）

教科書

「赤十字のしくみと活動」, 日本赤十字社, 日赤会館, 赤十字資料コーナー
「赤十字と国際人道法：普及のためのハンドブック」, 第7版改訂, 日本赤十字社国際部編, 日赤サービス, R0.12/N77/7th
解説 赤十字の基本原則, ジャン・ピクテ, 東信堂, 9784887139831

参考図書

「ソルフェリーノの思い出」, アンリー・デュナン著, 木内利三郎訳, 日赤会館, R0.2/D97
「解説赤十字の基本原則：人道機関の理念と行動規範」, 第2版, ジャン・ピクテ著, 井上忠男訳, 東信堂, R0.1/P65/2nd, 9784887139831
その他の参考図書は、適宜、講義で指定する。

評価方法

レポート(100%)

フィードバック

- ・授業時に学習へのフィードバックを行う
- ・授業カードへの質問に、次回の授業時に応える。

その他

特になし

赤十字と活動	1年 後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 小林 洋子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

本授業では、日本赤十字社が行っている幅広い諸活動について赤十字の思想を念頭において理解し、活動の重要性と日常生活とどのように関連するのかについて学ぶ。

【到達目標】

1. 日本赤十字社の諸活動を理解できる
2. 日本赤十字社の諸活動について日常生活との関連からその重要性を理解できる

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	が ぐ ん , 日本赤十字社の活動	小林 洋子
2	日本赤十字社の活動 血液事業	小林 洋子
3	日本赤十字社の活動 救急法等の講習	小林 洋子
4	日本赤十字社の活動 国際活動・国内災害救護	小林 洋子
5	日本赤十字社の活動 看護師等養成事業	小林 洋子
6	日本赤十字社の活動 医療事業	小林 洋子
7	赤十字ボランティア	小林 洋子
8	青少年赤十字, まとめ	小林 洋子

授業方法

第1回：～第8回：講義

時間外学習

- ・講義の復習をする（適宜）。
- ・関心ある活動について、文献を活用し理解を深める（適宜）。

教科書

「世界と日本の赤十字：世界最大の人道支援機関の活動」, 第2版, 榊井孝, 森正尚著, 東信堂, R0.7/Ma67/2nd, 9784798914930

参考図書

「赤十字のしくみと活動」, 日本赤十字社, 日本赤十字社, 赤十字資料コーナー
「赤十字と国際人道法：普及のためのハンドブック」, 第7版改訂, 日本赤十字社国際部編, 日本赤十字社, R0.12/N77/7th
「ソルフェリーノの思い出」, アンリ・デュナン著, 木内利三郎訳, 日本赤十字社, R0.2/D97
「解説赤十字の基本原則：人道機関の理念と行動規範」, 第2版, ジャン・ピクテ著, 井上忠男訳, 東信堂, R0.1/P65/2nd, 9784887139831

評価方法

レポート(80%)、課題提出(20%)を合計して算出されます。

フィードバック

- ・授業カードの質問について、次回の授業で応える。
- ・グループワークの発表時に助言する。

その他

看護師としての経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

赤十字総合セミナー	1年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 小林 洋子・村瀬 智子・南谷 志野・清水 みどり・千葉 朝子・神道 那実・長尾 佳世子・藤井 愛海			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

赤十字の歴史に触れ、赤十字の人道の精神に基づき先人が築いた看護を理解したうえで、社会情勢の変化との関係において、現代の私たちに求められる看護の専門性を考察する。

【到達目標】

1. 明治村の日本赤十字社中央病院病棟や本学常設展示室の見学、及び赤十字関連史料を閲覧し、赤十字の歴史を理解できる。
2. 赤十字の精神に基づいた看護を理解できる。
3. 赤十字の歴史を踏まえ、今、求められる看護とその専門性について考察できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス、日本赤十字社の歴史・展示室見学	小林 洋子
2	明治村の日本赤十字社中央病院病棟見学	全担当教員
3	明治村の日本赤十字社中央病院病棟見学	全担当教員
4	赤十字に関するテーマ選定(グループワーク) 1	全担当教員
5	テーマの探究(グループワーク) 2	全担当教員
6	テーマの探究(グループワーク) 3	全担当教員
7	テーマの探究(グループワーク) 4	全担当教員
8	グループワーク発表, まとめ	全担当教員

授業方法

第1回：講義・見学、第2回、第3回：見学 第4回～第7回：グループワーク 第8回：グループワーク発表・討議（新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインで実施）

時間外学習

- ・テーマに関する書籍・資料を参考に予習・復習を行う（適宜）。

教科書

特に指定しない

参考図書

- 「世界と日本の赤十字：世界最大の人道支援機関の活動」, 第2版, 榎井孝, 森正尚著, 東信堂, R0.7/Ma67/2nd, 9784798914930
「赤十字のしくみと活動」, 日本赤十字社, 日本赤十字社, 赤十字資料コーナー
「災害が起こったときにあなたが支援できること：災害時高齢者生活支援講習ハンドブック」, 日本赤十字社企画編集, 日赤サービス, 赤十字資料コーナー
「日赤の創始者佐野常民」(歴史文化ライブラリー118), 吉川龍子著, 吉川弘文館, R1.028/Sa66, 4642055185
「明治日本のナイチンゲールたち：世界を救い続ける赤十字『昭憲皇太后基金』の100年」, 今泉宜子著, 扶桑社, R0.2/143, 9784594070236

評価方法

レポート〔50%〕、見学レポート〔10%〕、グループワーク発表〔30%〕、グループワークへの貢献〔10%〕を合計して算出されます。

フィードバック

- ・レスポンスカードの質問に応える。
- ・グループワークや、グループワークの発表・討議の場でフィードバックする。

その他

看護師としての勤務経験を有する教員が専門知識を本科目で教授する。

形態機能学	1年 前期	2単位 (60時間)	必修
担当: 福間 長知			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

様々な臓器の構造（形態）と働き（機能）について学ぶことを目的とする。形態機能学では、解剖学から、臨床医学の基本となる循環器系、呼吸器系、消化器系臓器の構造と役割について講義し、それぞれの障害によりもたらされる代表的な疾患について解説する。本講義の内容は、今後学習する臨床医学、看護学の基礎となることを理解し、確実に身につける勉強が必要である。

【到達目標】

1. ヒトの各臓器の特徴（位置・形・働き）を、理解し説明できる。
2. 臓器の障害により起こる代表的な病気を、理解し説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	形態機能学学習ガイダンス 人体解剖学概論（1）（人体の見方）	福間 長知
2	人体解剖学概論（2）（体の全体像を把握する）	福間 長知
3	人体解剖学概論（3）（臓器の種類と役割）	福間 長知
4	細胞内構造物とDNA・RNAの役割	福間 長知
5	細胞分裂の仕組み。遺伝子異常・染色体異常による代表的疾患	福間 長知
6	体の様々な細胞と組織	福間 長知
7	心血管の構造と機能（1）心臓の解剖とその働き	福間 長知
8	心血管の構造と機能（2）心臓の中の電気現象（刺激伝導系）	福間 長知
9	心血管の構造と機能（3）心臓のポンプ機能と血圧調節	福間 長知
10	心血管の構造と機能（4）脈管（動脈・静脈・リンパ）	福間 長知
11	循環器系の代表的疾患（1）不整脈疾患の概要	福間 長知
12	循環器系の代表的疾患（2）心不全・高血圧症の概要	福間 長知
13	循環器系の代表的疾患（3）虚血性心疾患・血管疾患の概要	福間 長知
14	心電図学の基本（看護師に必要な心電図の知識）	福間 長知
15	生活習慣病概論	福間 長知
16	呼吸器の構造と機能（1）気管・気管支・肺の解剖	福間 長知
17	呼吸器の構造と機能（2）呼吸の生理学	福間 長知
18	呼吸器系の代表的疾患（1）気管支喘息の概要	福間 長知
19	呼吸器系の代表的疾患（2）タバコと閉塞性肺疾患の概要	福間 長知
20	呼吸器系の代表的疾患（3）炎症性疾患と悪性腫瘍の概要	福間 長知
21	臨床感染症学概論	福間 長知
22	消化器 概論	福間 長知
23	消化器 咽頭・食道・胃・十二指腸	福間 長知
24	消化器 小腸・大腸・肛門	福間 長知
25	消化器 肝・胆・膵	福間 長知
26	消化器系の代表的疾患（1）機能的消化器疾患の概要	福間 長知
27	消化器系の代表的疾患（2）炎症性消化器疾患の概要	福間 長知
28	消化器系の代表的疾患（3）肝炎と消化器悪性腫瘍の概要	福間 長知
29	臨床現場の栄養学（疾患と栄養に関する話題）	福間 長知
30	講義のまとめ	福間 長知

授業方法

スライドと配布資料を用い講義する。
（但し、対面授業が出来ない環境となった場合は、遠隔講義とする。）

時間外学習

- 予習：教科書で概要を理解しておくこと。(20分)
復習：配布資料を基に、授業で話した内容を思い返しながらか復習する。分からないことは、教科書などを用いて調べる必要がある。(40分)
その他：疑問が残ったことは、講義担当者に質問したり、図書館にある本で調べたりする必要がある。インターネットを用い関連領域の最新の知見を調べることなど、見識を拡げるよう努めること。

教科書

- 「解剖生理学」(系統看護学講座,専門基礎分野・人体の構造と機能1),第10版,坂井建雄著者代表,医学書院,N08/Ke28/1,9784260031714
「トートラ人体解剖生理学」,原書11版, Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson著,佐伯由香他編訳,丸善出版,491.1/To69/11th,9784621305393

参考図書

- 「人体の細胞生物学：カラー図解」,坂井建雄,石崎泰樹編,日本医事新報社,491.11/Sa29,9784784932320
「カラー図解人体の正常構造と機能(全10巻)」,第3版,坂井建雄,河原克雅総編集,日本医事新報社
「カラー図解症状の基礎からわかる病態生理」,第2版, Stefan Silbernagl, Florian Lang著,松尾理監訳,メディカル・サイエンス・インターナショナル,491.6/Si4/2nd,9784895926881
「Year note 内科・外科等編」,2022年版,医学情報科学研究所 編, Medic Media, 490.7/167, 2021年3月刊行予定
「病気がみえる Vol.1~Vol.10」,医学情報科学研究所 編, Medic Media

評価方法

受講態度(20%)と試験(80%)：期末試験を主な評価対象とするが、授業態度などを含め最終の評価とする。

フィードバック

講義や復習の過程において生じた問題点を、教員に伝える機会を作る。問題点について個別に回答するとともに、必要な場合は講義においてディスカッションする場を設ける。

その他

臨床医・指導医として豊富な経験を持つ教員が、専門知識を背景に本科目を教授する。

形態機能学	1年 後期	2単位 (60時間)	必修
担当: 福間 長知			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

形態機能学 に続き、様々な臓器の構造（形態）と働き（機能）について学ぶことを目的とする。形態機能学 では、ホルモンを作る臓器（内分泌系）、尿を作り排泄する臓器（腎泌尿器系）、血液の成分と役割（血液系・凝固系）、体を支える骨と筋肉（筋骨格系）、情報を伝える脳と神経（神経系）、外部の信号を感知する臓器（感覚系）、子どもを産むしくみ（生殖器系）について講義し、それぞれの障害によりもたらされる代表的な疾患について解説する。本講義の内容は、今後学習する臨床医学、看護学の基礎となることを理解し、確実に身につける勉強が必要である。

【到達目標】

1. ヒトの各臓器の特徴（位置・形・働き）を、理解し説明できる。
2. 臓器の障害により起こる代表的な病気を、理解し説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	内分泌 概論	福間 長知
2	内分泌 視床下部・下垂体	福間 長知
3	内分泌 甲状腺・副甲状腺	福間 長知
4	内分泌 副腎・性腺・他	福間 長知
5	ホメオスターシスと適応反応	福間 長知
6	代謝 糖代謝	福間 長知
7	代謝 脂質・尿酸・他	福間 長知
8	血液 総論・赤血球	福間 長知
9	血液 白血球	福間 長知
10	血液 血小板・止血凝固	福間 長知
11	免疫学概論 解剖・生理	福間 長知
12	アレルギー疾患・自己免疫疾患	福間 長知
13	腎・泌尿器 総論・糸球体	福間 長知
14	腎・泌尿器 尿細管・体液調節	福間 長知
15	腎・泌尿器 慢性腎臓病・腎不全	福間 長知
16	腎・泌尿器 尿道・前立腺	福間 長知
17	骨格・関節・筋	福間 長知
18	骨格・関節・筋	福間 長知
19	骨格・関節・筋	福間 長知
20	脳・脊髄の解剖と機能	福間 長知
21	脳・脊髄の解剖と機能	福間 長知
22	神経疾患 器質的疾患	福間 長知
23	神経疾患 機能的疾患	福間 長知
24	自律神経・精神	福間 長知
25	感覚器 解剖生理 概論・視覚	福間 長知
26	感覚器 解剖・生理 聴覚・平衡感覚・嗅覚・味覚・他	福間 長知
27	生殖・分化・老化	福間 長知
28	生殖・分化・老化	福間 長知
29	女性の病気・性差医療	福間 長知
30	講義のまとめ	福間 長知

授業方法

スライドと配布資料を用い講義する。
(但し、対面授業が出来ない環境となった場合は、遠隔講義とする。)

時間外学習

- 予習：教科書で概要を理解しておくこと。(20分)
復習：配布資料を基に、授業で話した内容を思い返しながら復習する。分からないことは、教科書などを用いて調べる必要がある。(40分)
その他：疑問が残ったことは、講義担当者に質問したり、図書館にある本で調べたりする必要がある。インターネットを用い関連領域の最新の知見を調べることなど、見識を広げるよう努めること。

教科書

「解剖生理学」(系統看護学講座,専門基礎分野・人体の構造と機能1),第10版,坂井建雄著者代表,医学書院,N08/Ke28/1,9784260031714
「トートラ人体解剖生理学」,原書11版, Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson著,佐伯由香他編訳,丸善出版,491.1/To69/11th,9784621305393

参考図書

「人体の細胞生物学：カラー図解」,坂井建雄,石崎泰樹編,日本医事新報社,491.1/Sa29,9784784932320
「カラー図解人体の正常構造と機能(全10巻)」,第3版,坂井建雄,河原克雅総編,日本医事新報社
「カラー図解症状の基礎からわかる病態生理」,第2版,Stefan Silbernagl, Florian Lang著,松尾理監訳,メディカル・サイエンス・インターナショナル,491.6/Si4/2nd,9784895926881
「Year note 内科・外科等編」,2022年版,医学情報科学研究所 編,Medic Media,490.7/l67,2021年3月刊行予定
「病気がみえる Vol.1~Vol.10」,医学情報科学研究所 編,Medic Media

評価方法

受講態度(20%)と試験(80%):期末試験を主な評価対象とするが、授業態度などを含め最終の評価とする。

フィードバック

講義や復習の過程において生じた問題点を、教員に伝える機会を作る。問題点について個別に回答するとともに、必要な場合は講義においてディスカッションする場を設ける。

その他

臨床医・指導医としての豊富な経験を持つ教員が、専門知識を背景に本科目を教授する。

形態機能学	1年 通年	1単位 (15時間)	必修
担当: 福間 長知			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

解剖見学実習（名古屋大学）ならびに愛知県赤十字血液センター見学をとおして、形態機能学で学んだ知識を確かなものにするを主な目的とする。また、医学教育・医療現場の見学を介して、多職種協働の中で看護師が活躍する場を実感してもらう。

【到達目標】

1. 解剖見学実習から、看護学の基礎にある解剖学を体験し、献体された方と遺族の心を知り、解剖に対峙した医学生姿から医療の本質を感じ、解剖学の基本を習得する。
2. 赤十字血液センター見学を通して、献血制度で成り立つ我が国の輸血関連事業を知り、その中で活躍する看護師の役割を知り、輸血を必要とする医療の現場を理解する。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	解剖学概要・献体制度	福間 長知
2	解剖実習について（見学前注意事項を含む）	福間 長知
3	名古屋大学医学部 解剖実習見学	福間 長知
4	解剖学実習見学後の確認	福間 長知
5	献血制度・輸血事業・輸血治療	福間 長知
6	日本赤十字血液センターの仕事（見学前の注意事項を含む）	福間 長知
7	愛知県赤十字血液センター見学	福間 長知
8	血液センター見学後の確認	福間 長知

授業方法

第1回・第2回・第4回・第5回・第6回・第8回：講義

（但し、対面授業が出来ない環境となった場合は遠隔講義とする。）

第3回・第7回：解剖見学実習（名古屋大学）ならびに愛知県赤十字血液センターの見学実習

時間外学習

予習：教科書等で概要を理解しておくこと。（20分）

復習：見学については、その場でメモを取り、見学の後でノートにまとめること。
講義については、配布資料を基に、授業で話した内容を思い返しながる復習する。分からないことは、教科書などを用いて調べる。（40分）

その他：疑問が残った場合は、講義担当者に質問することや、図書館にある本を調べることなどで解決すること。

教科書

「解剖生理学」（系統看護学講座, 専門基礎分野・人体の構造と機能1）, 第10版, 坂井建雄著者代表, 医学書院, N08/Ke28/1, 9784260031714

「トートラ人体解剖生理学」, 原書11版, Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson著, 佐伯由香他編訳, 丸善出版, 491.1/To69/11th, 9784621305393

参考図書

「グラント解剖学実習」, 改訂版, アラン・J・デットン編, 勝山裕監訳, 西村書店, 491.1/D65/2nd, 9784890134984

「看護師のための臨床輸血：学会認定・臨床輸血看護師テキスト」, 第2版, 学会認定・臨床輸血看護師制度カリキュラム委員会編, 中外医学社

, N10.12/G26/2nd, 9784498075894

「カラー図解人体の正常構造と機能（全10巻）」, 第3版, 坂井建雄, 河原克雅総編集, 日本医事新報社

「病気がみえる Vol.1～Vol.10」, 医療情報科学研究所 編, Medic Media

評価方法

受講態度（30%）とレポート（70%）により評価する。

フィードバック

講義や復習の過程において生じた問題点を、教員に伝える機会を作る。問題点について個別に回答するとともに、必要な場合は講義においてディスカッションする場を設ける。

その他

臨床医・指導医として豊富な経験を持つ教員が、専門知識を背景に本科目を教授する。

免疫学	1年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 錦見 昭彦			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

私たちはウイルスや細菌などの病原体に常にさらされている。これらの侵入に対して免疫系が機能することで、体内から病原体が取り除かれ、健康を維持することができる。一方で、免疫系が様々な刺激に反応することで、免疫系の詳細を理解することは、様々な疾患の予防につながる。ところが、免疫系が病原性を持たない物質や自己の組織に反応することにより、アレルギーや自己免疫疾患が誘発される。本授業では免疫系が侵入した病原体を感知してこれを取り除くしくみと、その機能が破綻することにより発症する疾患について学ぶ。

【到達目標】

1. 自然免疫、獲得免疫の基礎的な概念を理解できる。
2. 感染症と免疫の関係を具体的に理解できる。
3. アレルギーと免疫の関係を理解できる。
4. 免疫が様々な疾患、自己免疫疾患に関与することを理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	免疫系に関与する細胞と、自然免疫、獲得免疫	錦見 昭彦
2	細菌、原虫、寄生虫感染免疫	錦見 昭彦
3	ウイルス感染免疫	錦見 昭彦
4	アレルギー	錦見 昭彦
5	炎症性疾患と免疫	錦見 昭彦
6	自己免疫疾患と免疫不全	錦見 昭彦
7	免疫疾患の治療	錦見 昭彦
8	まとめ	錦見 昭彦

授業方法

講義

時間外学習

予習：教科書の関連する項目を読んで概要を理解しておく。
 復習：プリントを復習するとともに、2回予定の小テストで理解を深める。
 その他：必要に応じて授業の中で指示します。

教科書

「免疫学」,改訂版,磯部健一、錦見昭彦著,三恵社,491.8/185/2nd,9784866931814

参考図書

授業内で紹介する。

評価方法

質問形式の講義で30%、小テストで70%

フィードバック

質問があった項目について、次回の授業時に全体に向けて解説する。

その他

特になし

栄養代謝学	1年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 田口 忠緒			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

生体を構成する物質や生命維持に必要な栄養素の性質について学び、それらの代謝過程および代謝の恒常性を維持する機構を分子レベルで理解する。さらに、疾病罹患時の代謝の乱れを学ぶことで、健康維持のための栄養供給や医薬品などによる治療法の根拠となる基礎的な知識を習得する。

【到達目標】

生体を構成する物質を化学的性質に基づいて列挙でき、各種栄養素が代謝され生命維持に必要なエネルギーを生成する反応機構とそれらを調節する仕組みについて総合的に説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	栄養代謝学の位置付け 生体構成成分1: タンパク質の基礎 (1)	田口 忠緒
2	生体構成成分1: タンパク質の基礎 (2)	田口 忠緒
3	生体構成成分2: 糖質の基礎	田口 忠緒
4	生体構成成分3: 脂質の基礎	田口 忠緒
5	生体構成成分4: 核酸、無機質の基礎	田口 忠緒
6	物質代謝1: 酵素について	田口 忠緒
7	物質代謝2: 糖質代謝...消化吸収、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、糖新生、ペントースリン酸回路、グリコーゲン代謝	田口 忠緒
8	物質代謝3: 脂質代謝...消化吸収、運搬、酸化、脂肪酸合成、コレステロール合成	田口 忠緒
9	物質代謝4: タンパク質代謝...消化吸収、アミノ酸代謝、尿素回路 物質代謝5: 核酸代謝	田口 忠緒
10	代謝の恒常性1: ビタミン 種類と生理作用	田口 忠緒
11	代謝の恒常性2: ホルモン 分類、分泌器官、生理作用、欠乏症・過剰症	田口 忠緒
12	代謝の恒常性3: 酸・塩基平衡とその異常	田口 忠緒
13	栄養と栄養素1: 栄養素の種類と役割、エネルギー代謝	田口 忠緒
14	栄養と栄養素2: 栄養所要量とエネルギー所要量	田口 忠緒
15	栄養と栄養素3: ライフステージと栄養、臨床栄養	田口 忠緒

授業方法

講義、演習

時間外学習

予習: 当日のテキスト該当ページに一通り目を通しておく。(30分)

復習: メソフィア掲示の資料を参考にして、各自必要に応じて行うこと。(30分)

その他: 日常生活や時事のニュースの中で、講義内容に関連した情報を収集して記録する。(適宜)

教科書

「生化学」(系統看護学講座, 専門基礎分野. 人体の構造と機能2), 第14版, 畠山鎮次著者代表, 医学書院, N08/Ke28/2, 9784260035569

参考図書

「栄養学」(系統看護学講座, 専門基礎分野. 人体の構造と機能3), 第13版, 中村丁次著者代表, 医学書院, N08/Ke28/3, 9784260038614

評価方法

試験(100%)で評価する。

フィードバック

質問を受け、理解不足の点について全体的にフィードバックする。

その他
なし

人間工学	1年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 齋藤 真			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

人間工学は、人間とそのまわりの環境をシステムとしてとらえ、これらの関係について解剖学、生理学、心理学などの領域から検討し、安全性、快適性、合理性を追求する学問である。本講義では、看護に関係の深い項目を題材として、環境、ボディメカニクス、ヒューマンエラーやユニバーサルデザインなどの講義も行う。さらに看護と工学の連携から看工連携のものづくりについて考え、看護実践に役立てる。

【到達目標】

1. 各単元について例を挙げて説明することができる。
2. 基礎看護学の関連する部分と統合させてとらえることができる。
3. さまざまな看護実践に人間工学的な手法を活用することが可能となるように、医療と人間工学の関連性を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	人間工学とは(女工哀史からテクノストレス)	齋藤 真
2	看護における人間工学(看護と人間工学)	齋藤 真
3	人間のしくみと特性 (身体の構造、機能と人間工学)	齋藤 真
4	人間のしくみと特性 (身体の機能、行動と人間工学) 1	齋藤 真
5	環境と人間工学 (光環境、音環境)	齋藤 真
6	環境と人間工学 (温熱環境、心理環境) 2	齋藤 真
7	人間工学からみたボディメカニクス (解剖生理学的視点)	齋藤 真
8	人間工学からみたボディメカニクス (物理学的視点) 3	齋藤 真
9	産業疲労と能率 (負荷、負担、疲労の測定)	齋藤 真
10	産業疲労と能率 (作業能率と改善、近代疲労の特徴) 4	齋藤 真
11	安全と人間工学 (ヒューマンエラー、医療事故)	齋藤 真
12	安全と人間工学 (SHELを用いた事故分析) 5	齋藤 真
13	ユニバーサルデザイン (高齢者、障がい者の人間工学)	齋藤 真
14	ユニバーサルデザイン (看工連携ものづくりの人間工学) 6	齋藤 真
15	まとめ(看護と人間工学の接点)	齋藤 真

授業方法

講義

なお、1~6は各単元()のふり返しとまとめの課題を行う。

時間外学習

予習: 各内容について身近な事例をあげてみる。その事例が人間にとってどのような影響を与えるかを予測してみる。(30分)

復習: 予習で考えた事例について、講義中に理解した内容を含めて人に説明できるようにする。(30分)

その他: 各自必要に応じて行うこと。

教科書

テキストは特に使用しないが、参考文献を参照すること。

参考図書

「Fitting the human: introduction to ergonomics」,7th ed., Karl H.E. Kroemer著, CRC Press, 501.8/Kr6/7th, 9781498746892

「看護人間工学: 看護の環境改善のために」, 酒井一博執筆, 山田里津監修, メヂカルフレンド社, N10.1/Y19, 4839215464

「看護動作を助ける基礎人間工学」, 小川鑛一著, 東京電気大学出版局, N10.1/024, 9784501414801

「初学者のための生体機能の測り方」, 第2版, 加藤象二郎, 大久保堯夫編著, 日本出版サービス, 491.3/Ka86/2nd, 4889221182

「事例から学ぶ医療事故防止」(雑誌「からだの科学」臨時増刊, 通巻218号 2001年), 川村治子編, 日本評論社, 3階集密書架

評価方法

1. 試験（自筆のノート持ち込み可）（70%）
2. 小課題（各単元の 、 で学んだ内容を振り返り、それらのまとめを行う）（30%）

フィードバック

小課題の内容について確認、答え合わせ、質疑応答の時間を設ける。

その他

人間工学は基礎看護学や看護管理学と深く関連する内容が多いほか、医療現場における人間工学が多くの現場で必要とされてきている。「工学」という暗い固いイメージにこだわらず、気楽に受講していただければ幸いである。

公衆衛生学	1年 後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 森田 一三			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

人は自然と接し、社会のなかで生活しており、自然環境や社会環境は、人間の心身の健康に大きな影響を与えている。日本では、深刻な健康被害をもたらした水俣病など、公害問題としてもとらえられてきた。また、東日本大震災での福島原子力発電所の事故は、極めて広い地域の人たちに大きな心配をもたらしている。

ここでは、公衆衛生学の基礎的概念を理解し、環境や社会の諸要因が、人間の諸要因と絡み合っ、心身の健康にも大きな影響を与えるシステムとなることを、さまざまな事例から考察する。

【到達目標】

1. 自然や社会と人間の関わりを説明できる。
2. 人間の活動が自然や社会に与える影響を説明できる。
3. 健康問題を、環境要因、社会要因、人的要因の相互作用の視点から説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	公衆衛生学とは	森田 一三
2	人間と環境	森田 一三
3	自然環境と健康	森田 一三
4	気温と気湿と気流	森田 一三
5	生活環境と健康	森田 一三
6	環境問題と健康	森田 一三
7	居住環境の生活衛生	森田 一三
8	まとめ	森田 一三

授業方法

講義

時間外学習

予習：参考図書や関連した図書を読む。(30分)

復習：配布資料などで分からないところを理解する。(30分)

その他：ニュースや新聞などの健康問題に興味をもって接することを心がける。(適宜)

教科書

「公衆衛生学」(新体系看護学全書,健康支援と社会保障制度2),第4版,佐々木明子,井原一成編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/2,9784839233075

参考図書

「シンプル衛生公衆衛生学 2021」,小山洋,辻一郎編,南江堂,498/Sh69/'21

「公衆衛生マニュアル 2021」,柳川洋,中村好一編集,南山堂,498/Y51/'21

「日本公衆衛生雑誌」,日本公衆衛生学会,日本公衆衛生学会

, <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jph/list/-char/ja>

評価方法

成績評価は、試験〔60%〕、課題の提出〔30%〕、受講態度(参加・貢献度)〔10%〕を合計して算出されます。

フィードバック

講義中に随時クイズと解説を行う。

その他

地域保健の実務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

社会福祉学	1年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 服部 次郎			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

少子・高齢化、核家族化、共働き等が進行し、家族の努力だけで育児・介護等を担っていくことが困難な時代において社会福祉の重要性が一層高まっている。将来保健医療分野で働く専門職として、全ての人の幸せが実現するよう支援するために社会福祉の基本的事項を理解し、深めることを目的とする。

【到達目標】

1. 社会福祉各分野の制度の基本的事項について理解し、現場で活用できる。
2. 少子高齢化の流れの中で将来を担う児童および家庭の福祉の現状に関する基本的事項について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	オリエンテーション (ライフサイクルへの理解)	服部 次郎
2	社会保障とは何か、日本の社会福祉・保障と国際比較	服部 次郎
3	児童家庭福祉の実際	服部 次郎
4	児童家庭福祉の教材からの学び 1 (1) 里親制度：グループ討論	服部 次郎
5	児童家庭福祉の教材からの学び 1 (2) 本当の親子へ：グループ討論	服部 次郎
6	障害児・者にとっての福祉；高齢者にとっての福祉	服部 次郎
7	教材 (テーマ：障害) から学ぶ 2：グループ討論	服部 次郎
8	ひとり親家庭にとっての福祉と生活保護 / 生活困難者の福祉	服部 次郎
9	社会福祉援助技術；社会福祉を支える組織と担い手	服部 次郎
10	事例によるロールプレイの技術学習	服部 次郎
11	教材 (テーマ：虐待) から学ぶ 3 (1)：グループ討論	服部 次郎
12	教材 (テーマ：虐待) から学ぶ 3 (2)：グループ討論	服部 次郎
13	社会保障における保険と扶助	服部 次郎
14	年金保険制度と医療保険制度	服部 次郎
15	介護保険制度と地域福祉およびまとめ	服部 次郎

授業方法

第1回～第15回：講義が原則だが、第4、5、7、10、11～12回は演習：討論、発表等実施

時間外学習

予習：配布した授業資料および教科書の関連分野に目を通しておく。(30分)
 復習：その日学んだ内容の中で、特に興味を持った事の一つ、調べてみる。(30分)
 その他：福祉・医療関連の新聞記事を読み、整理して、試験時に活用する。(適宜)

教科書

「現代児童家庭福祉論」, 服部次郎編著, ミネルヴァ書房, 369.4/H44, 9784623082445

参考図書

「私たちの生活と福祉」, 第4版, 福田志津枝、古橋エツ子編著, ミネルヴァ書房, 369/F74/4th, 4623046427
 「国民の福祉と介護の動向 2020/2021」(雑誌「厚生指標」増刊), 厚生労働統計協会編, 厚生労働協会, 雑誌・製本雑誌架

評価方法

授業への参加意欲 (15点)、課題の提出と内容 (25点)、試験 (60点) の総合評価

フィードバック

教材ビデオ鑑賞後にまとめを作成・発表し、その後解説を行う。

その他

- ・心理判定員、児童福祉司としての経験を持つ教員が専門知識を本科目で教授します。
- ・他の学生に迷惑をかけないように私語を慎むことができること。
- ・授業に使用しないもの（スマホ等）はカバンにしまっておくこと。

保健医療福祉行政論	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 日比野 絹子・柴川 ゆかり			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

国民の健康と生活を守る社会システムとして、保健・医療・福祉の法体系と理念および諸施策・制度について基礎知識を学習する。

【到達目標】

保健・医療・福祉の法体系と理念および諸施策・制度を理解することができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	保健医療福祉行政の法的基盤と目標 保健医療福祉行政と公衆衛生の専門職としての保健師とは	柴川 ゆかり
2	行政における保健師の役割 行政における保健師の保健活動と期待される役割とその特徴	都築 三幸
3	保健医療福祉の地域づくりを推進する行政の仕組みと機能1 保健医療福祉活動を推進する行政のしくみと機能	日比野 絹子
4	保健医療福祉の地域づくりを推進する行政の仕組みと機能2 保健医療福祉行政の歴史と変遷	日比野 絹子
5	保健医療福祉の地域づくりを推進する行政の仕組みと機能3 保健医療福祉財政のしくみ、公衆衛生行政のしくみと機能、他	日比野 絹子
6	保健師が担う政策化のプロセスと方法論1 政策のためのPDCAサイクル	日比野 絹子
7	保健師が担う政策化のプロセスと方法論2 行政組織の特徴と意思決定過程、地域づくりの方法論	日比野 絹子
8	保健医療福祉の地域づくりを推進する保健師活動の実際 まとめ	日比野 絹子

授業方法

講義形式で行います。

時間外学習

予習：各回に対応する教科書の内容に一通り目を通し、概要を理解すること。(30分)

復習：授業で理解できなかったことや関連する内容を復習して理解すること。(30分)

その他：保健医療や社会福祉に関するニュースや動向に常に関心をもつこと。(30分)

教科書

「これからの保健医療福祉行政論：地域づくりを推進する保健師活動」, 第2版, 星旦二, 麻原きよみ編, 日本看護協会出版会, N40/H92/2nd, 9784818018624

参考図書

「厚生(労働)白書」を読む：社会問題の変遷をどう捉えたか, 田多英範編著, ミネルヴァ書房, 498.1/Ta16, 9784623083541

「教養としての社会保障」, 香取照幸著, 東洋経済新報社, 364/Ka86, 9784492701447

「公衆衛生マニュアル2021」, 第39版, 柳川洋編, 中村好一他編, 南山堂, 498/Y51/'21

「ちょっと気になる医療と介護」, 増補版, 権丈善一著, 勁草書房

, 369/Ke44, 9784326701032

「ちょっと気になる社会保障」, 増補版, 権丈善一著, 勁草書房

, 364/Ke44, 9784326700967

「社会保障制度改革が目指しているもの：内閣官房社会保障改革担当室長として考えてきたこと」, 中村秀一著, 年友企画, 364/N37, 9784784603008

「2001-2017年ドキュメント社会保障改革：「年金時代」186本のコラムが語る」, 中村秀一著, 年友企画, 364/N37, 9784784603114

「新・生き方としての健康科学」, 第2版, 朝倉隆司編, 山崎喜比古監修, 有信堂高文社, 498.39/A85, 9784842065960

評価方法

レポート試験(60%)、小テスト2回(30%)、授業への参加(10%)

フィードバック

「出席カードの質問欄」の記述内容から前回講義内容の疑問点、追加説明などについて、次回講義時に説明する。

その他

なし

保健医療福祉行政論	2年 後期	2単位 (30時間)	選択
担当: 片岡 博喜			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

保健医療福祉行政論 に引き続き、国民の健康と生活を守る社会システムとして、保健・医療・福祉の法体系と理念および諸施策・制度について学習する。特に保健師として必要な保健行政や、保健、医療、福祉に関連する様々な計画について、理解を深め、行政の方向性を掴み取る。できるだけ、Up To Dateな内容を組み入れるように努める。

【到達目標】

保健・医療・福祉の法体系と理念および諸施策・制度に基づき、保健行政や保健師活動を理解することができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	最近の医療の動向 1-1 医療費の動向、健康日本 21 計画、医療費適正化計画	片岡 博喜
2	最近の医療の動向 1-2 医療法及び地域医療構想	片岡 博喜
3	最近の医療の動向 2-1 救急医療	片岡 博喜
4	最近の医療の動向 2-2 災害医療	片岡 博喜
5	最近の医療の動向 3 医療事故防止、ITの普及、マイナンバー制度	片岡 博喜
6	最近の医療の動向 4 医療保険制度改革	片岡 博喜
7	保健医療福祉の財政 1 国と地方公共団体の財政の仕組み	片岡 博喜
8	保健医療福祉の財政 2 社会保障の給付と財源 国民負担、年金制度	片岡 博喜
9	社会福祉制度の概要 (社会福祉制度の歴史、法と行政体系)	片岡 博喜
10	保健所の歴史 近代日本の成立と公衆衛生行政の変遷	片岡 博喜
11	地域保健 保健所 市町村保健センター	片岡 博喜
12	公衆衛生の基本統計と行政機構の概要 1 人口動態少子高齢化、介護保険	片岡 博喜
13	公衆衛生の基本統計と行政機構の概要 2 母子保健、児童福祉	片岡 博喜
14	感染症対策 1 感染症対策の歴史と感染症予防法精神保健福祉対策	片岡 博喜
15	感染症対策 2 予防接種の歴史と予防接種法 まとめ	片岡 博喜

授業方法

第1回～第15回：講義

時間外学習

予 習：各回に対応する教科書の内容に一通り目を通し、概要を理解すること。
(2時間)

復 習：授業で理解できなかったことや関連する内容を復習して理解すること。
(2時間)

その他：保健医療や社会福祉に関するニュースや動向に常に関心を持つこと。(適宜)

教科書

「これからの保健医療福祉行政論：地域づくりを推進する保健師活動」,第2版, 星旦二編, 麻原きよみ編, 日本看護協会出版会, N40/H92/2nd, 9784818018624

参考図書

「看護関係法令」(系統看護学講座, 専門基礎分野・健康支援と社会保障制度4), 第53版, 森山幹夫著, 医学書院, N08/Ke28/4, 9784260043441

「国民衛生の動向 2021/2022」(雑誌「厚生指針」増刊), 厚生労働統計協会編, 厚生労働統計協会, 雑誌・製本雑誌架, 2021年8月刊行予定

評価方法

基本的に試験（100%）であるが、受講態度も考慮する。

フィードバック

授業中に質問を随時受付、その都度回答をする事で、学生に還元する。
また、講義終了後、学生からの質問を受け付け、その場で回答できるものは、答えるとともに、回答できないものは次回までに回答する。

その他

保健師国家試験受験には必修科目である。
なお、比較的多くの資料を配布する予定なので、A4 のファイルをあらかじめ準備しておいていただければ、役立つと思う。最初の講義に簡単なオリエンテーションを行う予定。

保健情報演習	1年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 森田 一三・高見 精一郎			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護・保健の領域で必要とされる、統計・情報科学の基礎知識を習得し、保健統計資料をはじめとする様々な実際の統計数値・統計指標に適応するスキルを養うことを目的とする。具体的には、代表値および変数間の相関、簡単な推測統計を学習し、演習を通して、その分析をコンピュータソフト(SPSS・R)を用いて行うことができるようになることをめざす。これらは、将来、臨床看護師として、看護科学者として、あるいは企業や行政での保健衛生の専門家として求められる情報リテラシーを得るためのものでもある。

【到達目標】

1. 記述統計の基礎知識を説明できる。
2. 記述統計を用いた分析ができる。
3. 推計統計の基礎知識を説明できる。
4. 基本的な推計統計を用いた分析ができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	授業ガイダンス なぜ統計が必要なのか	森田・高見
2	割合の差の分析(カイ2乗検定)	森田・高見
3	データとは何か、データの集め方	森田・高見
4	記述統計：度数分布とヒストグラム	森田・高見
5	記述統計：代表値と散布度	森田・高見
6	関係の分析：相関分析	森田・高見
7	復習小テスト(合同実施)、統計学の歴史	森田・高見
8	推測統計：平均の差の分析(t検定)	森田・高見
9	事象の起こりやすさの分析(オッズ比)	森田・高見
10	パラメトリック分析とノンパラメトリック分析	森田・高見
11	復習小テスト(合同実施)	森田・高見
12	統計手法の応用(1)割合の差の分析・オッズ比	森田・高見
13	統計手法の応用(2)関係の分析	森田・高見
14	統計手法の応用(3)平均の差の分析	森田・高見
15	統計手法の応用(4)ノンパラメトリック分析	森田・高見

授業方法

講義、演習

時間外学習

予習：オンデマンド配信の動画やプリントを用いて予習を行う。(40分)
 復習：講義中の課題のわからないところを理解し、操作できるようにすること。(30分)
 その他：情報処理教室を空き時間時に活用し、効果的な予習復習を実施すること。(適宜)

教科書

「ナースのための統計学」,第2版,高木廣文著,医学書院
 ,N07/Ta29/2nd,9784260007726

参考図書

授業中に適宜紹介

評価方法

成績評価は、受講態度(参加・貢献度)[20%]、課題の提出[55%]、復習小テスト[25%]を合計して算出されます。

フィードバック

講義配布プリント内に予習レポートの模範解答を示す、または講義の中に説明を行う。

その他

データを保存するためのUSBメモリ（空き容量は1GB程度あれば充分）を持参すること。
情報処理の実務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

保健統計	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 森田 一三			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護・保健の領域で必要な統計の考え方の基礎を学び、保健統計の動向を理解することを目的とする。具体的には、国民衛生の動向について、各種の調査とその結果、人口静態と人口動態の推移と現状、生命表、健康状態と受療状態、保健医療における情報管理などについて、考え方の枠組みと最新の知識を習得する。

【到達目標】

1. 保健統計学の基礎を理解できる。
2. 人口統計の基礎を理解できる。
3. 保健統計の読解ができる。
4. 保健医療分野の情報の管理活用を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	講義ガイダンス、保健統計とは	森田 一三
2	保健統計の求め方、理解の仕方	森田 一三
3	人口静態 全国人口の動向	森田 一三
4	人口静態 都道府県別人口・世界の人口	森田 一三
5	人口動態 出生（出生の動向・都道府県別の出生）	森田 一三
6	人口動態 出生（出生順位と母親の年齢～出生の国際比較）	森田 一三
7	人口動態 死亡（死亡の動向・死因の概要）	森田 一三
8	人口動態 死亡（死亡の動向・死因の概要）	森田 一三
9	人口動態 死亡（都道府県別の死亡・職業別の死亡・死亡の国際比較）	森田 一三
10	人口動態 妊産婦死亡・死産・周産期死亡・乳児死亡	森田 一三
11	人口動態 婚姻・離婚	森田 一三
12	生命表	森田 一三
13	国民生活基礎調査 健康状態・患者調査 受療状態	森田 一三
14	保健と医療の動向 生活習慣病と健康増進対策	森田 一三
15	まとめ	森田 一三

授業方法

講義

時間外学習

予習：講義内容に関連する新聞記事やニュースについて情報を得ておく。(30分)
 復習：授業内容で理解できなかった部分について国民衛生の動向などで確認する。(30分)
 その他：新聞やニュースで、興味を持って健康関連の情報を知って調べる。(適宜)

教科書

「疫学・保健統計学」（標準保健師講座，別巻2），第3版，牧本清子著者代表，医学書院
 N40/H99/S2，9784260019989
 「国民衛生の動向 2020/2021」（雑誌「厚生指標」増刊），厚生労働統計協会編集
 ，厚生労働統計協会，雑誌・製本雑誌架

参考図書

授業中に適宜指示する。

評価方法

成績評価は、試験〔60%〕、課題の提出〔30%〕、受講態度（参加・貢献度）〔10%〕を合計して算出されます。

フィードバック

講義中にプリントを配布しながら行う。

その他

地域保健の実務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

薬理学	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 池田 義明			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

薬物の働きを体系的に学習し、主要疾患の薬物療法の概要と使用する薬剤の作用・副作用等を理解する。

【到達目標】

1. 主要疾患の薬物療法の概要を説明することができる。
2. 使用する薬剤の作用・副作用等を説明することができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	第1章：総論 薬理学の概念	池田 義明
2	第1章：総論 小児・妊婦・高齢者の薬物治療、医薬品の管理	池田 義明
3	第2章：末梢神経作用薬 自律神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬	池田 義明
4	第3章：中枢神経作用薬 麻酔、疼痛	池田 義明
5	第3章：中枢神経作用薬 不眠、神経症、気分障害、統合失調症	池田 義明
6	第3章：中枢神経作用薬 てんかん、パーキンソン病、認知症	池田 義明
7	第4章：心臓血管作用薬 抗高血圧薬、心不全	池田 義明
8	第4章：心臓血管作用薬 狭心症、不整脈、脂質異常症	池田 義明
9	第4章：心臓血管作用薬 輸液・腎臓作用薬、血液・造血器系作用薬	池田 義明
10	第5章：抗炎症薬	池田 義明
11	第6章：呼吸器系作用薬	池田 義明
12	第7章：消化器系作用薬	池田 義明
13	第8章：ホルモン系・生殖器系作用薬	池田 義明
14	第9章：抗感染症薬	池田 義明
15	第10章：抗悪性腫瘍薬 第11章：漢方薬	池田 義明

授業方法

第1回～第15回：講義

時間外学習

予習：教科書の該当箇所を読み、概要を理解する。(15分)

復習：わからないことはそのままにせず、調べたり聞いたりして理解を深める。(45分)

その他：教科書の各章の実践問題演習を解き、理解を深める。(適宜)

教科書

「わかりやすい薬理学」,第4版,安原一、小口勝司編,ヌーヴェルヒロカワ,491.5/Y64/4th,9784861740770
また、適宜、資料を配布する。

参考図書

「神経系の疾患と薬；循環器系の疾患と薬；腎・泌尿器系の疾患と薬」(薬がみえる Vol.1),医療情報科学研究所編,Medic Media,492/Ku93/1,9784896325492
「代謝系の疾患と薬；内分泌系の疾患と薬；産婦人科系の疾患と薬；血液系の疾患と薬；免疫・炎症・アレルギー疾患と薬；眼・耳・皮膚の疾患と薬」(薬がみえる Vol.2),医療情報科学研究所編,Medic Media,492/Ku93/2,9784896325850
「消化器系の疾患と薬；呼吸器系の疾患と薬；感染症と薬；悪性腫瘍と薬」(薬がみえる Vol.3),医療情報科学研究所編,Medic Media,492/Ku93/3,9784896326406

評価方法

試験(100%)。ただし、授業中の私語は減点する。

フィードバック

授業前後における疑問や質問は次回講義までにハンドアウトを作成してフィードバック

その他

講義開始時間に遅れないこと。
薬剤師としての勤務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

微生物学	1年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 清水 宣明			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護における微生物学の学習は微生物がどのような生物であるかを理解して、感染を防止するために必要とする知識を身につけることである。

【到達目標】

微生物学を学習して、得られた知識を看護の基礎となる滅菌、消毒、無菌操作等に応用できるようになる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	看護における微生物学を学習する意義	清水 宣明
2	微生物の種類と増殖	清水 宣明
3	常在微生物	清水 宣明
4	微生物の病原性と感染・発症	清水 宣明
5	感染防御免疫	清水 宣明
6	微生物学的診断法	清水 宣明
7	化学療法薬（抗菌薬）と微生物	清水 宣明
8	血清療法と微生物	清水 宣明

授業方法

講義

時間外学習

予 習：教科書の該当部分を事前に読み、概要を理解する。（30分）

復 習：授業で理解できなかった部分は調べて理解する。（30分）

その他：講義内容に関連したニュース等に関心を持ち、情報収集に努める。（適宜）

教科書

「微生物学」（系統看護学講座，専門基礎分野・疾病のなりたちと回復の促進4），第13版，南嶋洋一他著，医学書院，N08/Ke28/4，9784260031837

参考図書

「戸田新細菌学」，改訂34版，吉田眞一他編，南山堂，491.7/Y86/34th，9784525161149

評価方法

受講態度（10%）・筆記試験（90%）で評価する。

フィードバック

講義内容の項目ごとに理解の程度を点検し、理解が十分でない時はさらに解説する。

その他

なし

感染制御論	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 下間 正隆			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

細菌やウイルスなどによる感染から病院内の患者と医療従事者を守るためには、「微生物」と「感染対策に対する人の行動」の二つを相手にしなければならない。看護学生として知っておくべき感染症治療および感染制御に関する知識と、感染予防の取り組みについて学習する。

【到達目標】

1. 感染対策の基本を説明できる。
2. 3つの感染経路とその対策を説明できる。
3. 耐性菌とその問題点について、説明できる。
4. アウトブレイクの予防対策を説明できる。
5. 職業感染予防対策と管理について説明できる。
6. 感染症患者の看護について説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	院内感染（医療関連感染）と市中感染、院内感染とチーム医療	下間 正隆
2	院内感染を引き起こす主な病原微生物と微生物学的検査	下間 正隆
3	主な抗菌薬の種類と作用・副作用、予防接種（ワクチン）	下間 正隆
4	滅菌と洗浄、職務感染	下間 正隆
5	標準予防策（手指衛生ほか）、感染経路別予防策	下間 正隆
6	医療器具関連感染と手術部位感染、サーベイランス	下間 正隆
7	アウトブレイクの予防と対策	下間 正隆
8	感染症患者のアセスメント、菌血症・敗血症患者の看護、医療器具関連感染患者の看護	下間 正隆

授業方法

第1回～第8回：講義

時間外学習

予習：教科書の予定ページを読み、概要を理解する。（30分）

復習：授業内容で不明な部分は質問するか、参考書を参照し、疑問点を放置しない。（30分）

その他：関連したニュースに関心を持ち、考え判断する習慣をもつ。

教科書

なし

参考図書

「イラストみんなの感染対策」, 下間正隆 [ほか] 著, 照林社
 , 498.6/Sh54, 9784796523721
 適宜資料を提供する。

評価方法

試験（100%）

フィードバック

授業内の質問について、各授業においてフィードバックする。

その他

医師としての経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

病理学	1年 後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 黒川 景			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

代表的な疾患の病名を習得した上で、病気を俯瞰（ふかん：高いところから全体を見渡すこと）して捉える病理学総論の体系に基づき、多様な疾患を分類する考え方を学習する。病気のメカニズムの理解は、人体の正常な構造や機能の理解の上に成り立つ。代表的な疾患の病態を、正常との対比に重点を置き、分子から器官・器官系、個体レベルに至る幅広いスケールで捉える。病理学総論的な病気の捉え方が、症状、症候や様々な臨床情報に基づいてなされる診断の基本となり、治療につながることを理解する。

【到達目標】

1. 主な疾患の病名や、病態に関する基本的な用語を習得し、疾患の病態を人体の正常の構造や機能と対比させて説明できる。
2. 病理学総論の考え方に基づく疾患の分類を理解し、各カテゴリーに属する疾患を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	病理学と病理診断	黒川 景
2	細胞傷害	黒川 景
3	先天異常	黒川 景
4	循環障害	黒川 景
5	炎症	黒川 景
6	免疫異常とアレルギー	黒川 景
7	感染症	黒川 景
8	腫瘍	黒川 景

授業方法

講義

時間外学習

予習：各回に対応する教科書の内容を読み、概要を理解する。（30分）
復習：講義内容をもとに教科書の該当ページを再び読み、内容をまとめる。（30分）
その他：高等学校の理科の内容は、修得しているものとして講義を進める。知識の不足があれば、各自で補う必要がある。
形態機能学等で学んだ知識は、病気を理解するための基礎となるため、随時再確認すること。
限られた授業時間のため、主に教科書の「総論」に記載された内容を扱うが、重要な疾患については、一部「各論」に記載されている内容についても扱う。講義中の指示に従って学習すること。

教科書

「病理学：クイックマスター」、新訂版第2版、堤寛著、サイオ出版
, 491.6/Ts94/2nd, 9784907176679

参考図書

「解剖生理学」（系統看護学講座，専門基礎分野・人体の構造と機能1），第10版，坂井建雄他著，医学書院，N08/Ke28/1，9784260031714
「トートラ人体解剖生理学」，原書第11版，佐伯由香他編訳，丸善出版
, 491.1/To69/11th，9784621305393

評価方法

受講態度（参加・貢献度）30点、試験70点

フィードバック

オンラインの質問コーナーを設ける。重要な質問については、講義の中で説明する。講義中を含め、講義室での質問も歓迎する。

その他

病理専門医としての資格と経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

臨床検査概論	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 下間 正隆・山田 雅之・福間 長知			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

医学診断や治療方針を決定していく際に必要な臨床検査の概要を理解し、看護ケアにおける臨床推論に活用するための基礎的知識を得る。

【到達目標】

1. 臨床検査と臨床推論の関係を理解する。
2. 検体検査の概要を理解し、代表的な検査法について理解する。
3. 生理機能検査の概要を理解し、代表的な検査法について理解する。
4. 画像診断検査の概要を理解し、代表的な検査法について理解する。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	検体検査の概要と臨床推論 検体検査1：一般血液検査、凝固・線溶系検査、血液生化学検査	下間 正隆
2	検体検査2：骨髄検査、尿検査、喀痰検査、胸水・腹水検査、髄液検査	下間 正隆
3	生理機能検査の概要と臨床推論 生理機能検査1：標準12誘導心電図検査、運動負荷心電図検査、ホルター心電図検査、血管機能検査	福間 長知
4	生理機能検査2：呼吸機能検査、血液ガス検査、脳波検査	福間 長知
5	画像診断検査の概要と画像からの臨床推論 画像診断検査1：単純X線撮影と透視検査	山田 雅之
6	画像診断検査2：造影剤を用いた特殊X線画像検査	山田 雅之
7	画像診断検査3：断層画像検査（CT検査、MRI検査、超音波検査ほか）	山田 雅之
8	内視鏡検査の概要と臨床推論 内視鏡検査：上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査、内視鏡的逆行性胆管膵管造影、気管支鏡検査	下間 正隆

授業方法

講義

時間外学習

予習：各回に対応する教科書を読み、概要を理解する。（30分）

復習：教科書、ノート、配布資料等を再度確認し、理解を深める。（30分）

その他：代表的な検査を中心に講義する。講義の対象としない検査については、各自が教科書を読み、授業中に質問していただきたい。

教科書

臨床検査 第8版，荒木 昭博他，医学書院，978-4-260-03573-6
福間教授担当の講義にて使用

参考図書

病態・治療論【1】病態・治療総論，南江堂，9784524237418
授業中に適宜紹介する。

評価方法

定期試験（100％）にて評価する。

フィードバック

授業中にフィードバックするので、疑問点を質問していただきたい。また、授業各回にレスポンスカードを配布する。そこに記された質問については、次回の授業でフィードバックする。

その他

授業に取り上げる代表的な検査については、臨床場面で出会う頻度の高い検査を選定した。免疫学、病理学、微生物学等、他の授業に含まれる検査については、各論の授業に任せることとした。また、画像診断検査については、画像から病態を理解できるように努力していただきたい。

リハビリテーション論	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 横田 元実・金田 嘉清・鈴木 めぐみ・谷川 広樹・小山 総市朗			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

リハビリテーションについて理解を深める。リハビリテーションにおける看護師の役割について学ぶ。

【到達目標】

1. リハビリテーション・チームについて理解できる。
2. 補助具について理解できる。
3. 各疾患のリハビリテーションについて理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	リハビリテーション総論	金田 嘉清
2	運動器疾患のリハビリテーション	谷川 広樹
3	疾患と障害の関係/リハビリテーション・チーム/ADLとQOL	鈴木 めぐみ
4	補助具1: 車いすと支援機器	小山 総市朗
5	補助具2: 杖	鈴木 めぐみ
6	補助具3: 自助具など	鈴木 めぐみ
7	脊髄損傷のリハビリテーション	小山 総市朗
8	補助具4: 装具と義肢	横田 元実
9	四肢切断のリハビリテーション	横田 元実
10	脳血管障害のリハビリテーション	鈴木 めぐみ
11	呼吸器・循環器疾患のリハビリテーション	小山 総市朗
12	神経筋疾患のリハビリテーション	谷川 広樹
13	予防のためのリハビリテーション	谷川 広樹
14	小児のリハビリテーション	横田 元実
15	高次脳機能障害のリハビリテーション	鈴木 めぐみ

授業方法

講義

時間外学習

予習: 予習部分を提示するので、学習する。(20分)
 復習: 配布資料を見直し、教科書の該当頁を読み、理解を深める。(40分)
 その他: 日頃からリハビリテーションに関心を持つ。(適宜)

教科書

「リハビリテーション総論: PT・OT・ST・ナースを目指す人のための: 要点整理と用語解説」, 改訂第3版, 椿原彰夫編著, 診断と治療社, 494.78/Ts14/3rd, 9784787823458

参考図書

該当図書があれば随時紹介する。

評価方法

定期試験〔100%〕にて評価する。

フィードバック

適宜、実施する小テスト実施後に模範解答、解説を行う。

その他

理学療法士、作業療法士としての勤務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

臨床心理学	1年 後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 目黒 達哉			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

人間の心の働きを理解し、さまざまな心の問題を持つ人に心理的な援助を行うために必要な臨床心理学の理論と援助方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 臨床心理学の基本的な理論と援助方法について説明できる。
2. ストレスとメンタルヘルスの実際について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	オリエンテーション：講義の進め方、注意事項について 臨床心理学とは：定義	目黒 達哉
2	心理職の役割、現代社会とストレス	目黒 達哉
3	臨床心理学の基礎知識（1）：精神分析	目黒 達哉
4	臨床心理学の基礎知識（2）：精神障害	目黒 達哉
5	臨床心理査定法：心理テスト	目黒 達哉
6	臨床心理面接法：心理療法、カウンセリング	目黒 達哉
7	ストレス社会への接近、健康心理学	目黒 達哉
8	メンタルヘルスの実際 - 看護現場の今 -	目黒 達哉

授業方法

- ・第1回～第8回：講義

時間外学習

予習：各回の講義内容のテキスト該当箇所を読み、概要を理解し、理解できない部分を把握する。（30分）

復習：講義内容に関して、テキストと講義プリントを見直し、理解を深める。（30分）

その他：講義内容に関連した文献、新聞記事等に関心を持ち、理解を深める。（適宜）

教科書

「ストレス社会とメンタルヘルス」, 片山和男編著, 樹村房, 498.39/Ka84, 9784883672721

参考図書

講義中に適宜紹介する。

評価方法

試験（80%）、課題の提出（10%）、受講態度（10%）を合計して算出する。遠隔授業の場合は、レポート試験により評価する。

フィードバック

課題実施後に課題の解説を行う。

その他

- ・講義中に小レポートを課すことがあるので必ず提出すること。
- ・講義プリントを用意するのでノートは特に必要ない。

看護学概論	1年 前期	2単位 (30時間)	必修
担当: 山田 聡子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護学の基盤となる主要な概念や理論を学び、健康観や人間観そして倫理観を培い「看護とは何か」を探求する。さらに、看護の歴史的変遷や制度に基づき看護の機能と役割を考える。

【到達目標】

1. 看護に関する主要概念と理論が理解できる。
2. 看護実践の方法を知ることができる。
3. 看護の歴史的変遷を知ることができる。
4. 看護に関する日本の法律・制度について理解できる。
5. 看護の機能と役割を考察できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス、看護の主要概念（看護・健康など）	山田 聡子
2	看護の歴史的変遷 看護の起源～近代看護の確立	山田 聡子
3	看護の歴史的変遷 日本における看護の歴史	山田 聡子
4	看護の対象の理解 国民の健康状態	山田 聡子
5	看護の対象の理解 人間理解	山田 聡子
6	看護論 グループワーク（発表準備）	山田 聡子
7	看護論 グループ発表	山田 聡子
8	看護論 グループ発表	山田 聡子
9	看護論 グループ発表、まとめ	山田 聡子
10	看護実践の方法 看護技術	山田 聡子
11	看護実践の方法 看護過程	山田 聡子
12	看護実践の方法 看護提供の場とチーム医療 看護に関する法と制度 保険・医療制度の概要	山田 聡子
13	看護に関する法と制度 保健師助産師看護師法 （オンデマンド）	山田 聡子
14	看護における倫理	山田 聡子
15	看護の機能と役割	山田 聡子

授業方法

第1回～5回・10回～12回・14～15回：講義・討議
第6回グループワーク、第7回～9回：発表・討議
第13回遠隔授業（オンデマンド配信）

時間外学習

予習：各単元内容について教科書等で予習して講義に臨むこと。（15分）
復習：講義後速やかに復習し、要点の確認と不明点の理解に努めること。（45分）
その他：グループワークに積極的に取り組む。また、医療・看護に関するニュースに日常的に関心を寄せること。（適宜）

教科書

「看護学概論」（系統看護学講座、専門分野・基礎看護学1）、第17版、茂野香おる著者代表、医学書院、N08/Ke28/1、9784260038621
「看護覚え書き：本当の看護とそうでない看護」、フロレンス・ナイチンゲール著、小玉香津子他訳、日本看護協会出版会、N02.8/N71、9784818022140
「看護の基本となるもの」、ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯槇ます他訳、日本看護協会出版会、N01/H52、9784818020702

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

筆記試験（50％）、課題1（15％）、課題2（15％）、ミニテスト（20％）を合計して算出する。

課題1および課題2は、第1回講義時に提示する。

ミニテストは毎回の講義後にFormsにて実施する。

第13回オンデマンド授業の出欠確認は、授業後のミニテストへの回答で行う。

フィードバック

- 1．ミニテスト結果に基づく補足説明を行う。
- 2．提出された課題にコメントを記入し学生に返却する。
- 3．遠隔授業等に関する相談や質問はs-yamada@rctoyota.ac.jpに連絡すること。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

コミュニケーション論	1年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 中島 佳緒里			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

対人関係のプロセスを理解するとともに、自分自身について考える機会を持ち、自己理解を深めることにより、他者理解について学ぶ。さらに、看護援助に必要な対人コミュニケーションスキルの基礎を習得し、専門職者として看護チーム活動を効果的に実践することができる能力を養う。

【到達目標】

1. 看護に必要なコミュニケーションについて理解できる。
2. 日常場面における自分自身のもつコミュニケーションの傾向が理解できる。
3. 小集団におけるコミュニケーションについて理解できる。
4. 小集団活動場面において、対人コミュニケーションスキルを活用できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス 看護に必要なコミュニケーションとは 対人コミュニケーションの構成要素	中島 佳緒里
2	自己と他者	中島 佳緒里
3	パーソナルスペース	中島 佳緒里
4	感情の活用と解釈 アサーション(3つの自己表現)	中島 佳緒里
5	小集団コミュニケーション1; 成り立ち・発展	中島 佳緒里
6	小集団コミュニケーション2; 意思決定	中島 佳緒里
7	小集団コミュニケーション3; 集団の構造と相互作用	中島 佳緒里
8	まとめ(対人コミュニケーションの実践と振り返り)	中島 佳緒里

授業方法

講義：第2回・第3回・第5回、第7回
遠隔授業(オンデマンド)：第1回・第4回・第8回
演習：第6回

時間外学習

予習：関連項目について適宜指示する。(20分)
復習：演習後は、演習の振り返りをレポートし、指定された日時に提出する。(30分)

教科書

「基礎看護技術」(新体系看護学全書,基礎看護学2),第5版,深井喜代子編,メヂカルフレンド社,N08/h57/2,9784839233211
基礎看護技術 で購入済

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

成績評価は、演習課題〔40%〕、レポート〔60%〕を合計して算出する。

フィードバック

出席カードに記載された質問に対する返答をする。演習課題については、その傾向や結果の解釈を授業時間内に行う。オンデマンドの授業では、Formsを用いて質問を受け付ける。

その他

毎回、ミニ演習を組んでいるために欠席をしない。特に小集団コミュニケーションにおいては、欠席すると演習ができないために、チームメンバーに迷惑がかかることを心する。看護師として実務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

看護過程	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 山田 聡子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

「看護過程」は看護の対象を的確に把握し、科学的根拠に基づく効果的な看護活動を行うための思考過程であり実践過程である。「看護過程」の修得は看護活動および看護学の基盤として必要不可欠である。本科目では、看護過程および看護過程の中核となる看護診断に関する概念および基礎知識を学ぶ。さらに、論理的・批判的思考力の基礎を身につける。

【到達目標】

1. 看護過程の意味・意義を理解できる。
2. 問題解決の基盤となる論理的思考や批判的思考の重要性を理解できる。
3. ゴードンの機能的健康パターンを理解できる。
4. 看護診断の概念と方法を理解できる。
5. 看護目標の設定と、看護計画の立案・実施・評価の方法を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス 看護過程とは 看護過程の基盤となる考え方 ゴードンの機能的健康パターン	山田 聡子
2	アセスメント ゴードンの機能的健康パターン（健康知覚-健康管理、栄養-代謝、排泄、活動-運動、睡眠-休息、認知-知覚）	山田 聡子
3	アセスメント ゴードンの機能的健康パターン（自己知覚-自己概念、役割-関係、セクシュアリティ-生殖、コーピング-ストレス耐性、価値-信念）	山田 聡子
4	看護診断 アセスメントから看護診断確定までの考え方	山田 聡子
5	看護診断 看護診断の確定	山田 聡子
6	看護計画の立案	山田 聡子
7	看護計画の実施・評価 事例を用いた看護過程の実際	山田 聡子
8	事例を用いた看護過程の実際 まとめ	山田 聡子

授業方法

講義・討議

毎回、討議を主として授業を展開する。討議に向けた十分な予習が必要である。

時間外学習

予習：予習（課題学習含む）をして講義に臨むこと。（90分）
復習：講義後速やかに復習し、要点の確認と不明点の理解に努めること。（90分）
その他：講義にて事例課題を提示する。課題への取り組みを自律して進めること。

教科書

看護がみえるvol.4 看護過程の展開，永田明、石川ふみよ 監修，メディックメディア
9784896328011
「NANDA-I看護診断：定義と分類 2021-2023」，第12版，T.ヘザー・ハードマン・上鶴重
美 原書編集，医学書院，N74.1/N48/'18-'20，9784260034432

参考図書

「関連図の書き方をマスターしよう」, 蔵谷範子編著, サイオ出版, N74.1/Ku56, 9784907176488
「病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図」, 第3版, 井上智子編, 窪田哲朗編, 医学書院, N74.1/I57/3rd, 9784260028356
「看護過程に沿った対症看護：病態生理と看護のポイント」, 第5版, 市村久美子他執筆, 学研メディカル秀潤社, N74.1/Ta29/5th, 9784780911954
「アセスメント覚え書：ゴードン機能的健康パターンと看護診断」, マージョリー・ゴードン著, 上鶴重美訳, 医学書院, N74.1/G67, 9784260008754

評価方法

事例課題の内容および提出状況（60%）、毎授業後のミニテスト（40%）を合計して算出する。

事例課題の最終提出期限を超過した場合は、やむを得ない場合を除き単位を認定しない。

事例課題は、第1回講義時に提示する。

ミニテストはFormsで行う。

フィードバック

1. ミニテスト結果に基づく補足説明を行う。
2. 事例課題にコメントを記入し、成績評価確定後に返却する。

その他

本科目の単位修得は「基礎看護学実習」の受講要件となる。

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

看護過程	2年 後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 中島 佳緒里・山田 聡子・竹内 貴子・巻野 雄介			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護過程 の学びと既習の知識を活用しながら、紙上事例の看護過程が展開できる。

【到達目標】

1. 紙上事例に適したアセスメントが行える。
ゴードンの11の機能的健康パターンに沿って必要な情報を整理できる。
アセスメントの視点に沿って分析できる。
2. 紙上事例に適した看護診断が確定できる。
紙上事例の全体像(身体面・心理面・社会面)を関連図として表現できる。
関連図に基づき看護診断(仮説)を導ける。
看護診断(仮説)を論理的に考察し、看護診断を確定できる。
3. 紙上事例に適した看護目標が設定できる。
診断指標、関連・危険因子と関連した看護目標を設定できる。
実現可能で個別性のある看護目標を設定できる。
4. 紙上事例に適した看護計画が立案できる。
看護目標達成に適した看護計画を立案できる。
診断指標、関連・危険因子と関連した看護計画を立案できる。
具体的で個別性のある看護計画を立案できる。
5. 看護記録の方法について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス 紙上事例の紹介と学習課題の確認	中島佳緒里
2	情報収集・分析 : ゴードンの機能的健康パターン(健康知覚-健康管理、栄養-代謝、排泄、活動-運動、睡眠-休息、認知-知覚)	中島・山田・竹内・巻野
3	情報収集・分析 : ゴードンの機能的健康パターン (自己知覚-自己概念、役割-関係、セクシュアリティ-生殖、コーピング-ストレス耐性、価値-信念)	中島・山田・竹内・巻野
4	看護診断	中島・山田・竹内・巻野
5	看護診断	中島・山田・竹内・巻野
6	看護目標の設定と看護計画の立案	中島・山田・竹内・巻野
7	看護目標と看護計画の立案	中島・山田・竹内・巻野
8	看護記録の方法	中島佳緒里

授業方法

毎回、討議を主として授業を展開する。

時間外学習

予習: 必要な基礎的知識は事前学習をして臨む。次回討議する内容を踏まえ予習(事例課題の看護過程の展開)をして講義に臨む。

復習: 講義後速やかに復習し、要点の確認と不明点の理解に努める。事例課題を見直し、加筆・修正をする。

その他:

教科書

「看護過程の展開」(看護がみえるVol.4), 医療情報科学研究所編, メディックメディア, N74.1/I67, 9784896328011

「NANDA-I看護診断: 定義と分類 2018-2020」, 原著第11版, T.ヘザー・ハードマン編, 上鶴重美原書編・訳, 医学書院, N74.1/N48/'18-'20, 9784260034432

看護過程 で購入済

参考図書

適宜、紹介する。

評価方法

事例課題の内容および提出状況（80%）、討議の参加態度（20%）から評価する。
事例課題の最終提出期限を超過した場合は、やむを得ない場合を除き単位を認定しない。

フィードバック

- ・ Formsによる理解度の確認を行い、次回の講義時に補足説明をする。
- ・ 事例課題にコメントを記入し、成績評価確定後に返却する。

その他

担当教員は、臨床での勤務経験があり、専門知識をこの授業科目で教授する。

ヘルスアセスメント基礎	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 巻野 雄介・山田 聡子・中島 佳緒里・竹内 貴子・加藤 広美・近藤 絵美・池田 亮			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

対象の身体的な健康状態を判断するための知識と基本的な技術について習得する。

【到達目標】

1. 問診・視診・触診・打診・聴診技術について理解できる。
2. 基本的な診査技術を習得できる。
3. 診査によって得られた情報について専門用語を使用して表現できる。
4. 診査によって得られた情報の正常・異常の判断ができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス ヘルスアセスメントとは アセスメントの基本技術：問診、視診、触診、打診、聴診	巻野雄介
2	バイタルサインと意識のアセスメント	巻野雄介
3	呼吸・循環機能の障害が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
4	呼吸・循環機能の障害が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
5	呼吸・循環機能の障害が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
6	演習：診査の実施	巻野、山田、中島、竹内、加藤、近藤、池田
7	体液量・栄養の不足が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
8	体液量・栄養の不足が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
9	排泄機能の障害が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
10	演習：診査の実施	巻野、山田、中島、竹内、加藤、近藤、池田
11	中枢神経系の障害が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
12	知覚・認知機能の障害が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
13	運動機能の障害が疑われる患者のアセスメント	巻野雄介
14	演習：診査の実施	巻野、山田、中島、竹内、加藤、近藤、池田
15	まとめ	巻野雄介

授業方法

講義と演習

講義：第1～5回、第7～9回、第11～13回、第15回

演習：第6回、第10回、第14回

時間外学習

予習：予習（事前課題を含む）をして講義に臨む（15分）。

復習：講義、演習後の課題（小テストを含む）に取り組む（30分）。

その他：学習到達度表をもとに自己評価を行い、目標達成できるように学習する。

教科書

「基礎看護技術」（新体系看護学全書、基礎看護学2）第5版、深井喜代子編、メヂカルフレンド社、N08/Sh57/2、基礎看護技術 で購入済、9784839233211

「フィジカルアセスメント」（看護がみえるVol.3）、医療情報科学研究所編、メディックメディア、N10.12/I67/3、9784896327816

参考図書

随時示す

評価方法

筆記試験〔50%〕、小テスト〔20%〕、課題と受講態度〔30%〕を合計して算出する。

フィードバック

1. 課題については、記入例などを掲示する。
2. 提出された課題にコメントを記入し返却する。

その他

形態機能学および看護過程 と関連する科目であり、事前学習および自己学習が重要かつ不可欠である。
担当教員は、臨床での勤務経験があり、専門知識をこの授業科目で教授する。

基礎看護技術	1年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 中島 佳緒里・竹内 貴子・巻野 雄介・加藤 広美・近藤 絵美・池田 亮・山田 聡子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護技術は、看護を実践していく上でなくてはならないものであり、対象の安全性・安楽性・自立性および倫理面を考慮し、動作経済性を追求した行為が求められる。本科目は人々の健康を促進するために必要な看護技術について、すべての技術に共通する基本技術と日常生活に関する援助技術について学ぶ。

【到達目標】

1. 共通基本技術としての感染予防、ボディメカニクス、観察の必要性を理解できる。
2. 共通基本技術としての感染予防、ボディメカニクス、観察の基本的な方法を習得できる。
3. 日常生活（活動・食事・排泄）に関わる看護技術の原理・原則と基本的な方法を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス：看護技術とは何か、看護技術に共通する要素	中島 佳緒里
2	共通基本技術 1：感染予防	竹内 貴子
3	共通基本技術 2：ボディメカニクス	中島 佳緒里
4	共通基本技術 3：観察	中島 佳緒里
5	共通基本技術 3：観察	中島 佳緒里
6	演習：体温・呼吸・脈拍・血圧の測定	中島・竹内・巻野・加藤・近藤・池田・山田
7	日常生活に関する援助技術	中島 佳緒里
8	病床環境を整える援助技術	竹内 貴子
9	演習：病床環境の調整、シーツ交換	竹内・中島・巻野・加藤・近藤・池田
10	活動に関する援助技術 1：活動の意義、安静の弊害、体位変換の原理・原則と方法	中島 佳緒里
11	活動に関する援助技術 2：移動・移乗の原理・原則と方法	中島 佳緒里
12	演習：体位変換・ポジショニング、車いす移乗・移送	中島・竹内・巻野・加藤・近藤・池田
13	食事に関する援助技術：食べることの意義、食事の援助	竹内 貴子
14	排泄に関する援助技術：排泄の意義、排泄の援助	巻野 雄介
15	演習：オムツ交換	巻野・中島・竹内・加藤・近藤・池田

授業方法

講義：第1回～5回、第7～8回、第10～11回、第13回～14回

演習：第6回、第9回、第12回、第15回

時間外学習

予習：各講義の前は、配布された出席・予習シートの内容を学習する（15分）。各演習の前は、提示された演習課題を行う（30分）。

復習：演習後に課題を提示する（30分）。

その他：学習目標到達度表をもとに自己評価を行い、目標達成できるように学習する。

教科書

「基礎看護技術」(新体系看護学全書,基礎看護学2),第5版,深井喜代子編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/2,9784839233211
「基礎看護技術」(新体系看護学全書,基礎看護学3),第4版,深井喜代子編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/3,9784839233228
「基礎看護技術」(看護がみえるVol.1),医療情報科学研究所編,メディックメディア,N10.1/I67/1,9784896327335
「臨床看護技術」(看護がみえるVol.2),医療情報科学研究所編,メディックメディア,N10.12/I67/2,9784896327342

参考図書

適宜示す。

評価方法

筆記試験〔80%〕、提出課題と受講態度〔20%〕を合計して算出する。

フィードバック

出席カード等に記載された質問に対しては、全体・個別に返答をする。演習課題については、記入例などを掲示し、記載した内容を確認して返却する。

その他

予習・復習および自己学習が、重要かつ不可欠である。担当教員は、臨床での勤務経験があり、専門知識を本科目で教授する。

基礎看護技術	1年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 中島 佳緒里・竹内 貴子・巻野 雄介・加藤 広美・近藤 絵美・池田 亮・山田 聡子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

本科目では、基礎看護技術 に引き続き、人々の健康を促進するための看護技術について、日常生活（清潔・整容、睡眠・休息）に関する援助技術を学ぶ。また、設定された条件下において対象の状態に応じた援助技術の方法を創意工夫する。

【到達目標】

1. 日常生活（清潔・整容、睡眠・休息）に関する看護技術の原理・原則と基本的な方法を理解できる。
2. 対象に応じて安全性・安楽性・自立性・倫理面を考慮し、動作経済性を追求した具体的な方法を計画し実践できる。
3. 自らの技術を振り返ることができる。
4. グループメンバーで協力し、より良い方法を探求できる

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス： 清潔に関する援助技術 1： 清潔の意義、援助の種類、アセスメント 入浴・シャワー浴介助の原理・原則と方法	中島 佳緒里 巻野 雄介
2	清潔に関する援助技術 2：洗髪の原理・原則と方法	竹内 貴子
3	演習：洗髪	竹内・中島・巻野・加藤・近藤・池田
4	演習：洗髪	竹内・中島・巻野・加藤・近藤・池田
5	清潔に関する援助技術 3：全身清拭の原理・原則と方法	加藤 広美
6	演習：全身清拭・寝衣交換	加藤・中島・竹内・巻野・近藤・池田・山田
7	演習：全身清拭・寝衣交換	加藤・中島・竹内・巻野・近藤・池田・山田
8	清潔に関する援助技術 4：陰部洗浄の原理・原則と方法	巻野 雄介
9	演習：陰部洗浄	巻野・中島・竹内・加藤・近藤・池田
10	清潔に関する援助技術 5：部分浴（手浴・足浴）の原理・原則と方法 演習：足浴	巻野・中島・竹内・加藤・近藤・池田
11	睡眠・休息に関する援助技術：安楽（気持ちよさ）を提供する援助（電法・リラクゼーション）	中島 佳緒里
12	対象に合わせた具体的援助計画の立案・実施・評価・修正	中島佳緒里
13	演習 1：具体的援助計画に沿った援助の実施	中島・竹内・巻野・加藤・近藤・池田
14	演習 2：具体的援助計画に沿った援助の実施	中島・竹内・巻野・加藤・近藤・池田
15	演習 3：振り返り・具体的援助計画の修正	中島・竹内・巻野・加藤・近藤・池田

授業方法

講義：第 1～2 回、第 5 回、第 8 回、第 11 回、12 回

演習：第 3～4 回、第 6～7 回、第 9～10 回、第 13～15 回

時間外学習

予習：各講義の前は、配布された出席・予習シートを課題とする（15分）。各演習の前は、提示された演習課題を行う（30分）。

復習：演習後に課題を提示する（30分）。

その他：学習目標到達度表をもとに自己評価を行い、目標達成できるように学習する。

教科書

「基礎看護技術」（新体系看護学全書,基礎看護学2）,第5版,深井喜代子編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/2,基礎看護技術 で購入済,9784839233211

「基礎看護技術」（新体系看護学全書,基礎看護学3）,第4版,深井喜代子編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/3,基礎看護技術 で購入済,9784839233228

「基礎看護技術」（看護がみえるVol.1）,医療情報科学研究所編,メディックメディア,N10.1/I67/1,基礎看護技術 で購入済,9784896327335

「臨床看護技術」（看護がみえるVol.2）,医療情報科学研究所編,メディックメディア,N10.12/I67/2,基礎看護技術 で購入済,9784896327342

参考図書

適宜示す。

評価方法

筆記試験（60%）、提出課題と受講態度（40%）を合計して算出する。

フィードバック

出席カード等に記載された質問に対しては、全体・個別に返答をする。演習課題については、記入例などを掲示し、記載した内容を確認して返却する。

その他

予習・復習および自己学習が、重要かつ不可欠である。担当教員は、臨床での勤務経験があり、専門知識を本科目で教授する。

基礎看護技術	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 竹内 貴子・中島 佳緒里・巻野 雄介・加藤 広美・近藤 絵美・池田 亮・山田 聡子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護師の役割には診療の補助がある。健康問題をもつ人の治療を支える看護師の役割を認識し、診療に伴う侵襲的な技術を安全に実施することが必要である。そのため、治療・検査に伴う日常生活への影響および苦痛について考え、科学的根拠に基づいた基本的な看護技術を学習する。

【到達目標】

1. 与薬に関する基礎知識を習得し、対象に必要な援助技術を理解できる。
2. 血液検査に関する基礎知識を習得し、対象に必要な援助技術を理解できる。
3. 排泄障害に関する基礎知識を習得し、対象に必要な援助技術を理解できる。
4. 呼吸を整えるための援助技術を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	治療を支える看護師の役割 滅菌物の取り扱い (鑷子・消毒薬・注射器)	竹内貴子
2	演習: 無菌操作	竹内、中島、巻野、加藤、近藤、池田
3	与薬の技術1 与薬とは	竹内貴子
4	与薬の技術2 注射法における危険性とその対策 (皮内・皮下・筋肉内注射)	竹内貴子
5	演習: 筋肉内注射 (注射用パッド使用)	竹内、中島、巻野、加藤、近藤、池田、山田
6	検査に伴う技術 (採血)	竹内貴子
7	演習: 採血 (採血モデル使用)	竹内、中島、巻野、加藤、近藤、池田
8	与薬の技術3 静脈内注射、点滴静脈内注射	巻野雄介
9	演習: 点滴静脈内注射	巻野、中島、竹内、加藤、近藤、池田
10	排泄障害に関する技術1 (導尿)	巻野雄介
11	排泄障害に関する技術2 (浣腸)	巻野雄介
12	演習: 導尿	巻野、中島、竹内、加藤、近藤、池田
13	呼吸を整える技術1	中島佳緒里
14	呼吸を整える技術2	中島佳緒里
15	演習: 口腔鼻腔吸引	中島、竹内、巻野、加藤、近藤、池田

授業方法

講義と演習

講義: 1回、3回、4回、6回、8回、10回、11回、13回、14回

演習: 2回、5回、7回、9回、12回、15回

時間外学習

予習：各講義の前は、配布された出席・予習シートの内容を予習して、出席カードとして提出する。(15分)
各演習の前は、提示された演習課題を行う。(15分)
復習：講義の後には、提示された演習課題が行えるように復習する。(15分)
演習終了後は、提示された演習課題に追加修正して提出する。(15分)
その他：学習目標到達度表をもとに自己評価を行い、目標達成できるように各自で不足している内容について追加で自己練習し、学習する。

教科書

「基礎看護技術」(新体系看護学全書,基礎看護学2),第5版,深井喜代子編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/2,9784839233211
「基礎看護技術」(新体系看護学全書,基礎看護学3),第4版,深井喜代子編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/3,9784839233228
「基礎看護技術」(看護がみえるVol.1),医療情報科学研究所編,メディックメディア,N10.1/I67/1,9784896327335
「臨床看護技術」(看護がみえるVol.2),医療情報科学研究所編,メディックメディア,N10.12/I67/2,9784896327342
基礎看護技術 で購入済み

参考図書

随時示す

評価方法

筆記試験〔80%〕、提出課題と受講態度〔20%〕を合計して算出する。

フィードバック

出席カード等に記載された質問に対しては、全体・個別に返答をする。演習課題については、記入例などを掲示し、記載した内容を確認して返却する。

その他

事前・事後学習および自己学習が、重要かつ不可欠である。
担当教員は、臨床での勤務経験があり、専門知識をこの授業科目で教授する。

基礎看護学実習	1年 後期	1単位 (45時間)	必修
担当: 山田 聡子・中島 佳緒里・竹内 貴子・巻野 雄介・加藤 広美・近藤 絵美・池田 亮			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

病院で療養生活を送る対象の日常生活を支援する看護援助の見学や一部を実施する体験を通し、対象にとってよりよい看護援助について考察する。

【到達目標】

1. 病院における看護部門の概要が理解できる。
2. 病棟における看護活動の概要が理解できる。
3. 入院患者に対する日常生活援助の見学・一部実施を通して看護活動の実際が理解できる。
4. 対象にとってより良い看護援助について考察できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	1. 実習内容 1) 病院の概要、看護師の看護実践の実際について、講義を受ける。 2) 病棟看護師と行動を共にし、日常生活援助を見学・一部実施する。 3) 学生間で意見交換をし、レポートを作成する。 * 実習施設、実習日程、実習グループメンバーについては、後日決定し連絡する。	山田、中島、竹内、巻野、加藤、近藤、池田

授業方法

臨地実習

時間外学習

予習：事前学習や技術練習が必要となる。看護学概論、コミュニケーション論、基礎看護技術、基礎看護技術で学習した知識・技術の復習が必要である。(2時間程度)
 復習：実習後にまとめを行い、学習内容を整理する。(1時間程度)

教科書

「看護学概論」「コミュニケーション論」「基礎看護技術」「基礎看護技術」で使用したテキスト、資料などを使用する。

参考図書

適宜示す。

評価方法

実習内容：実習記録・レポート(70%)、実習に臨む姿勢・態度(30%)を合計して算出する。

フィードバック

実習最終日にグループワークの発表・討議を行い、発表内容をもとにコメントを行う。実習記録を確認後、返却する。

その他

自己の健康管理を十分に行って臨む。
 実習の詳細は、実習前のオリエンテーションで説明する。
 看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

基礎看護学実習	2年 後期	2単位 (90時間)	必修
担当: 山田 聡子・中島 佳緒里・竹内 貴子・巻野 雄介・加藤 広美・近藤 絵美・池田 亮			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

基礎看護学で学んだ内容を活用し、対象を一人の人間（統合された全体）として理解するとともに、看護過程を展開するための基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 指導を受けながら臨地における看護過程を展開する方法を学ぶ。
2. 受け持ち患者・家族と円滑な人間関係を築くことができる。
3. 保健医療福祉チームの一員としての責任ある行動がとれる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	1. 実習施設 名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、刈谷豊田総合病院、名古屋掖済会病院 2. 実習方法 2週間の実習期間に原則2名の学生で1名以上の患者を受け持ち、看護過程を展開する。	山田、中島、竹内、巻野、加藤、近藤、池田

授業方法

臨地実習

時間外学習

予習：看護学概論、基礎看護技術 ～ 、ヘルスアセスメント基礎、看護過程 ・ で学習した知識・技術の復習が必要である（4時間程度）。

復習：実習後にまとめを行い、学習内容を整理する。（1時間程度）

教科書

看護学概論、基礎看護技術 ～ 、ヘルスアセスメント基礎、看護過程 ・ で使用したテキストや資料などを使用する。

参考図書

適宜示す。

評価方法

実習内容：実習記録・レポート（70%）、実習に臨む姿勢・態度（30%）を合計して算出する。

フィードバック

グループカンファレンスにて発表・討議を行い、発表内容をもとにコメントを行う。実習最終日に面談によって実習の振り返りを行う。

その他

自己の健康管理を十分に行って臨む。

実習の詳細は、実習前のオリエンテーションで説明する。

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

看護管理学	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 松浦 正子・南谷 志野			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

最良な看護を効果的・効率的に提供するための「しくみ」や「しかけ」について学ぶ。

【到達目標】

1. 看護管理とは何かについて理解できる。
2. 看護を効果的に行うための「しくみ」や「しかけ」について理解できる。
3. 資源（人、物品、情報、コストなど）管理について理解できる。
4. チーム医療における看護職の役割について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス、看護管理の定義・概念	松浦 正子
2	組織の構造、組織風土・組織文化	松浦 正子
3	看護体制、看護提供方式	南谷 志野
4	資源（人、物品、情報、コストなど）管理	南谷 志野
5	リーダーシップ、フォロワーシップ	南谷 志野
6	看護職能団体、看護行政	松浦 正子
7	チーム医療	松浦 正子
8	チーム医療：演習	松浦 正子 南谷 志野

授業方法

第1～7回：講義・討議

第8回：演習

時間外学習

予習：各回に対応する教科書を読み、概要を理解する（30分）

復習：教科書、ノート、配布資料等を再度確認し、理解を深める（30分）

教科書

看護管理（ナーシング・グラフィカ、看護の統合と実践1）、第4版、吉田千文、志田京子、手島恵、武村雪絵編、メディカ出版、9784840461351

参考図書

授業中に適宜紹介する。

評価方法

筆記試験（70%）、受講態度：参加態度と貢献度（30%）

フィードバック

出席カードに記載された質問に対して、次回の授業で説明を行う。

その他

看護管理者として経験豊かな教員が専門知識を本科目で教授する。

成人急性期病態・治療論	1年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 下間 正隆			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

外科疾患には、心臓血管外科、脳外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、および救急領域など様々な疾患がある。また手術には、腹腔や胸腔などの体腔を切開して切除又は切断する方法、内視鏡下の手術、移植手術などがある。

今期は、下記項目のような外科治療の基本、腹部、胸部、救急領域などについて説明し、これらの知識に基づいて周術期に適切な看護を実践できるように、アクティブ・ラーニング方式も取り入れて教授する予定である。

【到達目標】

外科治療の主な対象疾患について、症状、病態、検査、術式と再建法、周術期の管理、手術後の身体構造と機能の変化などについて述べるができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	外科治療の基本 その1	下間 正隆
2	外科治療の基本 その2	下間 正隆
3	外科治療の基本 その3	下間 正隆
4	胃癌の治療 その1	下間 正隆
5	胃癌の治療 その2	下間 正隆
6	大腸癌の治療 その1	下間 正隆
7	大腸癌の治療 その2	下間 正隆
8	食道癌の治療	下間 正隆
9	肺癌の治療	下間 正隆
10	気胸の治療、胸腔ドレナージシステム	下間 正隆
11	門脈圧亢進症・食道静脈瘤の治療	下間 正隆
12	イレウスの治療	下間 正隆
13	急性腹症の治療	下間 正隆
14	救急領域の外科治療	下間 正隆
15	外科治療Ⅰ 全体のまとめ	下間 正隆

授業方法

講義

時間外学習

復習：授業内容で不明な部分は質問をするか、参考書を参照し、疑問点を放置しない。
(30分)

その他：関連した項目に関心を持ち、考え判断する習慣をもつ。

教科書

「カラー版まんがで見る術前・術後ケアのポイント」(エキスパートナースM00K36), 下間正隆執筆・作画, 照林社, N10.6/Sh54, 4796510508

参考図書

「カラー版まんがで見る手術と処置(正)」(エキスパートナースM00K14), 下間正隆, 中村隆一執筆・作画, 照林社, 494.2/Sh54/1, 4796510249

「カラー版まんがで見る手術と処置 続」(エキスパートナースM00K22), 下間正隆, 中村隆一執筆・作画, 照林社, 494.2/Sh54/2, 479651032X

「カラーイラストでみる外科手術の基本」, 下間正隆著, 照林社, 494.2/Sh54, 9784796580021

「周術期の臨床判断を磨く: 手術侵襲と生体反応から導く看護」, 鎌倉やよい, 深田順子著, 医学書院, N10.6/Ka31, 9784260005708

評価方法

試験(80%)、受講態度(20%)

フィードバック

毎回の講義終了時に 質問を受け、それに対して説明を行う。また個別の出席表に感想や質問などを記載し、重要な質問に対して次の講義で回答する。

その他

外科医師としての経験をもつ教員が、専門的知識を本科目で教授する。

成人急性期病態・治療論	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 下間 正隆			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

成人・老年における外科治療疾患には、腫瘍、脳出血、心大血管、脳外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、および救急領域などがある。また手術には、腹腔や胸腔などの体腔を切開して切除又は切断する方法、内視鏡下の手術、移植手術などがある。代表的な成人・老年疾患の外科治療法や麻酔法について教授する。また、これらの知識に基づいて周術期に適切な看護を実践できるように教授する。

【到達目標】

外科治療の主な対象疾患について、症状、病態、検査、術式と再建法、周術期の管理、手術後の身体構造と機能の変化などについて述べるができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	外科治療と抗癌剤化学療法	下間 正隆
2	乳癌の治療	下間 正隆
3	胆嚢結石症の治療	下間 正隆
4	肝癌の外科治療	下間 正隆
5	膵癌の外科治療	下間 正隆
6	脳外科疾患の外科治療	下間 正隆
7	心臓血管外科の治療	下間 正隆
8	整形外科疾患の外科	下間 正隆
9	泌尿器科疾患の外科治療	下間 正隆
10	麻酔法 その1	下間 正隆
11	麻酔法 その2	下間 正隆
12	外科と輸液・栄養管理	下間 正隆
13	周術期管理 その1	下間 正隆
14	周術期管理 その2	下間 正隆
15	外科治療 I I 全体のまとめ	下間 正隆

授業方法

講義

時間外学習

予習：教科書の予定ページを読み、概要を理解する。(30分)

復習：授業内容で不明な部分は質問をするか、参考書を参照し、疑問点を放置しない。(30分)

その他：関連したニュースに関心を持ち、考え判断する習慣をもつ。

教科書

「周術期の臨床判断を磨く；手術侵襲と生体反応から導く看護」, 鎌倉やよい著 深田順子著, 医学書院, N10.6/Ka31, 9784260005708

参考図書

「カラー版まんがで見る手術と処置(正)」(エキスパートナースMOOK14), 下間正隆, 中村隆一執筆・作画, 照林社, 494.2/Sh54/1, 4796510249

「カラー版まんがで見る手術と処置 続」(エキスパートナースMOOK22), 下間正隆, 中村隆一執筆・作画, 照林社, 494.2/Sh54/2, 479651032X

「カラー版まんがで見る術前・術後ケアのポイント」(エキスパートナースMOOK36), 下間正隆執筆・作画, 照林社, 494.2/Sh54, 9784796580021

「カラーイラストでみる外科手術の基本」, 下間正隆著, 照林社, 494.2/Sh54, 4796580026

その他、該当図書があれば随時紹介する

評価方法

試験(80%)、受講態度(20%)

フィードバック

毎回の講義終了時に 質問を受け、それに対して説明を行う。また個別の出席表に感想や質問などを記載し、重要な質問に対して次の講義で回答する。

その他

外科医師としての経験をもつ教員が、専門的知識を本科目で教授する。

成人慢性期病態・治療論	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 下間 正隆・坂本 宏司・杉野 安輝・花木 芳洋・加藤 智則			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

内科領域における代表的成人疾患の臨床症状、病態、診断、治療を学習する。各臓器の形態や機能についての知識をベースとして疾病と症状の関係を理解し、診断に必要な検査法や評価法と結果の解釈、並びに治療法の概要を理解する。

【到達目標】

1. 消化器疾患の臨床症状、病態、検査法、治療法を述べることができる。
2. 呼吸器疾患の臨床症状、病態、検査法、治療法を述べることができる。
3. 循環器疾患の臨床症状、病態、検査法、治療法を述べることができる。
4. 血液疾患の臨床症状、病態、検査法、治療法を述べることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	成人内科系疾患・治療総論・講義の導入 消化器疾患 消化器疾患の症候と主な検査(p.152-209)	下間正隆
2	食道疾患(胃・食道逆流症, 食道静脈瘤) 胃・十二指腸疾患(急性胃炎, 慢性胃炎, 胃・十二指腸潰瘍)	下間正隆
3	大腸の疾患(潰瘍性大腸炎, クロウン病, イレウス)	下間正隆
4	消化器疾患 肝臓疾患(ウイルス性肝炎, 肝硬変, 肝がん, アルコール性肝障害)	坂本宏司
5	胆道疾患(胆石症, 胆道感染症) 膵疾患(急性膵炎, 慢性膵炎)	坂本宏司
6	呼吸器疾患 呼吸器疾患の症候と主な検査(p.2-70) 呼吸器感染症(肺炎, 肺結核) アレルギー(気管支喘息)	杉野安輝
7	慢性閉塞性肺疾患 間質性肺疾患(間質性肺炎) 気道系疾患(気管支拡張症)	杉野安輝
8	肺循環疾患(肺血栓栓塞症, 肺水腫) 換気異常(過換気症候群) 胸膜疾患(気胸)	杉野安輝
9	循環器疾患 循環器疾患の症候と主な検査(p.72-150) 心不全, 不整脈	花木芳洋
10	虚血性心疾患(狭心症, 急性心筋梗塞) 心筋疾患(拡張型心筋症, 肥大型心筋症, 心筋炎)	花木芳洋
11	心筋疾患(高血圧症/低血圧症, 疾患) 心臓弁膜症(僧帽弁膜症, 大動脈弁膜症)	花木芳洋
12	高血圧症(本態性高血圧, 二次性高血圧) 動脈硬化 動脈疾患(大動脈解離)	花木芳洋
13	血液疾患 血液疾患の症候と主な検査(p.486-527) 赤血球の疾患(鉄欠乏性貧血, 巨赤芽球性貧血, 溶血性貧血)	加藤智則
14	白血球の疾患(白血病, 骨髄異形成症候群, 悪性リンパ腫, 多発性骨髄腫)	加藤智則
15	出血性疾患(血小板減少性紫斑病, 血友病, 播種性血管内凝固症候群)	加藤智則

授業方法

講義

時間外学習

予習：教科書の予定ページを読み、概要を理解する。(30分)

復習：授業内容で不明な部分は質問をするか、参考書を参照し、疑問点を放置しない。
(30分)

教科書

『看護のための臨床病態学』，浅野嘉延、吉山直樹編，南山堂
，491.61/A87/4th，9784525505141

参考図書

『知りたいことがすぐわかる病態生理 疾患編』，川崎市立川崎病院編，へるす出版
，491.6/Ka97，9784892695704

評価方法

試験(100%)

フィードバック

毎回の講義終了時に質問を受け、それに対して説明を行う。

その他

成人慢性期病態・治療論 と関連する。

成人慢性期病態・治療論	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 山本 義浩・久保田 恵章・福間 長知・太田喜久夫・一文字功・高杉浩司			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

内科領域における代表的成人疾患の臨床症状、病態、診断、治療を学習する。各臓器の形態や機能についての知識をベースとして疾病と症状の関係を理解し、診断に必要な検査法や評価法と結果の解釈、並びに治療法の概要を理解する。

【到達目標】

1. 中枢神経疾患の臨床症状、病態、検査法、治療法を述べることができる。
2. 内分泌・代謝疾患の臨床症状、病態、検査法、治療法を述べることができる。
3. 腎疾患の臨床症状、病態、検査法、治療法を述べることができる。
4. 泌尿器疾患の臨床症状、病態、検査法、治療法を述べることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	中枢神経疾患 中枢神経疾患の症候と主な検査 (p.418-484) 脳血管障害 (脳梗塞)	太田喜久夫
2	脳血管障害 (脳出血, クモ膜下出血)	太田喜久夫
3	神経変性疾患 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	太田喜久夫
4	脱髄性疾患 (多発性硬化症) 神経筋接合部疾患 (重症筋無力症)	太田喜久夫
5	筋疾患 (デュシェンヌ型筋ジストロフィー)	太田喜久夫
6	内分泌・代謝疾患 内分泌・代謝疾患の症候と主な検査 (p.272-347) 糖尿病	一文字功
7	低血糖症 メタボリックシンドローム	一文字功
8	脂質異常症 痛風・高尿酸血症・ビタミン欠乏症	高杉浩司
9	内分泌・代謝疾患 視床下部・下垂体疾患 甲状腺疾患 (甲状腺機能亢進症, 甲状腺機能低下症)	福間長知
10	内分泌・代謝疾患 副甲状腺疾患 副腎疾患 (クッシング症候群, アジソン病)	福間長知
11	腎疾患 腎疾患の症候と主な検査 (p.350-416) 原発性腎疾患 (糸球体腎炎, ネフローゼ症候群)	山本義浩
12	続発性腎疾患 (糖尿病腎症) 慢性腎臓病 (CKD)	山本義浩
13	腎不全 腎・泌尿器感染症 (腎盂腎炎, 膀胱炎)	山本義浩
14	泌尿器疾患 泌尿器科疾患 (尿路結石症)	久保田恵章
15	泌尿器科疾患 (前立腺肥大症, 前立腺癌)	久保田恵章

授業方法

講義

時間外学習

予習: 教科書の予定ページを読み、概要を理解する。(30分)

復習: 授業内容で不明な部分は質問をするか、参考書を参照し、疑問点を放置しない。(30分)

教科書

『看護のための臨床病態学』, 浅野嘉延、吉山直樹編, 南山堂, 491.61/A87/4th, 9784525505141

参考図書
適宜紹介する。

評価方法
試験（100％）

フィードバック
毎回の講義終了時に質問を受け、それに対して説明を行う。

その他
成人慢性期病態・治療論 と関連する。

成人急性期看護学概論	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 東野 督子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

成人という対象を理解し、成人を対象とした看護に共通する基礎概念を学んで、成人看護学の概要を理解する。また、成人のライフスタイル、成人期に起こりやすい疾病などの特徴を理解し、急性期状況の支援から回復過程への移行の支援に重点を置いた看護の理念、目標、看護の役割を学ぶ。

【到達目標】

1. 成人各期の成長発達の特徴と課題をライフサイクルを踏まえて身体的・精神的・社会的な側面から統合して説明できる。
2. 生活に関連する健康障害と予防法を説明できる。
3. 成人保健の動向を図表に基づいて説明できる。
4. 成人看護に有用な概念を説明できる。
5. 健康レベルからみた成人看護の特徴を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	成人看護の対象である「成人」の成長・発達の特徴	東野 督子
2	成人の各期（青年期、壮年期、向老期）にみられる健康問題と動向	東野 督子
3	成人の各期（青年期、壮年期、向老期）にみられる健康問題と動向	東野 督子
4	健康の危機状況への適応：QOL, 健康の危機状況、危機モデル	東野 督子
5	成人に対する健康学修支援：自己効力、成人教育、エンパワメント	東野 督子
6	成人に対する健康支援：セルフケア、ソーシャルサポート	東野 督子
7	健康レベルに応じた看護：急性期から回復期への移行の支援	東野 督子
8	健康レベルに応じた看護：手術に関連した入院・退院支援の構築	東野 督子

授業方法

講義：第1回～第8回

時間外学習

予習：授業前には教科書を読んでおく。概要を理解しておく。（30分）
 復習：授業後には配布資料、教科書を読み直し、復習に努めること。（30分）
 その他：各自必要に応じて行うこと。

教科書

「成人看護学概論/成人保健」（新体系看護学全書、専門分野II・成人看護学1），黒江ゆり子編，メヂカルフレンド社，N08/Sh57/1，9784839233419
 「国民衛生の動向 2020/2021」（雑誌「厚生生の指標」増刊），厚生労働統計協会編集，厚生労働統計協会，雑誌・製本雑誌架

参考図書

授業中に適宜紹介する。

評価方法

成績は筆記試験 100%。ただし授業態度の状況は減点の対象とします。

フィードバック

学修内容のフィードバックは授業の時間内に実施する。授業に関する質問および評価、意見については、授業内もしくは次回の授業開始時に回答・補足説明を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

成人周術期看護論	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 東野 督子・鎌倉 やよい・棚川 綾子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

手術侵襲によって引き起こされる生体反応を軸に循環器系、呼吸器系、消化器系等への影響、並びに創傷治癒、急性疼痛、術後せん妄等を理解し、看護を組み立てることを学ぶ。

手術に伴う再建術等によって変化した身体の構造と機能に基づき、術後患者の健康を回復するために必要となる生活を理解し、QOLを高める視点から看護を組み立てることを学ぶ。

【到達目標】

1. 術前の患者の身体・心理・社会の各側面から看護問題が理解できる。
2. 手術侵襲による身体に及ぼす反応と変化を理解し必要な看護を説明できる。
3. 患者の回復過程の変化をより術後回復に向けた看護を理解できる。
4. 代表的な手術に基づき、術後に必要となる患者の生活の援助を導くことができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	急性期看護総論・手術侵襲と生体反応から導く看護	鎌倉 やよい
2	手術侵襲の循環器系への影響と看護	鎌倉 やよい
3	手術侵襲の呼吸器系への影響と看護	鎌倉 やよい
4	手術侵襲の消化器系への影響と看護	鎌倉 やよい
5	手術に伴う創傷の治癒過程と看護	鎌倉 やよい
6	手術後の急性疼痛と看護	鎌倉 やよい
7	術後せん妄と看護	鎌倉 やよい
8	回復期看護総論・手術に伴う構造・機能の変化から導く看護 肺葉切除術を受けた患者の看護	東野 督子
9	冠状動脈バイパス術を受けた患者の看護	棚川 綾子
10	食道切除を受けた患者の看護	東野 督子
11	胃切除術を受けた患者の看護	東野 督子
12	肝臓・膵臓・胆嚢の切除術を受けた患者の看護	東野 督子
13	大腸切除術を受けた患者の看護	東野 督子
14	ストーマ造設術を受けた患者の看護	東野 督子
15	乳房、子宮、泌尿器の手術を受けた患者の看護とまとめ	東野 督子

授業方法

講義：第1回～第15回

時間外学習

予習：授業までに教科書を読み、疑問点を整理しておくこと。(30分)

復習：授業後には配布資料、教科書を読み直し、復習に努めること。(30分)

その他：各自必要に応じて行うこと。

教科書

「周術期の臨床判断を磨く：手術侵襲と生体反応から導く看護」, 鎌倉やよい, 深田順子 著, 医学書院, N10.6/Ka31, 9784260005708

「周手術期看護論」, 第3版, 雄西智恵美、秋元典子編, ニューヴェルヒロカワ, N10.6/066/3rd, 9784861740602

「臨床外科看護各論」(系統看護学講座, 別巻2), 第9版, 北島正樹他執筆, 医学書院, N08/Ke28/9th, 9784260027656

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

成績は筆記試験 100%。

フィードバック

授業内容に関する質問については授業中に解決することが望ましいので、質問していただきたい。また、レスポンスカードに記された質問等は、次回の授業開始時に回答し、補足説明を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

成人慢性期看護学概論	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 石黒 千映子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

慢性の病気とともに生活している人について理解し、慢性期看護の基本となる機能や役割、概念、援助について学習する。

【到達目標】

1. 慢性の病気をもつ人の特徴を、身体・心理・社会の各側面およびライフサイクルの視点から理解できる。
2. 慢性の病気をもつ人の療養の場とその人を支えるチーム医療について理解できる。
3. 慢性期看護で用いられる主要な概念について理解できる。
4. 慢性の病気をもつ人に対する看護援助の基本について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	慢性性とは何か 慢性的な経過をたどる疾患の特徴	石黒 千映子
2	慢性の病気をもつ人とその家族の特徴 慢性の病気をもつ人を取り巻く社会環境	石黒 千映子
3	慢性期看護の機能と役割 慢性期看護の様々な場と多職種との連携	石黒 千映子
4	慢性期看護で用いられる概念 : 病みの軌跡	石黒 千映子
5	慢性期看護で用いられる概念 : 自己概念、アドヒアランス	石黒 千映子
6	慢性の病気をもつ人への援助 : 健康学習への支援	石黒 千映子
7	慢性の病気をもつ人への援助 : 意思決定への支援	石黒 千映子
8	慢性の病気をもつ人への援助 : 症状マネジメントおよびセルフモニタリングへの支援	石黒 千映子

授業方法

講義：第1回～第8回

時間外学習

予習：教科書の該当箇所を読み、概要を理解しておく。(30分)

復習：配布資料を見直すとともに、教科書および参考図書を読んで復習する。(30分)

その他：疑問に思ったことや興味を抱いたことは、関連図書や文献を調べてさらに知見を深める。(適宜)

教科書

「慢性期看護論」(成人看護学)，第3版 ，鈴木志津枝，藤田佐和編，ヌーヴェルヒロカワ，N11/Su96/3rd，9784861740619

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

定期試験〔90%〕、受講態度（参加態度、貢献度）〔10%〕により評価する。

なお、定期試験を100点満点とした場合に60点以上の評価を得ることが必要である。

欠席および遅刻、早退は減点する。

フィードバック

授業中に提示した課題や授業に関する質問等についてのフィードバックは、授業内もしくはその後の授業の中で行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

成人慢性期援助論	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 石黒 千映子・生田 美智子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

慢性疾患による機能障害がある患者への、健康レベルの変化や治療に応じた看護援助について学習する。

【到達目標】

1. 慢性的な機能障害をもつ人の特徴を、身体・心理・社会の各側面および生活への影響という視点から理解できる。
2. 慢性的な健康障害をもつ人が体験する問題について理解できる。
3. 慢性的な健康障害をもつ人に対する、苦痛の緩和、機能の回復・維持・向上、セルフマネジメント支援に関する看護について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	慢性の呼吸機能障害をもつ人の特徴	石黒 千映子
2	慢性閉塞性肺疾患の患者の看護 : 急性増悪期から回復期	石黒 千映子
3	慢性閉塞性肺疾患の患者の看護 : 維持期、在宅酸素療法および在宅人工呼吸療法の管理	石黒 千映子
4	慢性の循環機能障害をもつ人の特徴	石黒 千映子
5	慢性心不全の患者の看護 : 急性増悪期から回復期	石黒 千映子
6	慢性心不全の患者の看護 : 維持期	石黒 千映子
7	慢性の栄養代謝機能障害をもつ人の特徴	石黒 千映子
8	糖尿病患者の看護 : 食事管理、運動管理	生田 美智子
9	糖尿病患者の看護 : 薬物管理、合併症予防の管理	生田 美智子
10	慢性の腎機能障害をもつ人の特徴	石黒 千映子
11	慢性腎不全患者の看護 : 保存期(透析導入前)・透析導入期・維持透析期	石黒 千映子
12	慢性の栄養摂取・消化機能障害をもつ人の特徴、肝硬変患者の看護	石黒 千映子
13	慢性の脳・神経機能障害をもつ人の特徴	棚川 綾子
14	脳梗塞患者の看護 : 初病期から回復期	石黒 千映子
15	脳梗塞患者の看護 : 維持期	石黒 千映子

授業方法

講義：第1回～第15回

時間外学習

予習：教科書および参考図書の該当箇所を読み、概要を理解しておく。(30分)
 復習：配布資料を見直すとともに、教科書および参考図書を読んで復習する。(30分)
 その他：疑問に思ったことや興味を抱いたことは、関連図書や文献を調べてさらに知見を深める。(適宜)

教科書

「慢性期看護論」(成人看護学), 第3版, 鈴木志津枝, 藤田佐和編, ニューヴェルヒロカワ, N11/Su96/3rd, 9784861740619
 「糖尿病食事療法のための食品交換表」, 第7版, 日本糖尿病学会編, 文光堂, 493.123/N71/7th, 9784830660467
 「看護実践のための根拠がわかる 成人看護技術 慢性看護」(根拠がわかる看護技術シリーズ), 宮脇郁子, 旗持知恵子編著, メヂカルフレンド社, N11.19/Mi87/2nd, 9784839215903

参考図書

「形態機能学 ~ ~」、 「成人病態・治療論 ~ ~」で使用したテキスト
 その他、適時紹介する。

評価方法

定期試験〔90%〕、受講態度（参加態度、貢献度）〔10%〕により評価する。
なお、定期試験を100点満点とした場合に60点以上の評価を得ることが必要である。
欠席および遅刻、早退は減点する。

フィードバック

授業中に提示した課題や授業に関する質問等についてのフィードバックは、授業内もしくはその後の授業の中で行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

成人看護学技術演習	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 石黒 千映子・棚川 綾子・田口 栄子・河村 諒・東野 督子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

成人看護学に必要な技術の原理原則を踏まえたうえで、臨床の環境を想定した看護技術の基本を学ぶ。

【到達目標】

1. 慢性期、急性期、クリティカルケアの領域で用いられる看護技術について述べるができる。
2. 慢性期、急性期、クリティカルケアの領域で用いられる看護技術を、安全かつ的確に行うことができる。
3. 慢性期、急性期、クリティカルケアの領域で用いられる看護の知識を深めることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	栄養代謝に関する看護技術：インスリン自己注射・血糖自己測定（講義）	石黒 千映子
2	栄養代謝に関する看護技術：インスリン自己注射（演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
3	栄養代謝に関する看護技術：血糖自己測定（演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
4	がん化学療法に関する看護技術：末梢静脈栄養、中心静脈栄養、輸液ポンプ・シリンジポンプ（講義）	石黒 千映子
5	がん化学療法に関する看護技術：末梢静脈栄養、中心静脈栄養（演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
6	がん化学療法に関する看護技術：輸液ポンプ・シリンジポンプ（演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
7	手術療法に関する看護技術：手術時手洗い・ガウンテクニック（講義・演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
8	手術療法に関する看護技術：術直後の観察とアセスメント、早期離床に向けた援助（講義）	東野 督子 河村 諒
9	手術療法に関する看護技術：術直後の観察とアセスメント（シミュレーション演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
10	手術療法に関する看護技術：早期離床に向けた援助（演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
11	呼吸に関する看護技術：気管吸引（講義）	棚川 綾子 田口 栄子
12	呼吸に関する看護技術：気管吸引（演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
13	救急時における看護技術：急変時の対応、チーム蘇生	棚川 綾子
14	救急時における看護技術：急変時の対応（演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野
15	救急時における看護技術：チーム蘇生（演習）	石黒・棚川・河村・田口・東野

授業方法

講義：第1回・第4回・第8回・第11回・第13回

演習：第2回・第3回・第5回・第6回・第7回・第9回・第10回・第12回・第14回・第15回

時間外学習

予習：教科書をよく読んでおく。（1時間）

復習：授業後には配布した資料を読み直し復習に努める。（1時間）

その他：各自必要に応じて行う。（適宜）

教科書

「臨床看護技術」(看護がみえるVol.2), 医療情報科学研究所編, メディックメディア, N10.12/167/2, 9784896327342
「看護実践のための根拠がわかる 成人看護技術 慢性看護」(根拠がわかる看護技術シリーズ), 第2版, 宮脇郁子, 箕持知恵子編著, メヂカルフレンド社, N11.19/Mi87/2nd, 9784839215903

参考図書

「基礎看護技術 ~ ~」, 「ヘルスアセスメント基礎」で使用したテキスト。
その他、適宜紹介する。

評価方法

筆記試験(30%)、提出課題(30%)、参加状況(40%)により、総合的に評価する。

フィードバック

実技については、演習時間内にフィードバックを行う。
提出された課題については、記載した内容を確認して返却する。

その他

事前・事後学習、自己学習を十分に行ったうえで授業に臨む。臨床場面を想定した演習のほか、グループ内で看護師役や患者役などの役割演技を交替しながら演習を行う。看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

母性病態・治療論	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 小口 秀紀・田中 太平			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

ヒト女性生殖器の解剖学的・生理学的基礎知識を踏まえた上で、妊娠・分娩・産褥・新生児の生理・病理に関する知識を教授し、母性看護に必要な基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 正常な妊娠、出産、産褥、新生児について理解し、ケアの要点について説明できる。
2. ハイリスク妊娠、出産、産褥、新生児の概念を理解し、着眼点について説明できる。
3. 異常（正常からの逸脱）を認識し、病態を理解し、適切な対応について説明できる。
4. 基礎的な遺伝学、生殖生理学について理解し、妊娠の成立、不成立について説明できる。
5. 母体の保護に関する各種法令について理解し、説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	正常な妊娠について	小口 秀紀
2	正常な妊娠について	小口 秀紀
3	ハイリスク妊娠とは	小口 秀紀
4	ハイリスク妊娠とは	小口 秀紀
5	正常分娩について	小口 秀紀
6	正常分娩について	小口 秀紀
7	ハイリスク分娩とは	小口 秀紀
8	ハイリスク分娩とは	小口 秀紀
9	正常産褥について	小口 秀紀
10	ハイリスク産褥とは	小口 秀紀
11	正常新生児について	田中 太平
12	ハイリスク新生児とは	田中 太平
13	ハイリスク新生児	田中 太平
14	ヒトの生殖発生遺伝学	田中 太平
15	総括と追加（各種法令、など）	小口 秀紀

授業方法

講義

時間外学習

予 習：講義が予定されている部分の大項目、小項目に目を通し、講義がカバーする範囲とその流れについて概観しておく（30分）。

復 習：講義でカバーした部分を読み、重点を確認する。（30分）

その他：常日頃、新聞やテレビの医学関連ニュースに着目し、何が世間で問題となっているかについて知るよう努めること。

教科書

「母性看護学概論」（系統看護学講座，専門分野・母性看護学1），第14版，森恵美他著，医学書院，N08/Ke28/1，9784260042253

「母性看護学各論」（系統看護学講座，専門分野・母性看護学2），第14版，森恵美他著，医学書院，N08/Ke28/2，9784260042239

参考図書

「胎児の世界：人類の生命記憶」（中公新書691），三木成夫著，中央公論社
080/C64/691，4121006917
「オスとメス=性の不思議」（講談社現代新書1138），長谷川真理子著，講談社
080/Ko19/1138，4061491385
「図解・内臓の進化：形と機能に刻まれた激動の歴史」（ブルーバックスB-1853），岩
堀修明著，講談社，080/B59/1853，9784062578530
「図解・感覚器の進化：原始動物からヒトへ 水中から陸上へ」（ブルーバックスB-
1712），岩堀修明著，講談社，080/B59/1712，9784062577120
「利己的遺伝子とは何か：DNAはエゴイスト!」（ブルーバックスB-890），中原英臣，佐
川峻著，講談社，080/B59/890，4061328905
「トンプソン&トンプソン遺伝医学」，第2版，ロバート L. ナスバウムほか著，福嶋義光監
訳，エルゼビア・ジャパン，491.69/N99/2nd，9784895928755
「新生児の正常・異常みきわめブック：豊富な写真で正常所見と疾患がわかる」正期産
児編，田中太平著，メディカ出版，493.95/Ta84，9784840468817

評価方法

セメスター末の単位認定試験の成績（100%）

フィードバック

課題を与え、課題の解説を行う。

その他

医師としての経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

母性看護学概論	2年 後期	2単位 (30時間)	必修
担当: 野口 眞弓			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

母性看護の基本的な概念を理解し、女性のライフサイクルの特徴及び健康上の問題とそのケアについて学習する。

【到達目標】

1. 母性看護の基本的な概念を理解できる。
2. 性感染症、人工妊娠中絶、不妊症から、人間の性と生殖を理解できる。
3. 女性のライフサイクル各期における看護を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	基盤となる概念：母性とは	野口眞弓
2	基盤となる概念：母子関係	野口眞弓
3	基盤となる概念：アクティブパース、エスノグラフィー	野口眞弓
4	基盤となる概念：リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、性的マイノリティ	野口眞弓
5	法律・統計：母子保健統計、母子保健に関する法律	野口眞弓
6	母性看護の対象を取り巻く環境	野口眞弓
7	思春期：月経教育、性の健康教育	野口眞弓
8	思春期：性感染症	野口眞弓
9	成熟期：家族計画	野口眞弓
10	成熟期：人工妊娠中絶と看護	野口眞弓
11	成熟期：不妊治療と看護	吉川典子
12	成熟期：性暴力を受けた女性に対する看護	片岡笑美子
13	成熟期：障害をもつ子どもを持つ家族の看護、周産期の死を体験した家族の看護	野口眞弓
14	更年期・老年期：更年期・老年期の健康と看護	野口眞弓
15	母性看護における倫理	野口眞弓

授業方法

講義（15回）

時間外学習

予習：各回の教科書の指定ページ部分を読み、概要を理解する。（30分）

復習：授業内容で理解できなかった部分について調べる。（30分）

その他：講義中に紹介された書籍など、母性に関する書籍を最低1冊は読み、母性看護学の対象理解を深める。

教科書

「母性看護学概論」（系統看護学講座 専門分野・母性看護学）、第13版、森恵美
他、医学書院、N08/Ke28/1、9784260021883

「母性看護学各論」（系統看護学講座 専門分野・母性看護学）、第13版、森恵美
著者代表、医学書院、N08/Ke28/2、9784260021791

参考図書

講義時に紹介する。

評価方法

期末テスト[90%]、ワークブックの提出[10%]で評価する。

フィードバック

授業毎にレスポンス・カードに対するフィードバックを行う。

その他

助産師としての勤務経験をもつ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

小児病態・治療論	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当：後藤 芳充・田中 太平・神田 康司・石井 睦夫・犬飼 幸子・笠原 克明・山田 崇春・真島 久和			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

新生児に限らず、小児の疾病構造は成人とは大きく異なる。それは、小児が成人と違って成長、発達の途上にあることで、その時期ごとに特徴的な疾患があるからである。小児の内科系疾患・外科系疾患について、その病態生理と症状・診断・治療を理解し、看護師として対応できる知識を習得することが目標である。

【到達目標】

1. 看護師として、他の医療者と協力して小児の診療を行う上で必要な特有の疾病構造と小児科疾患の理解と習得を目指す。
2. 新生児、乳児、幼児、学童の成長、発達、栄養などについて概説できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	小児科総論	後藤 芳充
2	遺伝性疾患・染色体異常	山田 崇春
3	新生児疾患	田中 太平
4	感染症（ウイルス）	真島 久和
5	感染症	真島 久和
6	呼吸器疾患	神田 康司
7	循環器疾患	犬飼 幸子
8	内分泌代謝疾患	笠原 克明
9	消化器疾患	笠原 克明
10	腎・泌尿器疾患	笠原 克明
11	免疫・アレルギー疾患	神田 康司
12	血液・腫瘍性疾患	石井 睦夫
13	神経・運動器疾患	真島 久和
14	発達障害・虐待、移行	山田 崇春
15	まとめ	後藤 芳充

授業方法

講義

時間外学習

予習：教科書の予定ページを読み、概要を理解する。（30分）

復習：授業内容で不明な部分は質問をするか、参考書を参照し、疑問点を放置しない。（30分）

その他：関連したニュースに関心を持ち、考え判断する習慣をもつ。（適宜）

教科書

「小児臨床看護各論」（系統看護学講座，専門看護分野2小児看護学2），第14版，奈良間美保著者代表，医学書院，N08/Ke28/2，9784260038669

参考図書

「新生児の正常・異常みきわめブック：豊富な写真で正常所見と疾患がわかる 正期産児編」，田中太平著，メディカ出版，493.95/Ta84，9784840468817

評価方法

筆記試験（80%）、受講の積極性（20%）

フィードバック

学習内容のフィードバック等は講義時に説明する。

その他

医師としての経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

小児看護学概論	2年 後期	2単位 (30時間)	必修
担当: 大西 文子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

小児看護の変遷および小児保健・医療の動向をふまえ、小児看護の対象である小児の特徴、成長・発達、発達段階に応じた看護、家族や社会の役割・機能について考えられる。

【到達目標】

1. 小児看護の変遷および小児保健・医療の動向を述べるができる。
2. 小児の特徴、成長・発達を述べるができる。
3. 小児を取り巻く家族や社会の役割・機能について考え、述べるができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	小児看護の概念、小児の成長・発達	大西文子
2	小児保健統計	大西文子
3	新生児期の養育および看護(新生児の栄養も含む)	大西文子
4	乳児期の成長・発達の特徴(含:乳児の栄養)	大西文子
5	乳児期の養育および看護	大西文子
6	幼児期の養育および看護(含:幼児の栄養)	大西文子
7	学童期の養育および看護(含:学童の栄養)	大西文子
8	思春期の養育および看護(含:思春期の栄養)	大西文子
9	小児と家族を取り巻く社会(行政事業,社会病理現象)	大西文子
10	小児の療養環境と医療チーム	大西文子
11	子どもの権利と看護(インフォード・アセントとプレパレーション、マルチリートメントを含む)	岡田摩理
12	地域で暮らす病気をもつ子どもと家族の在宅看護	岡田摩理
13	小児看護に用いられる理論	岡田摩理
14	小児における病気の理解と疾病の経過と看護(看護過程を含む)	岡田摩理
15	健康障害をもつ子どもと家族への看護過程(家族看護を含む)	岡田摩理

授業方法

- 第1・3・5・7・9・11・13・15回：講義
 第2・4・6・8・10・12・14回：遠隔授業(オンデマンド配信)

時間外学習

- ・授業への参加準備
- ・講義ごとに予習・復習をする

教科書

「小児の発達と看護」(ナーシング・グラフィカ,小児看護学1),第6版,中野綾美編,株式会社メディカ出版,N08/N99/1,9784840465151
 「国民衛生の動向 2020/2021」(雑誌「厚生指標」増刊),厚生労働統計協会編集,厚生労働統計協会,雑誌・製本雑誌架

参考図書

特になし

評価方法

筆記試験(90%)、受講態度及び参加状況(10%)により総合的に評価する。オンライン講義時は、Formsのミニテストへの回答をもって出席とみなし、取り組み状況を受講態度に含めて評価する。

フィードバック

単元ごとの課題に対して、次回の授業開始時に説明するなどのフィードバックを行う。Formsやメールへの質問に対しては、次回講義で説明する。

その他

看護師としての勤務経験をもつ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

老年病態・治療論	2年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 小林 尚司・鎌倉 やよい・下間 正隆・森田 一三・安井 敬三・伊藤 彰博・近藤敬太・小笠原雅彦・加藤真二			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

高齢者および在宅における診療の特徴を理解する。さらに、高齢者に多い疾患の病態と、検査・診断・治療および老年症候群のアセスメントと対応について学ぶ。

【到達目標】

1. 老化と老年疾患・老年症候群について理解できる
2. 高齢者及び在宅における医療について理解できる
3. 高齢者に多い疾患の病態と診断・治療・予防について理解できる
4. 老年症候群のアセスメントと対応について理解できる

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	老化および老年疾患・老年症候群の成り立ち 高齢者総合機能評価	小林尚司
2	高齢者の総合診療、在宅医療	近藤敬太
3	地域医療連携の構築 在宅・施設における終末期医療	近藤敬太
4	高齢者に多い疾患 認知症 アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症	安井敬三
5	高齢者に多い疾患 認知症 パーキンソン病、前頭側頭型認知症	安井敬三
6	高齢者に多い疾患 運動器疾患 骨折、骨粗鬆症、脊椎疾患、変形性関節症	小笠原雅彦
7	高齢者に多い疾患 感覚器疾患 白内障、難聴	加藤真二
8	高齢者に多い疾患 感染性疾患 偽膜性大腸炎、ノロウイルス感染症	下間正隆
9	高齢者に多い疾患 皮膚疾患 褥瘡、皮膚乾燥・掻痒症、白癬、疥癬	下間正隆
10	高齢者に多い疾患 歯科疾患 歯・口腔の疾患、口腔機能障害、口腔ケア	森田一三
11	老年症候群 フレイル、PEM	伊藤彰博
12	老年症候群 サルコペニア、ロコモティブシンドローム	伊藤彰博
13	老年症候群 摂食嚥下障害、誤嚥性肺炎	鎌倉やよい
14	老年症候群 転倒	小林尚司
15	老年症候群 排泄障害	鎌倉やよい

授業方法

1～15回講義

時間外学習

予習：講義予定部分の教科書を読み、概要を理解する（30分）。
復習：授業内容で不明な部分は、再度教科書又は形態機能学の学習内容を参照して、理解を深める（30分）。
その他：形態機能学や病理学などと関連づけて理解することを習慣にする（適宜）。

教科書

「老年看護病態・疾患論」(系統看護学講座, 専門分野), 第5版, 鳥羽研二著者代表, 医学書院, N08/Ke28/5th, 9784260031721

参考図書

適宜紹介する

評価方法
試験（100％）

フィードバック
毎回の授業終了時に質問を受け、それに対する説明を行う。

その他
医師または看護師としての経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

老年看護学概論	2年 後期	2単位 (30時間)	必修
担当: 小林 尚司・清水 みどり・橋本 亜弓			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

本科目は、DP3 に関連して老年期にある人の理解に重点を置き、高齢者およびその家族を対象とした看護を行う上で必要となる、老化および高齢者の生活、わが国の高齢者社会の実態、高齢者と家族の生活を支えるシステムに関する知識を身につける。

【到達目標】

1. 高齢者の身体的、精神的、社会的特徴について説明できる。
2. 高齢者疑似体験の結果を身体的老化と関連付けて説明できる。
3. 介護保険制度と関連する施設・居宅サービスについて説明できる。
4. 高齢者に関する倫理的問題と権利擁護について説明できる。
5. 高齢者自身による「老い」のとらえ方について考察できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	老年看護学の独自性、老年看護学の機能と役割	小林尚司
2	ライフサイクルから見た老年期のとらえ方	小林尚司
3	加齢に伴う身体的変化1：老化のメカニズムと各臓器の変化	小林尚司
4	加齢に伴う身体的変化2：運動・感覚機能の変化	小林尚司
5	加齢に伴う精神的変化：知的能力の変化	小林尚司
6	加齢に伴う社会的変化：社会的活動・経済状況	小林尚司
7	高齢者の身体機能と日常生活動作 1：高齢者疑似体験	小林・清水 橋本
8	高齢者の身体機能と日常生活動作2：老化の生活動作への影響	小林・清水 橋本
9	高齢社会の実態：人口・高齢者の健康問題と生活障害	小林尚司
10	高齢者と家族を支えるサポートシステム：介護保険	小林尚司
11	高齢者の心理1：「老いる」とはどのようなものか	小林・清水 橋本
12	高齢者の心理2：高齢者自身の「老い」のとらえ方	小林・清水 橋本
13	高齢者の心理3：老年期からの生き方	小林・清水 橋本
14	高齢者に関する倫理的問題：虐待・身体拘束	小林尚司
15	高齢者のエンドオブライフケア	小林尚司

授業方法

第1～6、9～10、14・15回は講義
 第7～8回は、講義、演習、討議
 第11～13回は、講義、討議、プレゼンテーション

時間外学習

予習：テキストの授業予定に該当する箇所を読む（30分）。
 復習：配布した資料およびテキストを見直す（30分）。
 その他：授業中に出された課題に取り組む（適宜）。

教科書

「老年看護学概論・老年保健」（新体系看護学全書，老年看護学1），第5版，亀井智子編，メヂカルフレンド社，N08/Sh57/1，9784839233723

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

中間レポート（1回・12月）を20%、期末試験を60%、グループ課題（2回×5%）を10%、プレゼンテーションを5%、授業への参加度を5%とし、これらを総合して評価する。

フィードバック

グループで発表する課題があり、その内容にコメントする。授業中またはオフィスアワーで質問を受け付ける。

その他

担当教員は、臨床での勤務経験があり、専門知識をこの授業科目で教授する。

在宅看護学概論	2年 後期	2単位 (30時間)	必修
担当: 松田 優子・深谷 由美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

在宅看護が必要とされる社会的背景と歴史の変遷をふまえ、在宅看護の目的と役割を理解する。さらに、在宅看護の対象とその特性を理解し、訪問看護師の基本姿勢と、在宅療養を支える社会資源との連携・協働について学習する。

【到達目標】

1. 在宅看護が必要とされる社会的背景と歴史の変遷について説明できる。
2. 在宅看護の目的と特性について説明できる。
3. 在宅看護の対象について説明できる。
4. 在宅療養者の権利擁護および在宅看護の倫理について説明できる。
5. 在宅ケアを支える制度について説明できる。
6. 在宅療養者の生活の場に看護師が訪問することの意義について説明できる。
7. 在宅療養を支える社会資源の種類と多職種連携について説明できる。
8. 継続看護および退院支援について説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	在宅看護が必要とされる社会的背景、在宅看護の目的と特性	松田 優子
2	在宅看護の対象者	松田 優子
3	在宅ケアを支える医療保険制度・介護保険制度	松田 優子
4	難病療養者、障害者の在宅ケアを支える制度、在宅療養者の権利擁護	深谷 由美
5	在宅ケアシステムとケアマネジメント	松田 優子
6	地域包括ケアにおける在宅看護の役割と機能	松田 優子
7	訪問看護の特徴、訪問看護ステーションの成り立ち	松田 優子
8	訪問看護ステーションの事業運営	松田 優子
9	在宅看護実践と理論	深谷 由美
10	在宅療養者の生活の場を訪問することの意義と特徴	松田 優子
11	訪問看護の実際	松田 優子
12	在宅看護におけるセーフティマネジメント（安全管理）	松田 優子
13	在宅看護の倫理	松田 優子
14	社会資源の活用と多職種との連携・協働	深谷 由美
15	在宅看護における他機関の看護職との連携・協働（継続看護、退院支援）、まとめ	松田 優子

授業方法

講義

時間外学習

予 習：各回の教科書の指定ページ部分を読み、内容について理解する。

事前課題がある場合は、積極的に取り組む。(1.5時間)

復 習：授業内容の中で理解できなかった部分について調べる。(1.5時間)

その他：在宅看護に関する制度や社会問題に関心を持ち、文献、インターネット、テレビや新聞のニュースなどから授業内容と関連づける。(1時間)

教科書

「在宅看護論」，新版，木下由美子編著，医歯薬出版，N43/Ki46 ，9784263235324

参考図書

「国民衛生の動向 2019/2020」(雑誌「厚生指標」増刊), 厚生労働統計協会編, 厚生労働統計協会, 雑誌・製本雑誌架
「在宅看護論」(系統看護学講座, 統合分野), 第5版, 河原加代子著者代表, 医学書院, N08/Ke28/5th, 9784260027625
「在宅看護論: 実践をことばに」, 第6版, 杉本正子, 眞船拓子編集, ヌーヴェルヒロカワ, N43/Su38/6th, 9784861740688
「在宅看護学」, 第6刷増補新訂版, 波川京子, 三徳和子編, クオリティケア, N43/N47, 9784904363768
「地域療養を支えるケア」(ナーシング・グラフィカ, 在宅看護論1), 第6版, 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編, メディカ出版, N08/N99/1, 9784840465205
「写真でわかる訪問看護アドバンス: 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!」, 新訂版, 押川真喜子監修, インターメディカ, N43/Sh13, 9784899964117
その他、必要に応じて授業で提示します。

評価方法

試験(60%)、課題レポート(30%)、受講態度(10%)を合計して評価する。

フィードバック

授業後のアクションカード等により、学生が授業内容を振り返り習得できるようにする。疑問点などについては、適宜教員が助言および回答を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

精神病態・治療論	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 平野 千晶・水谷 浩明			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

精神医学や精神医療を取り巻く環境の変化は著しく、時代とともに変遷している。新しい疾患概念が生まれ、疾患の分類体系も次第に整備され、診断システムも進歩している。看護も病院のみならず各種施設や地域、家庭へと広がりをみせている。

チーム医療を実践するために精神医学の基礎知識を習得し、他者に対しての共感的能力のある看護師を育成する。

【到達目標】

知識の習得にはとらわれず、精神医学や精神医療における対象のとらえ方、アプローチの方法など基本的な考え方を身につける。精神科領域だけでなく、実習や将来の看護の現場において、対象者と家族のメンタルの問題について、自ら課題を整理し、対処方法を見出す力を身につける。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	精神医学・精神医療とは、精神障害の病因・分類	平野 千晶
2	診断と検査	平野 千晶
3	精神症状の把握	平野 千晶
4	精神科での治療	平野 千晶
5	統合失調症 - 急性期 -	水谷 浩明
6	統合失調症 - 慢性期 -	水谷 浩明
7	気分障害	平野 千晶
8	心因性精神障害 - 神経症 -	水谷 浩明
9	心因性精神障害 - 神経症 -	水谷 浩明
10	心因性精神障害 - 心身症 -	平野 千晶
11	アルコール依存、薬物依存	水谷 浩明
12	老年期精神障害	平野 千晶
13	精神遅滞・発達障害（自閉症、アスペルガー障害）	平野 千晶
14	精神遅滞・発達障害（注意欠陥・多動性障害〔ADHD〕）	平野 千晶
15	パーソナリティ障害	平野 千晶

授業方法

講義

時間外学習

予習：授業中に与えた課題を準備する。（適宜）

復習：当日のハンドアウトを読み返して内容をつかむ。（30分）

その他：暗記ではなく、色々考える。

教科書

「臨床で活かすケア」（看護学テキストnice,精神看護学 ），改訂第2版，萱間真美,野田文隆編，南江堂，N20/Ka98/2 ，9784524257645

参考図書

「ナースの精神医学」，改訂5版，上島国利，渡辺雅幸,榊恵子編著，中外医学社，493.7/Ka37/5th ，9784498175020

評価方法

授業態度（参加・貢献度）（30%）、試験（70%）で評価する。

フィードバック

学習のフィードバックは講義内に行う。

その他

医師としての経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

精神看護学概論	2年 後期	2単位 (30時間)	必修
担当: 村瀬 智子・原田 真澄・初田 真人・坪之内 千鶴・飯田 大輔			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

広義の障がい者という観点から精神障がいをもつ人を捉え、障がいを持ちながら生きる人にとっての病の体験の意味を考えることで、対象理解を深める。その上で、精神障がいをもつ人の自律を支援するために必要とされる精神看護に関する歴史の変遷、看護理論、法制度などの基本的知識を学ぶ。

【到達目標】

1. 障がいとは何かについて考えながら、障がい受容過程について理解できる。
2. 人間のこころのはたらきを、全体論的（個人的・集合的およびそれらを取り巻く環境を含む）観点から理解できる。
3. こころの健康を保持増進、予防するために必要とされる精神看護の基本的知識・援助方法について理解する。
4. ライフサイクルの観点に基づき、さまざまな生活の場や状況におけるこころの健康について、理解を深めることができる。
5. 精神障がいをもちながら生活する人、及び、その家族にとっての病の体験の意味やセルフケア行動について理解できる。
6. ストレングスモデルを基盤として、当事者主体の自律を目指した支援方法について理解できる。
7. 精神保健医療福祉の歴史の変遷を踏まえながら、こころの健康を支える保健・医療・福祉のしくみを理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	精神障がいを持つ人の体験世界とこころの健康： トラベルビー看護論	村瀬 智子
2	障がい受容過程と障がいを持つ人を取り巻く環境の理解	村瀬 智子
3	こころの理解と自己理解：精神力動理論と脳科学	村瀬 智子
4	ライフサイクルとこころの健康：発達理論	村瀬 智子
5	当事者から学ぶ	村瀬・原田 初田・飯田 坪之内
6	こころのはたらきと精神状態のアセスメント	村瀬 智子
7	精神障がいを持つ人の家族の体験とこころの健康：心理教育	村瀬 智子
8	精神障がいを持つ人の自己決定を支える援助：セルフケア理論	村瀬 智子
9	当事者の自律を目指すリカバリー：ストレングスモデル	村瀬 智子
10	地域における精神保健活動： 多職種連携と精神科リハビリテーション	村瀬 智子
11	現代社会におけるストレスと危機： ストレス-レジリエンスと危機理論	村瀬 智子
12	生活の場におけるメンタルヘルス 1： 家庭・学校・職場・地域・災害	村瀬智子
13	生活の場におけるメンタルヘルス 2： 大学生活におけるストレスマネジメント (GW)	村瀬・原田・初 田・坪之内・飯 田
14	精神看護における臨床倫理と人権擁護：法制度	村瀬 智子
15	精神医療保健福祉に関する歴史の変遷	村瀬 智子

授業方法

第1回～第15回：講義・演習

時間外学習

- 予 習：初回講義時に、授業各回の具体的な学習項目、教科書や参考図書を提示
します。
提示資料を参考に次回の授業内容に関する予習を行って下さい。(30分)
復 習：授業内容の中で理解できなかった部分について調べて下さい。(30分)
その他：精神看護学を学ぶためには、自らの「こころ」を使いながら、自己理解を深
めることが必要です。自己の感性の覚醒につながるよう主体的に授業に参加
する準備をして下さい。

教科書

- 「精神看護の基礎」(系統看護学講座, 専門分野・精神看護学1), 第6版, 武井麻子著者
代表, 医学書院, N08/Ke28/1, 9784260042130
「精神障害をもつ人の看護」(新体系看護学全書, 精神看護学2), 第6版, 岩崎弥生編集
, メヂカルフレンド社, N08/Sh57/2, 9784260042147

参考図書

- 「精神看護学概論/精神保健」(新体系看護学全書, 精神看護学1), 第5版, 岩崎弥生編集
代表, メヂカルフレンド社, N08/Sh57/1, 9784839233631
「看護のための精神医学」, 第2版, 中井久夫, 山口直彦著, 医学書院
, 493.7/N34/2nd, 9784260333252
「こんなとき私はどうしてきたか」(シリーズケアをひらく), 中井久夫著, 医学書院
, 490.4/N34, 9784260004572
「こころを癒す: 実践オレム - アンダーウッド理論」(アクティブ・ナーシング), 南裕
子編著, 講談社, N20/Mi37, 4062702150
「精神看護学: 学生 - 患者のストーリーで綴る実習展開」, 第2版, 田中美恵子編著, 医歯
薬出版, N20/Ta84/2nd, 9784263236734
「図説リカバリー: 医療保健福祉のキーワード」, 野中猛著, 中央法規出版
, 369.27/N95, 9784805835326
「未来から描くケア共創看護学: 自然・生命・こころ・技の循環」, 村瀬智子, 村瀬雅俊
著, 大学教育出版, 2021年刊行予定
その他、適宜紹介する。

評価方法

成績評価は、試験【70%】、課題レポート【15%】、授業態度(参加・貢献度)【
15%】を合計して算出されます。

フィードバック

授業各回にレスポンスカードを配布します。レスポンスカードの質問内容については、
次回授業開始時に説明を行います。

その他

担当教員は、精神科病院での看護師としての勤務経験があり、本授業科目で専門的知識を
教授する。

災害看護学概論	2年 前期	2単位 (30時間)	必修
担当: 小林 洋子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

災害、災害支援および災害看護に関する基本的な知識を理解し、災害の過程において支援を必要とする人々の尊厳や権利を尊重した看護を学ぶ。

【到達目標】

1. 災害発生の動向と背景を説明できる
2. 災害の影響を受ける人々を理解できる
3. 災害支援にかかわる法律・制度を説明できる
4. 災害医療支援、および他機関との連携の必要性を説明できる
5. 災害過程(災害への備え、発災時、災害後)における看護とねらい、特徴を説明できる
6. 災害看護、看護師の役割について関心を高めることができる

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	災害・関連概念の定義，災害発生動向，災害看護の歴史	小林 洋子
2	災害の影響(生活被害)：環境・社会生活	小林 洋子
3	災害の影響(健康被害)：PTSD， ASD， DVT， 災害関連死	小林 洋子
4	災害被災者とニード論， 危機理論， 適応理論	小林 洋子
5	災害と法律：災害救助法， 災害対策基本法， 被災者支援制度	小林 洋子
6	防災体制：防災基本計画， 基幹災害拠点病院， 災害拠点病院	小林 洋子
7	災害医療， および日常医療(救命救急)の特徴	小林 洋子
8	災害時の諸機関の連携・協働； 関連職種・機関， 諸機関の連携と課題	小林 洋子
9	日本赤十字社の救護活動と社法， 定款	小林 洋子
10	災害看護の定義， 災害看護のサイクル(防災， 発災， 災害後の看護)	小林 洋子
11	災害看護におけるニーズアセスメントと看護	小林 洋子
12	災害看護と日常の看護の特徴， 災害の過程における看護	小林 洋子
13	災害看護の対象：要配慮者， 避難行動要支援者	小林 洋子
14	災害看護の対象：災害支援者	小林 洋子
15	災害看護と倫理	小林 洋子

授業方法

第1回～第15回 講義

時間外学習

- ・各授業後は、参考資料等を活用し授業内容を理解する(適宜)
- ・災害や災害支援に関する情報や資料に関心を向けて災害対応への理解を深める(適宜)

教科書

「災害看護学・国際看護学」(系統看護学講座, 統合分野・看護の統合と実践3), 第4版, 竹下喜久子編, 医学書院, N08/Ke28/3, 9784260035705

参考図書

- 「人が死なない防災」, 片田敏孝著, 集英社, 080/Sh99/633 , 9784087206333
- 「NHK学ぼうBOSAI 命を守る防災の知恵」, NHK「学ぼうBOSAI」制作班編, 金の星社, 369.3/N77
- 「東日本大震災石巻災害医療の全記録」, 石井正著, 講談社, 498.89/I75, 9784062577588
- 「心のケア: 阪神・淡路大震災から東北へ」, 加藤寛, 最相葉月著, 講談社, 080/Ko19/2121, 9784062881210
- 「震災被災者と足湯ボランティア: 「つぶやき」から自立へと向かうケアの試み」, 似田貝香門, 村井雅清編著, 生活書院, 369.31/N88, 9784865000412
- 「朽ちていった命: 被曝治療83日間の記録」, NHK「東海村臨界事故」取材班著, 新潮社, 080.1/N77, 9784101295510
- 「東北の震災と想像力: われわれは何を負わされたのか」, 鷲田清一, 赤坂憲雄著, 講談社, 369.31/W42, 9784062175326
- 「大災害と法」, 津久井進著, 岩波書店, 080/I95/1375 , 9784004313755

評価方法

試験（80%）、課題提出（20%）を合計して算出されます。

フィードバック

- ・授業後のレスポンスカードの質問に次回の授業時間内にフィードバックする
- ・課題について次回の授業時間内に解説する

その他

看護師として勤務経験をもつ教員が専門知識を本科目で教授する。

災害看護学援助論	2年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 小林 洋子・長尾 佳世子・藤井 愛海			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

災害過程において影響を受ける人々を健康と生活の側面から理解し、人々の尊厳や権利を尊重した災害時の看護援助方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 対象に応じた防災・減災教育を説明できる
2. 発災時に人命及び人々の尊厳や権利を尊重した看護援助方法を理解できる
3. 災害の影響を受けた人々を理解し適切な看護援助方法について理解できる
4. 災害復興における生活や健康の側面から被災者に対する看護援助方法を説明できる
5. 生活、健康の側面から支援を必要とする人々のアセスメント方法を理解できる
6. 災害過程において影響を受ける人々（高齢者・障がい者）を生活、健康の側面から捉え分析し、必要なニーズおよび人々の尊厳や権利を尊重し、ニーズに応じた方法補法、評価方法を記述できる

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	授業ガイダンス 防災・減災教育1（病院等施設において）	長尾・藤井
2	防災・減災教育2（地域において）	長尾・藤井
3	CSCATTT（目的と組織化・方法）、トリアージ（機会と種類、実施者、判断基準、記録）	長尾・藤井
4	傷病者のアセスメントと応急処置1（意識・呼吸・循環）	長尾・藤井
5	傷病者のアセスメントと応急処置2（活動）	長尾・藤井
6	災害による心理的影響（被災者の心理状態の推移、生活復旧に伴う課題、支援者のストレス・ストレス反応、PTSD、ASD）	長尾・藤井
7	災害時のこころのケア（IASCガイドライン、トリアージ、ストレス把握と対応）	長尾・藤井
8	心身の機能低下防止1（DVT、廃用性症候群、生活不活発病の予防）	長尾・藤井
9	心身の機能低下防止2（慢性疾患への対応、口腔ケア）	長尾・藤井
10	生活環境の整備1（避難所共同生活と運営、生活スペース、食糧・物品供給と管理、安否確認と課題）	長尾・藤井
11	生活環境の整備2（トイレ、感染予防（手洗い、汚物の処理等））	長尾・藤井
12	集団、個人の医療看護ニーズのアセスメント（ラピッドアセスメント他）	長尾・藤井
13	事例による集団の看護ニーズのアセスメント援助計画記述（グループワーク）	小林・長尾・藤井
14	事例による集団の看護ニーズのアセスメント援助計画記述（グループワーク）	小林・長尾・藤井
15	グループワーク発表と討議	小林・長尾・藤井

授業方法

- ・第1回～12回：講義、第13回～14回：グループワーク、第15回：グループワーク発表・討議

時間外学習

- ・各授業後は参考資料等を活用し授業内容を理解する（適宜）
- ・災害や災害支援に関する情報や資料に関心を向けて災害対応への理解を深める（適宜）

教科書

「災害看護学・国際看護学」（系統看護学講座，統合分野・看護の統合と実践3），第4版，浦田喜久子編，医学書院，N08/Ke28/3，9784260035705

参考図書

- 「東日本大震災石巻災害医療の全記録;「最大被災地」を医療崩壊から救った医師の7カ月」, 石井正著, 講談社, 498.89/175, 9784062577588
- 「人が死なない防災」(集英社新書0633B), 片田敏孝著, 集英社, 080/Sh99/633, 9784087206333
- 「心のケア;阪神・淡路大震災から東北へ」(講談社現代新書2121), 加藤寛, 最相葉月著, 講談社, 080/Ko19/2121, 9784062881210
- 「災害時のこころのケア」, 日本赤十字社編, 日本赤十字社, N10.51/N77
- 「災害が起こったときにあなたが支援できること;災害時高齢者生活支援講習ハンドブック」, 日本赤十字社企画編集, 日赤サービス, 赤十字資料コーナー
- 「DMAT標準テキスト」, 改訂第2版, 日本集団災害医学会DMATテキスト改訂版編集委員会編, 日本集団災害医学会監修, へるす出版, 498.89/N71/2nd, 9784892698590
- 「スフィアハンドブック;人道憲章と人道対応に関する最低基準」, 第4版, Sphere Association編, 支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク, R0.11/Sp4/'18, 9784991102103
- 「演習で学ぶ災害看護」, 小原真理子監修, 南山堂, N10.51/027, 9784525502614

評価方法

成績評価は、試験〔70%〕、グループワーク・課題提出〔30%〕を合計して算出されます。

フィードバック

質問に対し授業中に適宜回答する
課題発表・討議の場でフィードバックする

その他

看護師としての勤務経験を持つ教員が専門知識を本科目で教授する。

国際救援看護論	2年 前期	1単位 (15時間)	選択
担当: 小林 洋子・長尾 佳世子・藤井 愛海			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

国際的な視野にたつて、保健医療における看護活動・救援活動に関する基本的な知識を学ぶ。また、赤十字が行う国際的な保健医療に関する看護活動・救援活動について理解を深める。

【到達目標】

1. 世界の健康問題と支援の仕組みを理解できる。
2. 看護活動を行なう上で、基本的な国際基準を理解できる。
3. 看護活動の対象である人々とその文化を理解できる。
4. 国際的な保健医療に関する看護活動・救援活動を理解できる。
5. 赤十字社の国際活動を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	グローバルヘルスと看護の役割	小林 長尾・藤井
2	世界の健康問題と影響要因	小林 長尾・藤井
3	グローバルヘルスにかかわる組織と法	小林 長尾・藤井
4	世界の健康問題と保健医療支援（開発援助・緊急援助）	小林 長尾・藤井
5	国際保健医療支援の経緯と理念・行動規範	小林 長尾・藤井
6	国際保健医療支援と文化	小林 長尾・藤井
7	看護活動の展開（展開の実際：目標・基準活用等,特徴的なskill）	小林 長尾・藤井
8	グローバルヘルスと赤十字の国際活動（看護師の活動）	小林 長尾・藤井

授業方法

全て講義

時間外学習

- ・各国際状況に関心を持ち、ニュース・インターネット・資料より学びを深める（適宜）
- ・「本日の学習目標」についての学習内容を整理する。（適宜）

教科書

「災害看護学・国際看護学」（系統看護学講座,統合分野・と実践3）,第4版,浦田喜久子編,医学書院,N08/Ke28/3,9784260035705

参考図書

「グローバルヘルス:世界の健康と対処戦略の最新動向」,リチャード・スコルニク著,木原正博・木原雅子監訳,メディカルサイエンスインターナショナル,498/Sk11,9784895928977

「スフィアハンドブック:人道憲章と人道対応に関する最低基準」,第4版,Sphere Association編,支援の質とアカウントビリティ向上ネットワーク,R0.11/Sp4/'18,9784991102103

「世界と日本の赤十字:世界最大の人道支援機関の活動」,第2版,枘居孝,森正尚著,東信堂,R0.7/Ma67/2nd,9784798914930

「SDGsを学ぶ:国際開発・国際協力入門」,高柳彰夫,大橋正明編,法律文化社,333.8/Ta57,9784589039699

「赤十字と国際人道法:普及のためのハンドブック」,日本赤十字社国際部編,日赤サービス,R0.12/N77/7th

「Staying Alive ; ステイング アライブ」,デビッド・ロイド・ロバーツ著,加藤安孝訳,名古屋第二赤十字病院国際医療救援部,R0.7/R52

評価方法

最終レポート（70%）、課題（30%）を合計して評価する

フィードバック

1. レスポンスカードをまとめ助言する。
2. 授業中、授業後に質問に応え、助言する。

その他

1. 看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。
2. 第4 Semesterで国際救援看護論演習、第5 Semesterで国際救援看護論実習の履修を希望する者は、本科目の履修を推奨する。

国際救援看護論演習	2年 後期	1単位 (30時間)	選択
担当: 小林 洋子・長尾 佳世子・藤井 愛海			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

国際救援看護論の学習を基盤に、人々の健康に関する問題と国際的な保健医療活動を探求し、看護の役割を学ぶ。

【到達目標】

1. 国際的な健康課題を理解できる
2. 多様な文化で生活する人々の看護を考えることができる
3. 国際的な保健医療活動を展開する多機関の活動を理解する
4. 国際的な保健医療活動での看護活動を考えることができる

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス 国際的な保健医療活動に関わる基本的知識	小林・長尾・藤井
2	国際的な健康課題を考える (物語からの考察)	小林・長尾・藤井
3	国際的な健康課題を考える (物語からの考察)	小林・長尾・藤井
4	国際的な健康課題を考える (事前学習)	小林・長尾・藤井
5	国際的な健康課題を考える (途上国の実際についての講義)	小林・長尾・藤井
6	国際的な健康課題を考える (振り返り)	小林・長尾・藤井
7	国際的な保健医療活動を行う多機関の活動 (支援活動の実際についての講義)	小林・長尾・藤井
8	国際的な保健医療活動を行う多機関の活動 (振り返り)	小林・長尾・藤井
9	国際的な保健医療活動を行う多機関の活動 (事前学習)	小林・長尾・藤井
10	国際的な保健医療活動を行う多機関の活動 (施設見学)	小林・長尾・藤井
11	国際的な保健医療活動を行う多機関の活動 (施設見学)	小林・長尾・藤井
12	国際的な保健医療活動を行う多機関の活動 (施設見学)	小林・長尾・藤井
13	国際的な保健医療活動を行う多機関の活動 (施設見学)	小林・長尾・藤井
14	国際的な健康課題とその支援について-まとめ-	小林・長尾・藤井
15	国際的な健康課題とその支援について-まとめ-	小林・長尾・藤井

授業方法

第1回：講義、第2・3回：グループワーク、第4・6回：グループワーク、第5回：講義、第7回：講義、第8・9回：グループワーク、第10～13回：施設訪問、第14・15回：まとめ・発表

時間外学習

- ・各授業後は参考資料等を活用し授業内容を理解する(適宜)
- ・ニュース、インターネットより最新の国際情勢や災害状況を把握するように努める(適宜)

教科書

系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 災害看護学・国際看護学 第4版, 浦田喜久子編, 医学書院

参考図書

いのち・開発・NGO 子どもの健康が地球社会を変える，デイヴィッド・ワーナー、デイヴィッド・サンダース，新評論
スフィアハンドブック 人道憲章と人道支援における最低基準 第4版，Sphere Association，支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク
その他必要な資料は授業中に提示する

評価方法

最終レポート〔70%〕、授業中に取り組む課題〔30%〕を合計して評価する。
最終レポートのテーマおよび締め切り日など詳細については第1回授業内で示す。

フィードバック

質問に対し授業中に適宜回答する
課題発表・討議の場でフィードバックする

その他

1. 施設見学は、名古屋第二赤十字病院国際医療救援部やなごや地球ひろば（JICA中部）など2カ所を予定している
2. 施設見学にかかる交通費・昼食費などは自己負担となる
3. 本科目を受講する者は、第3セメスターで「国際救援看護論」を履修していることが望ましい
4. 第5セメスターで「国際救援看護論実習」の履修を希望する者は本科目を履修することが望ましい
5. 看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する

国際救援と英語	2年 前期	1単位 (15時間)	選択
担当: 森 久子・鈴木 寿摩			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

将来国際救援活動の中で活躍することを視野に、自分の意見や意思をあらゆる国々の人々に伝えることの出来る英語能力を身につけることを目指す。異文化、国際事情を理解した上で、医療の現場で使う基本的な語彙や表現を更に学び、実践の場で駆使できる英語力の習得を目的とする。

【到達目標】

国際救援において臆することなく自分の持つ英語力の範囲内でコミュニケーションを取ることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	Orientation + Red Cross activities	森・鈴木
2	Global Issues Towards Peace	森・鈴木
3	Disasters in Japan	森・鈴木
4	Education & Gender	森・鈴木
5	Marriage in poor countries	森・鈴木
6	Refugees	森・鈴木
7	Importance of empathy	森・鈴木
8	LGBTQ	森・鈴木

授業方法

講義

時間外学習

予習：毎回与えられるテーマについてパートナーと英語で会話ができるように準備をする。(30分)

復習：新しく学んだ語彙や表現を復習する。(適宜)

その他：授業で取り上げたテーマを各自インターネットなどを通しより深く理解する。(適宜)

教科書

毎回の授業で資料を配布する。

参考図書

なし

評価方法

期末テストの成績のみでなく、受講態度を含めた学習意欲から総合的に評価する。学習意欲の欠如は減点となる。

- 期末テスト：60%

- 受講態度：40%

フィードバック

授業中に提示した課題や授業に関する質問についてのフィードバックは、授業内もしくはその後の授業の中で行う。

その他

なし

公衆衛生看護学概論	2年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 長谷川 喜代美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

公衆衛生看護の概念、公衆衛生看護の活動目標および活動の特徴を理解する。

【到達目標】

1. 公衆衛生看護の概念を説明できる。
2. 公衆衛生看護の活動目標を説明できる。
3. 公衆衛生看護の活動基盤となるヘルスプロモーションの概念を説明できる。
4. 公衆衛生看護の歴史における重要な出来事を説明できる。
5. 公衆衛生看護活動の特徴を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	公衆衛生看護の概念、公衆衛生看護の定義	長谷川 喜代美
2	公衆衛生看護の活動目標	長谷川 喜代美
3	公衆衛生看護の活動基盤となるヘルスプロモーションの概念	長谷川 喜代美
4	公衆衛生看護の歴史	長谷川 喜代美
5	公衆衛生看護活動の場別にみた活動の特徴 行政機関	長谷川 喜代美
6	公衆衛生看護活動の場別にみた活動の特徴 事業所、学校など	長谷川 喜代美
7	公衆衛生看護活動の展開過程および活動手段の概要	長谷川 喜代美
8	公衆衛生看護活動の根拠となる主な法律	長谷川 喜代美

授業方法

すべて講義

時間外学習

予習：次の授業に該当する教科書の内容を読み、概要を理解する。(30分程度)
復習：授業内容で理解できなかった部分を見直し理解を深める。(30分程度)

教科書

「最新公衆衛生看護学 総論」, 第3版, 宮崎美砂子他編, 日本看護協会出版会, N40/Mi88/3rd, 9784818021587

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

受講態度(20%)、試験(80%)を合計して評価する。

フィードバック

授業終了後にコメントを書いてもらい、次回授業でフィードバックする。

その他

保健師としての勤務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

公衆衛生看護学概論	2年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 長谷川 喜代美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

公衆衛生看護活動の展開方法ならびに公衆衛生看護で用いる技術を理解する。

【到達目標】

1. 公衆衛生看護活動の対象を説明できる。
2. 公衆衛生看護活動の展開方法を説明できる。
3. 公衆衛生看護活動において用いる技術を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	公衆衛生看護活動の対象	長谷川 喜代美
2	公衆衛生看護活動の展開過程	長谷川 喜代美
3	公衆衛生看護活動の展開方法 受け持ち地区(地域)の診断	長谷川 喜代美
4	公衆衛生看護活動の展開方法 活動計画の立案・実施	長谷川 喜代美
5	公衆衛生看護活動の展開方法 活動の評価・改善	長谷川 喜代美
6	公衆衛生看護活動方法の特質	長谷川 喜代美
7	公衆衛生看護活動で用いる技術 保健指導	長谷川 喜代美
8	公衆衛生看護活動で用いる技術 訪問指導(家庭訪問)	長谷川 喜代美

授業方法

すべて講義

時間外学習

予習：次の授業に該当する教科書の内容を読み、概要を理解する。(30分程度)
 復習：授業内容で理解できなかった部分を見直し理解を深める。(30分程度)

教科書

「最新公衆衛生看護学 総論」, 第3版, 宮崎美砂子他編, 日本看護協会出版会, N40/Mi88/3rd, 9784818021587

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

受講態度(20%)、試験(80%)を合計して評価する。

フィードバック

授業終了後にコメントを書いてもらい、次回授業でフィードバックする。

その他

保健師としての勤務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

健康教育方法論	2年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 清水 美代子・廣田 直美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

人々の疾病予防、健康の保持増進に必要な知識を習得し、行動変容を促す健康教育の理論と方法を学習する。また、対象が持つ健康課題と支援の必要性を理解し、健康教育における教育技術と展開過程を学習する。

【到達目標】

1. 健康教育で活用される理論、方法が説明できる。
2. 健康教育の企画から準備、実施、評価にいたる一連の展開過程が説明できる。
3. 健康教育における教育技術と特徴が説明できる。
4. 指導案を作成できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	健康教育の目的・目標、対象と対象規模に応じた場の設定	清水 美代子
2	保健行動理論・モデル；ヘルスブリーフモデル、変化ステージ理論	清水 美代子
3	保健行動・健康行動を生み出す力；ヘルスリテラシー、自己効力感	清水 美代子
4	教育媒体(教材)の種類と特徴	廣田 直美
5	健康教育の展開過程	清水 美代子
6	対象者把握・指導案の作成	清水 美代子
7	健康教育の方法と特徴	清水 美代子
8	指導案の発表と評価	清水・廣田

授業方法

第1～第7回：講義 第8回：発表、討議

時間外学習

予習：各回の教科書の指定ページを読み、概要を理解する。(30分)
 復習：授業の中で理解できなかった部分について調べる。(30分)
 その他：演習課題の作成に取り組む。(1時間)

教科書

「公衆衛生看護技術」(標準保健師講座2)，第4版，中村裕美子著者代表，医学書院，N40/H99/2，9784260038706

参考図書

「行動変容のための健康教育パワーアップガイド：効果を高める32のヒント」，松本千明著，医歯薬出版，498.3/Ma81，9784263235485
 「医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎：生活習慣病を中心に」，松本千明著，医歯薬出版，498.3/Ma81，9784263233375
 「ヘルスリテラシー：健康教育の新しいキーワード」，福田洋、江口泰正編著，大修館書店，498.07/F74，9784469267952
 「健康教育論」(最新保健学講座別巻1)，第2版，宮坂忠夫、川田智恵子、吉田亨編著，メヂカルフレンド社，N40/Sa22/S1，9784839221782
 「保健師業務要覧」，第4版，編集：井伊久美子、勝又浜子、森永裕美子、荒木田美香子、坂本真理子、村嶋幸代，日本看護協会出版会，N40/N71/4th，9784818022164
 その他、適宜紹介する。

評価方法

筆記試験〔50%〕ミニテスト〔10%〕、演習課題〔30%〕、受講態度(参加・貢献度)〔10%〕から総合的に評価する。

フィードバック

授業の振り返りのミニテストや作成した指導案を返却し、評価・解説を行う。

その他

保健師としての実務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

健康教育方法論	2年 後期	1単位 (30時間)	選択
担当: 清水 美代子・廣田 直美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

公衆衛生看護活動として保健師が行う健康教育の方法を学習する。地域診断で得られた健康課題解決に向けた健康教育を立案・実施することで、健康教育に必要な基礎的技術を習得する。

【到達目標】

1. 地域の健康課題解決に向けた健康教育が立案できる。
2. 健康教育の指導案及び教育媒体が作成できる。
3. 健康教育の実施ができる。
4. 実施した健康教育を評価できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	健康教育の具体的展開方法(1): 健康教育方法の復習	清水 美代子
2	健康教育の具体的展開方法(2): 指導案の具体例	清水 美代子
3	演習: 健康教育の企画(目的・目標の設定)	清水 美代子
4	演習: 健康教育の企画(実施方法の選定)	清水 美代子
5	演習: 健康教育の企画(指導案の作成)	清水 美代子
6	演習: 健康教育の企画(教育媒体の作成)	清水 美代子
7	演習: 健康教育の実施準備	清水 美代子
8	演習: 健康教育の実施	清水・廣田
9	演習: 健康教育の評価(指導案、教育媒体の見直し)	清水・廣田
10	演習: 健康教育の再実施準備	清水・廣田
11	演習: 健康教育の再実施	清水・廣田
12	演習: 健康教育の再実施	清水・廣田
13	演習: 健康教育の再評価	清水・廣田
14	演習: 健康教育の再評価	清水・廣田
15	演習のまとめ	清水 美代子

授業方法

講義、演習

第1回、第2回: 講義 第3回~第14回: 演習、発表 第15回: 講義、討論

時間外学習

授業への参加準備をする。(適宜)

教育媒体の作成や指導案作成のための準備をする。(各1時間程度)

教科書

「公衆衛生看護技術」(標準保健師講座2), 第4版, 中村裕美子著者代表, 医学書院, N40/H99/2, 9784260038706

参考図書

「健康教育論」(最新保健学講座別巻1), 第2版, 宮坂忠夫、川田智恵子、吉田亨編著, メヂカルフレンド社, N40/Sa22/S1, 9784839221782

「公衆衛生看護活動論: 技術演習」, 第3版, 岩本里織、北村眞弓、標美奈子、草野恵美子編集, クオリティケア, N40/I94/3rd, 9784904363676

「保健医療職のための伝える技術伝わる技術」, Philip Burnard著、永野ひろ子監訳, 医学書院, 498.14/B93, 9784260334082

「保健師業務要覧」, 第4版, 編集: 井伊久美子、勝又浜子、森永裕美子、荒木田美香子、坂本真理子、村嶋幸代, 日本看護協会出版会, N40/N71/4th, 9784818022164

その他、適宜紹介する。

評価方法

レポート(60%)、演習課題(30%)、受講態度(参加・貢献度)(10%)から総合的に評価する。

フィードバック

指導案の作成や健康教育のデモンストレーション、実施後の評価など、随時助言・説明を行う。

その他

保健師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

産業看護論	2年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 清水 美代子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

産業保健・産業看護の意義とシステム及び産業看護職の役割について理解し、産業看護活動の展開に必要な知識を学習する。

【到達目標】

1. 労働安全衛生に関する法律と労働衛生管理体制について説明できる。
2. 労働環境や社会背景との関連から労働者の健康課題について説明できる。
3. 産業看護職の役割と産業看護活動の展開方法について説明できる。
4. 職場巡視や環境測定の意味と方法について説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	産業保健の役割と意義 産業保健の動向	清水 美代子
2	変化する社会における労働と健康；ワーク・ライフ・バランス 雇用制度と健康、企業規模・業種と健康	清水 美代子
3	産業保健の制度とシステム	清水 美代子
4	産業保健における健康課題 ；職業性疾病と予防対策	清水 美代子
5	産業保健における健康課題 ；メンタルヘルスとその対策	清水 美代子
6	演習：環境測定と評価	清水 美代子
7	産業保健活動の展開；産業保健計画、健康診断、職場巡視	清水 美代子
8	産業保健・看護における課題；多様化する労働者への対応 地域職域連携、健康保険組合との連携	清水 美代子

授業方法

第1回～第5回、第7回、第8回：講義 第6回：演習

時間外学習

講義ごとに予習・復習をする。(各1時間程度)
時事のニュースや新聞記事に関心を持ち、授業内容と関連づける。(適宜)

教科書

- 「対象別公衆衛生看護活動」(標準保健師講座3)，第4版，松田正巳著者代表，医学書院，N40/H99/3，9784260031875
- 「国民衛生の動向 2021/2022」(雑誌「厚生指標」増刊)，厚生労働統計協会編集，厚生労働統計協会，雑誌・製本雑誌架，2021年8月刊行予定
- 「産業保健ハンドブック」，改訂19版，森晃爾編，労働調査会，N48/Sa63/19th，2021年9月刊行予定
- 「労働衛生のしおり 令和3年度」，中央労働災害防止協会編集，中央労働災害防止協会，498.8/R59/'21，2021年8月刊行予定

参考図書

- 「公衆衛生看護学概論」(標準保健師講座1)，第5版，標美奈子著者代表，医学書院，N40/H99/1，9784260035606
- 「公衆衛生看護活動：学校保健・産業保健」(公衆衛生看護学テキスト4)，2021年版，荒木田美香子責任編集，医歯薬出版，N40/Ko87/4，9784263237502
- 「産業看護学」(保健の実践科学シリーズ)，池田智子編著，講談社，N48/I32，9784061563179
- 「産業保健マニュアル」，改訂7版，森晃爾総編集，南山堂，N48/Sa63/7th，9784525184575
- 「産業看護学」，第2版，2020年版，河野啓子著，日本看護協会出版会，N48/Ko76/2nd，9784818022195

評価方法

筆記試験〔60%〕、ミニテスト〔10%〕、演習課題〔20%〕、受講態度(参加・貢献度)〔10%〕から総合的に評価する。

フィードバック

ミニテストの解説を行う。
課題返却時に補足説明および助言を行う。

その他

保健師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

学校看護論	2年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 長谷川 喜代美・廣田 直美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

学校保健、看護活動の意義とシステム、養護教諭の職務を理解するとともに、学校における児童生徒等の現代的な健康課題を把握し、発育・発達を保障した上での対応方法の基本を学習する。

【到達目標】

1. 学校保健の理念と目的が説明できる。
2. 養護教諭の役割、機能が説明できる。
3. 学校保健安全の制度とシステム、関連法規が説明できる。
4. 児童生徒等の健康課題を把握する方法を説明できる。
5. 学校保健の課題をあげ、対応の基本を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	学校保健の理念と目的、養護教諭の役割・機能、発達段階別健康課題	長谷川 喜代美 ・廣田 直美
2	学校保健安全システム : 関連法規、組織と人材、保健教育・保健管理、組織活動	廣田 直美
3	学校保健安全システム : 健康診断と事後措置、保健室の機能と運営、学校給食と食育	廣田 直美
4	学校保健安全システム : 環境管理と学校環境衛生基準、学校安全と危機管理、感染症	廣田 直美
5	学校保健の対象と健康課題 : 特別支援教育、医療的ケア	廣田 直美
6	学校保健の対象と健康課題 : 不登校、いじめ、虐待、自殺	廣田 直美
7	養護教諭の職務の実際 (外部講師依頼予定)	廣田 直美
8	学校保健の展開・まとめ: 演習 (水質測定、視力・聴力検査)、全体総括	長谷川 喜代美 ・廣田 直美

授業方法

第1回、第2回、第5回～第7回：講義
第3回、第4回：講義、演習

時間外学習

予習：教科書の指定ページを読み、概要を理解する (30分)。
復習：授業内容を教科書や配布資料を用いて振り返り、理解できなかった部分を調べる (30分)。
その他：授業内容に関連したレポート課題を振り返り、興味を持った項目を調べる (適宜)。

教科書

対象別公衆衛生看護活動 (標準保健師講座3) 第4版, 中谷芳美著者代表, 医学書院, N40/H99/3, 9784260031875
国民衛生の動向 2021/2022 (雑誌「厚生」の指標増刊), 厚生労働統計協会編集, 厚生労働統計協会, 雑誌・製本雑誌架, 2021年8月刊行予定

参考図書

最新公衆衛生看護学 総論 第3版，編集：宮崎美砂子・北山三津子・春山早苗・田村須賀子，日本看護協会出版会，N40/Mi88/3rd，9784818021587
公衆衛生看護活動2：学校保健・産業保健（公衆衛生看護学テキスト4），2021年版，荒木田美香子責任編集，医歯薬出版，N40/Ko87/4，9784263237502
学校保健実務必携 新訂版 第5次改訂版，学校保健・安全実務研究会編著，第一法規，N47/G16/5th，9784474068636
学校における養護活動の展開（養護教諭養成講座1）改訂6版，津島ひろ江編集代表，ふくろう出版，N47/Ts91/6th，9784861867514
養護教諭、看護師、保健師のための学校看護：学校環境と身体的支援を中心に 改訂第2版，岡田加奈子他著，東山書房，N47/O38/2nd，9784827815511
学校保健：チームとしての学校で取り組むヘルスプロモーション 新版，徳山美智子他編著，東山書房，N47/To45，9784827815702
学校保健の動向 令和2年度版，日本学校保健会 著，日本学校保健会，N47/N71 '20，9784903076249

評価方法

試験[70%]、レポート課題[20%]、受講態度[10%]を合計して評価する。

フィードバック

レポート課題の記述内容に関連した振り返り等を行う。

その他

担当教員は養護教諭の実務経験があり、専門知識をこの授業科目で教授する。
外部講師による授業日の調整に伴い、順序が変更の可能性はあるが、講義内容の変更はない。

地域診断論	2年 後期	4単位 (60時間)	選択
担当: 清水 美代子・廣田 直美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

公衆衛生看護活動の展開の基本である地域診断を学習する。地域の特性を把握・分析し、健康課題の抽出を行い、その解決にむけた事業計画の立案、実施、評価といった一連のプロセスを学習することで、保健師に必要な公衆衛生看護過程の基礎的技術を習得する。

【到達目標】

1. 公衆衛生看護活動の展開の基本が説明できる。
2. 地域の特性を把握・分析し、地域の健康課題を明らかにすることができる。
3. 地域診断の情報収集から健康課題抽出までのプロセスが実施できる。
4. 実施した地域診断演習の評価ができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	公衆衛生看護活動の展開の基本	清水 美代子
2	公衆衛生看護活動における地域診断の基盤となるモデル	清水 美代子
3	地域診断の進め方(目的・特徴)	清水 美代子
4	地域診断の進め方(対象範囲・必要性)	清水 美代子
5	地域診断の展開(情報収集:量的データ)	清水 美代子
6	地域診断の展開(情報収集:質的データ)	清水 美代子
7	地域診断の展開(分析・診断)	清水 美代子
8	地域診断の展開(健康課題の明確化、優先順位の検討)	清水 美代子
9	公衆衛生看護活動の計画・実践・評価 : 計画策定のプロセス、計画と評価	清水 美代子
10	公衆衛生看護活動の計画・実践・評価 : 予防医学のストラテジー、事業化と施策化	清水 美代子
11	演習: 地域診断演習の説明	清水・廣田
12	演習: 地域の概要、地域住民の健康に関する情報収集	清水・廣田
13	演習: 情報収集、地域のデータベース作成 : 人口統計、まちの歴史、経済	清水・廣田
14	演習: 情報収集、地域のデータベース作成 : 市町村の状況	清水・廣田
15	演習: 地区視診内容検討、地区視診	清水・廣田
16	演習: 地区視診	清水・廣田
17	演習: 地区視診のまとめ	清水・廣田
18	演習: 収集した情報の分析・アセスメント: 個人ワーク	清水・廣田
19	演習: グループによる情報の分析・アセスメント	清水・廣田
20	演習: グループによる情報の分析・アセスメント	清水・廣田
21	演習: 健康課題の抽出	清水・廣田
22	地域の健康課題と保健師活動の実際(外部講師予定)	清水・廣田
23	演習: 不足する情報の収集、分析とアセスメント	清水・廣田
24	演習: 健康課題の抽出、インタビューの準備	清水・廣田
25	演習: 住民へのインタビュー	清水・廣田
26	演習: インタビューのまとめ、健康課題の明確化	清水・廣田
27	演習: 発表準備(パワーポイント作成)	清水・廣田
28	演習: 発表準備(発表シナリオ作成)	清水・廣田
29	演習: 成果発表会	清水・廣田
30	評価とまとめ	清水・廣田

授業方法

第1回～第10回、第22回、第30回: 講義 第11回～第28回: 演習 第29回: 発表

時間外学習

講義ごとに予習・復習をする。(各1時間程度)
地域の自然環境や人々の生活に関心を持ち、演習課題に取り組む。(適宜)

教科書

「最新公衆衛生看護学 総論」, 第3版, 宮崎美砂子(ほか)編, 日本看護協会出版会, N40/Mi88/3rd, 9784818021587
「地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド」, 第2版, 佐伯和子著, 医歯薬出版, N40/Sa14/2nd, 9784263237106
「国民衛生の動向 2021/2022」(雑誌「厚生指標」増刊), 厚生労働統計協会編集, 厚生労働統計協会, 雑誌・製本雑誌架, 2021年8月刊行予定

参考図書

「コミュニティアズパートナー: 地域看護学の理論と実際」第2版, エリザベスT. アンダーソン他著 金川克子他監訳, 医学書院, N40/A46/2nd, 9784260003261
「保健師業務要覧」, 第4版, 井伊久美子(ほか)編, 日本看護協会出版会, N40/N71/4th, 9784818022164
「公衆衛生看護技術」(公衆衛生看護学テキスト2), 佐伯和子責任編集, 医歯薬出版, N40/Ko87/2, 9784263231142
「公衆衛生看護学」, 第2版, 上野昌江、和泉京子編著, 中央法規出版, N40/Ko87/2nd, 9784805854624
「地域看護診断」, 第2版, 金川克子、田高京子編著, 東京大学出版会, N40/Ka43/2nd, 9784130624084
「PDCAの展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動」, 第2版, 守田孝恵編著, クオリティケア, N40/Mo66/2nd, 9784904363744

評価方法

筆記試験〔50%〕、ミニテスト〔10%〕、演習課題(個人ワーク・グループワーク)〔各15%、計30%〕、受講態度(参加・貢献度)〔10%〕から総合的に評価する。

フィードバック

ミニテストの解説を行う。
課題返却時に補足説明および助言を行う。
演習は適宜振り返りを行う。

その他

保健師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

上級英語	3年 前期	1単位 (30時間)	選択
担当: Steeve Plante			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

This is a conversational English course designed to improve students communicative abilities in a nursing / healthcare setting by building on knowledge gained in 1st and 2nd year English courses . Students are expected to actively participate in lessons through involvement in pair work and contribution to group and / or class discussions . This course is conducted entirely in English.

【到達目標】

- 1 . Develop speaking and listening skills.
- 2 . Gain vocabulary across a variety of nursing based topics.
- 3 . Become comfortable in conversations on familiar topics.
- 4 . Develop general communication skills for use in English interactions in both personal and professional lives.

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	First Class Introductions / Explanation	Steeve Plante
2	Conversation topics:family Admission / Reception:Taking patient information Asking about symptoms	Steeve Plante
3	Conversation topics:food Injuries 1:Talking about the body	Steeve Plante
4	Conversation topics:hobbies Injuries 2:Assessing Injuries	Steeve Plante
5	Conversation topics: university life Illnesses / Symptoms 1:Expressing symptoms	Steeve Plante
6	Conversation topics: sport Illnesses / Symptoms 2:Talking about illnesses	Steeve Plante
7	Conversation topics: movies / music Pain:Assessing pain Talking about kinds of pain	Steeve Plante
8	Conversation topics: vacations Hospital Departments:Explaining hospital departments Choosing the right department	Steeve Plante
9	Conversation topics:shopping Giving Directions 1:Helping patient's find their way	Steeve Plante
10	Conversation topics: cooking Giving Directions 2:Giving directions within a hospital	Steeve Plante
11	Conversation topics:the weather / seasons Giving Instructions 1:Giving instructions to patients	Steeve Plante
12	Conversation topics: jobs Giving Instructions 2:Making instructions polite	Steeve Plante
13	Conversation topics: the future Medical Equipment 1:Talking about medical equipment	Steeve Plante
14	Conversation topics:money Medical Equipment 2:Completing a checklist	Steeve Plante
15	Conversation topics:nursing / study Review Lesson	Steeve Plante

授業方法

Lecture

時間外学習

予習 : Preview the vocabulary for future lessons. (30 minutes)
復習 : Review the previous lesson's vocabulary and prepare conversation questions for the next week. (30 minutes)
その他 : Nothing.

教科書

「English Skills for Nursing」, Chris Donaldson , Language Point , 837.8/D85 , 9784990622459

参考図書

Nothing.

評価方法

Class Participation and attendance : 20%
Weekly conversation sheets : 20%
Final test (listening and written) : 60%

フィードバック

Each week, students will be given feedback about their conversation sheets in class.
Overall feedback will be given in the final class.

その他

Students are required to bring a dictionary to every lesson.

情報処理	3年 前期	1単位 (15時間)	選択
担当: 森田 一三・高見 精一郎			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

現代社会ではパソコンの基本的な扱いができることが常識となっており、操作ができない場合には、学校保健で求められる、情報収集・情報処理・報告書の作成に支障をきたす恐れがあるだけではなく、様々な活動にも制限が生じる。ここでは、養護教諭免許を申請する者を対象として、学校保健に必要な情報処理技術について取り上げる。

【到達目標】

1. 地域の健康に関するデータをインターネットから入手できる。
2. 学校保健に関するデータをインターネットから入手できる。
3. 入手したデータを分析できる。
4. 分析結果をレポートにまとめることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス、インターネットからの疫学データの入手方法	森田・高見
2	先行研究の検索方法	森田・高見
3	統計手法の選択	森田・高見
4	仮説の立て方	森田・高見
5	データクリーニング	森田・高見
6	SPSSによる分析	森田・高見
7	分析結果の解釈と結果の書き方	森田・高見
8	報告書の作成	森田・高見

授業方法

講義、演習

時間外学習

予習：ワードとエクセルの説明書などを自己学習する。(30分)
 復習：学んだ技術をレポート作成等の際に活かす。(30分)
 その他：パソコンの操作も他の科目と同様、積み重ねである。
 できないことを残さないようにする。(適宜)

教科書

なし。適宜プリントを配布する。

参考図書

「衛生学・公衆衛生学実習」, 松久保隆、中垣晴男、山中すみへ編, 医歯薬出版
 , 498.07/Ma79, 9784263455722

評価方法

成績評価は、受講態度(参加・貢献度)〔40%〕、課題の提出〔60%〕を合計して算出される。

フィードバック

課題を実施しながら具体的な手順を解説する。

その他

講義で使用するワードおよびエクセルは2016とする。
 データを保存するためのUSBメモリ(空き容量は1GB程度あれば充分)を持参すること。
 情報処理の実務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

疫学	3年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 森田 一三			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

疫学は、人間集団における疾病や健康関連の事象の頻度と分布、および、それらに影響する要因を明らかにし、健康関連の諸問題に対して有効な対策を立てることをめざす科学である。

疫学Iでは、主要な疾患に関する疫学、統計データについて学ぶ。

【到達目標】

1. 国が収集している疫学情報について説明できる。
2. 日本人における疾患の罹患状況を説明できる。
3. 諸外国と日本の疾患の罹患状況の違いを説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	講義ガイダンス、歯科疾患の疫学	森田 一三
2	母性関連疾患の疫学、小児疾患の疫学/学校保健の疫学	森田 一三
3	がんの疫学、心血管疾患の疫学・脳血管疾患の疫学	森田 一三
4	糖尿病の疫学、重要疾患の疫学、難病の疫学	森田 一三
5	精神疾患の疫学、感染症の疫学	森田 一三
6	骨、関節疾患の疫学、生活習慣の疫学	森田 一三
7	事故の疫学、産業保健の疫学	森田 一三
8	まとめ	森田 一三

授業方法

講義

時間外学習

予習：講義内容に関連する疾患や健康情報について新聞記事やニュースから情報を得ておく。(60分)

復習：授業内容で理解できなかった部分について書籍やウェブ、国民衛生の動向などで調べ、理解を深める。(30分)

その他：疫学や公衆衛生に関する新聞やニュースなどの記事に、常に興味を持つこと。

教科書

「疫学・保健統計学」(標準保健師講座,別巻2),第3版,牧本清子著者代表,医学書院, N40/H99/S2, 9784260019989

参考図書

「国民衛生の動向 2020/2021」(雑誌「厚生指標」増刊),厚生労働統計協会編集,厚生労働統計協会,雑誌・製本雑誌架
その他、授業中に適宜紹介する。

評価方法

成績評価は、試験〔60%〕、課題の提出〔30%〕、受講態度(参加・貢献度)〔10%〕を合計して算出されます。

フィードバック

講義中にプリントを配布しながら行う。

その他

地域保健の実務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

疫学	3年 前期	1単位 (30時間)	選択
担当: 森田 一三			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

疫学は、人間集団における疾病や健康関連の事象の頻度と分布、および、それらに影響する要因を明らかにし、健康関連の諸問題に対して有効な対策を立てることをめざす科学である。

疫学では、保健師に求められる疫学の方法論と、疫学に基づく社会的取り組みについて学ぶ。

【到達目標】

1. 疫学の歴史について説明できる。
2. 疾病や健康事象の評価の必要性を説明できる。
3. 疾病や健康事象の評価を行うことができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	授業ガイダンス・疫学の考え方	森田 一三
2	疫学の歴史	森田 一三
3	有病率と罹患率	森田 一三
4	死亡率とその比較	森田 一三
5	致命率とその他の指標	森田 一三
6	曝露効果の指標	森田 一三
7	疫学研究法	森田 一三
8	因果関係	森田 一三
9	エビデンスのレベル	森田 一三
10	信頼性と妥当性	森田 一三
11	スクリーニング	森田 一三
12	調査票の作成、倫理指針	森田 一三
13	アウトブレイク時の疫学調査	森田 一三
14	社会疫学・政策疫学	森田 一三
15	まとめ	森田 一三

授業方法

講義、演習

時間外学習

予習：教科書の該当部分を読み、概要を理解する。(30分)

復習：授業で理解ができなかったことや関連する内容を復習する。(30分)

その他：疫学や公衆衛生に関する新聞やニュースなどの記事に、常に興味を持つこと。
(適宜)

教科書

「疫学・保健統計学」(標準保健師講座,別巻2),第3版,牧本清子著者代表,医学書院, N40/H99/S2 , 9784260019989

参考図書

その他、授業中に適宜紹介する。

評価方法

成績評価は、試験〔60%〕、課題の提出〔20%〕、受講態度(参加・貢献度)〔20%〕を合計して算出されます。

フィードバック

講義中に随時練習問題を行い、その都度解説を行う。

その他

保健師国家試験受験には必修科目である。
地域保健の実務経験を持つ教員が、専門知識を本科目で教授する。

看護倫理学	3年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 山田 聡子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護実践における倫理の重要性を理解し、看護専門職者として倫理的な問題に取り組む基盤を培う。

【到達目標】

1. 看護倫理の意味と必要性が理解できる。
2. 看護倫理の歴史的変遷が理解できる。
3. 看護倫理の基盤となる概念が理解できる。
4. 看護実践における倫理的問題に取り組む方法が理解できる。
5. 看護研究における倫理が理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス 看護倫理の意味と必要性 徳の倫理、原則の倫理	山田 聡子
2	看護倫理の歴史的変遷 看護者の倫理綱領	山田 聡子
3	看護倫理の基盤となる概念 : 尊厳、アドボカシー	山田 聡子
4	看護倫理の基盤となる概念 : インフォームドコンセント、守秘義務とプライバシー	山田 聡子
5	倫理的問題の分析方法と意思決定モデル	山田 聡子
6	倫理的問題の検討 4ステップモデル(ワーク)	山田 聡子
7	倫理的問題の検討 臨床倫理4分割法(ワーク)	山田 聡子
8	看護職の責任 まとめ	山田 聡子

授業方法

第1～3回遠隔授業(オンデマンド配信)

第4・5・8回: 講義・討議

第6・7回: 遠隔授業(オンデマンド配信・個人ワーク)

時間外学習

予習: 教科書の該当箇所や関連文献を読み、授業に備える。(90分)

復習: 講義後速やかに復習し、要点の確認と不明点の理解に努めること。(90分)

その他: 関連文献を検索することで視野を拡げ、自身の考えを深めること。

教科書

「看護倫理 : よい看護・よい看護師への道しるべ」(看護学テキストnice), 改訂第3版, 小西恵美子編, 南江堂, N01.1/Ko75/2nd, 9784524264124

参考図書

適宜紹介する

評価方法

レポート(50%)、ワーク課題(20%)、ミニテスト(30%)を合計して算出する。

レポート・ワーク課題は第1回講義時に説明する。

ミニテストはFormsで行う。

フィードバック

1. ミニテスト結果に基づく補足説明を行う。
2. 提出されたレポートにコメントを記入し学生に返却する。
3. 遠隔授業(オンデマンド配信)の出欠確認は、講義後のミニテスト回答・Forms入力にて確認する。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。
遠隔授業等に関する相談や質問は山田宛にメールをすること。メールアドレスは、s-yamada@rctoyota.ac.jp です。

成人機能回復援助論	3年 前期	1単位 (15時間)	選択
担当: 栩川 綾子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

病気や障害により自分らしく生きることが困難になった人へのケアを実践するために、様々な病気や障害を抱える人々とその援助に関する理論、社会背景とシステム、機能を回復していくための看護援助、看護師の役割について理解する。

【到達目標】

1. 機能回復のための援助に必要な理論や概念について述べることができる。
2. 病気や障害を持つ対象の特徴と看護援助について述べるができる。
3. 障害に応じた機能回復のための援助について理解できる。
4. チームアプローチと、チームの一員としての看護師の役割について述べるができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	リハビリテーションに関する諸理論	栩川 綾子
2	呼吸リハビリテーション	栩川 綾子
3	心臓リハビリテーション	栩川 綾子
4	運動機能障害に対する援助	栩川 綾子
5	栄養・摂食嚥下機能障害に対する援助	栩川 綾子
6	排泄機能障害に対する援助	栩川 綾子
7	高次機能障害・失語症に対する援助	栩川 綾子
8	地域におけるリハビリテーション	栩川 綾子

授業方法

第1回～第8回：講義

時間外学習

予習：教科書（授業内容に該当する範囲）を読んでから授業に臨む。（30分）
 復習：授業後は配布した資料を読み直し復習に努める。（30分）
 その他：授業に参加して興味や関心があった内容について、各自で調べて学習を深める。
 （適宜）

教科書

「リハビリテーション看護」（ナーシング・グラフィカ,成人看護学5）,第3版,奥宮暁子,金城利雄,石川ふみよ編,メディカ出版,N08/N99/5,9784840453776

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

参加態度・討論参加度40%、課題レポート60%

フィードバック

授業中に提示した課題や授業に関する質問等についてのフィードバックは、授業内もしくはその後の授業の中で行う。

その他

本講義は選択科目である。関心のある者の受講を求める。
 看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

緩和・ターミナルケア援助論	3年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 石黒 千映子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

緩和ケアおよびターミナルケアを行う上で必要とされる、看護学・医学・薬学・心理学・社会学等に基づく諸理論について理解を深め、緩和ケアを必要とする患者ならびに終末期にある患者とその家族への看護援助について探求する。

【到達目標】

1. 終末期にある患者・家族の特徴と看護援助について説明できる。
2. 終末期にみられる症状とそのマネジメントについて説明できる。
3. 終末期にある患者を支えるチームや専門家による活動について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	緩和ケア・ターミナルケアとは ターミナル期にある人とその家族の特徴	石黒 千映子
2	ターミナル期にある人とその家族への看護援助	石黒 千映子
3	緩和・ターミナルケアに必要なアセスメント	石黒 千映子
4	緩和ケア(1) 痛みへのケア	石黒 千映子
5	緩和ケア(2) 痛み以外の症状へのケア：身体症状	石黒 千映子
6	緩和ケア(3) 痛み以外の症状へのケア：精神症状	石黒 千映子
7	緩和・ターミナルケア(1)：コミュニケーション、心理的支援	石黒 千映子
8	緩和・ターミナルケア(2)：家族および遺族へのケア	石黒 千映子

授業方法

講義：第1回～第8回

時間外学習

予習：教科書（授業内容に該当する範囲）を読んでから授業に臨む。（30分）
 復習：授業後は配布した資料を読み直し復習に努める。（30分）
 その他：授業に参加して興味や関心がわいた内容について、各自で調べてさらに知見を深める。（適宜）

教科書

「緩和・ターミナルケア看護論」（成人看護学），第2版，鈴木志津枝，内布敦子編，ヌーヴエルヒロカワ，N01.3/Su96/2nd，9784861740442
 「がん看護学」（系統別看護学講座，別巻），第2版，小松浩子著者代表，医学書院，N08/Ke28/2nd，9784260027632
 (2)は、第4セメスター次開講「成人慢性期看護論」で購入した教科書を使用する。

参考図書

適宜紹介する

評価方法

定期試験〔90%〕、受講態度（参加態度、貢献度）〔10%〕により、総合的に評価する。なお、定期試験を100点満点とした場合に60点以上の評価を得ることが必要である。欠席および遅刻、早退は減点する。

フィードバック

授業中に提示した課題や授業に関する質問等についてのフィードバックは、授業内もしくはその後の授業の中で行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

感染予防看護論	3年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 東野 督子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

人間の免疫及び感染機構を理解し、予防的な視点で看護ケアを考えるとともに、患者の看護及び自分自身を含む医療従事者の安全を守るために必要とされる知識を学ぶ。そして、感染予防の観点から看護者の果たす役割を考える。

【到達目標】

1. 感染成立の3要素と予防法が理解できる。
2. 感染伝播の観点から看護者の役割と職業暴露の観点での予防法を理解できる。
3. 日本における感染症対策の動向を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	感染予防の歴史と看護	東野 督子
2	感染成立の要因と対策：感染予防機構、標準予防策、経路別予防策	東野 督子
3	日本における感染症対策：結核、性感染症	東野 督子
4	医療施設の感染予防対策（1）：手術室の対策	東野 督子
5	医療施設の感染予防対策（2）：手術前検査と針刺し事故防止	東野 督子
6	治療関連感染防止（1）：手術部位感染、人工呼吸器関連肺炎	東野 督子
7	治療関連感染防止（2）：易感染患者（白血病・移植）	東野 督子
8	日常の感染症：食中毒	東野 督子

授業方法

講義：第1回～第8回

時間外学習

予習：授業前には教科書を読んでおく。概要を理解しておく。（30分）
 復習：授業後には配布資料、教科書を読み直し、復習に努めること。（30分）
 その他：各自必要に応じて行うこと。

教科書

「基礎から学ぶ医療関連感染対策：標準予防策からサーベイランスまで」,改訂第3版
 , 坂本史衣著 , 南江堂 , N74.2/Sa32/3rd , 9784524237586

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

成績評価は筆記試験〔100%〕で算出する。

フィードバック

学修内容のフィードバックは授業の時間内に実施する。授業に関する質問および評価、意見については、次回の授業開始時に回答・補足説明を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

感染予防看護演習	3年 前期	1単位 (15時間)	選択
担当: 東野 督子・田口 栄子・河村 諒			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

人体及び環境には、様々な細菌が存在し、人と共存し、有益な役割を持っているが、時として感染を引き起こす。本演習では、人体及び環境から細菌を検出し、微生物の存在を実感するとともに、手洗い・手指消毒方法による細菌の検出の変化を確認し、看護における効果的な感染予防法の実際を考える。

【到達目標】

1. 人体及び環境から細菌を検出し、目視で見られない微生物を実感する。
2. 一過性細菌を除去するための効果的な手洗い方法・手指消毒方法を考える。
3. 療養環境の病原微生物汚染を広げない方法を考える。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	オリエンテーション、微生物の形態観察の方法	東野 督子
2	効果的な消毒と滅菌方法	東野 督子
3	一過性細菌を除去するための効果的な手洗い方法の検討 (1) : 生体中の微生物	東野 督子
4	一過性細菌を除去するための効果的な手洗い方法の検討 (2) : 手指消毒の効果の比較	東野 督子
5	グループワーク	東野 督子
6	療養環境の汚染を伝播させない防護具の扱い(1) : 手術室の手洗い、手術室の手袋	田口・東野
7	療養環境の汚染を伝播させない防護具の扱い(2) : 手術室のガウン	河村・東野
8	発表・まとめ	東野 督子

授業方法

演習：第1回～第8回

時間外学習

予習：授業前には教科書を読んでおく。概要を理解しておく。(30分)

復習：授業後には配布資料、教科書を読み直し、復習に努めること。(30分)

その他：各自必要に応じて行うこと。

教科書

「基礎から学ぶ医療関連感染対策：標準予防策からサーベイランスまで」,改訂第3版
，坂本史衣著 ，南江堂，N74.2/Sa32/3rd，9784524237586

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

成績評価はレポート〔50%〕、参加度〔50%〕を合算して算出する。

フィードバック

学修内容のフィードバックは授業の時間内に実施する。授業に関する質問および評価、意見については、次回の授業開始時に回答・補足説明を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

成人看護方法論	3年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 石黒 千映子・棚川 綾子・田口 栄子・河村 諒・東野 督子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

健康障害（呼吸・循環・栄養代謝）を持つ成人に必要な看護技術を学習する。

【到達目標】

シミュレーターを用いて原理原則を踏まえた看護援助を実施できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	呼吸を整える看護技術：気管吸引・呼吸理学療法	石黒・棚川 田口・河村 東野
2	呼吸を整える看護技術：気管吸引・呼吸理学療法	石黒・棚川 田口・河村 東野
3	栄養代謝を整える看護技術：インスリン注射・血糖測定	石黒・棚川 田口・河村 東野
4	栄養代謝を整える看護技術：インスリン注射・血糖測定	石黒・棚川 田口・河村 東野
5	呼吸・循環・栄養代謝機能障害患者の看護：術後看護技術・総合シミュレーション	石黒・棚川 田口・河村 東野
6	呼吸・循環・栄養代謝機能障害患者の看護：術後看護技術・総合シミュレーション	石黒・棚川 田口・河村 東野
7	呼吸・循環機能不全時の看護技術：救急蘇生・チーム医療	石黒・棚川 田口・河村 東野
8	呼吸・循環機能不全時の看護技術：救急蘇生・チーム医療	石黒・棚川 田口・河村 東野

授業方法

演習：第1～第8回

時間外学習

予習：教科書をよく読んでおくこと。授業前までに技術演習の課題を行うこと。

(1時間)

復習：授業後には配布した資料を読み直し復習に努めること。(1時間)

その他：課題は指定の日時までに行うこと。

教科書

「臨床看護技術」(看護がみえるVol.2), 医療情報科学研究所編, メディックメディア, N10.12/167/2, 基礎看護技術 で購入済, 9784896327342

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

提出課題(60%)、参加状況(40%)により、総合的に評価する。

フィードバック

実技については、演習時間内にフィードバックを行う。

提出された課題については、記載した内容を確認して返却する。

その他

臨床場面を想定した演習のほか、グループ内で看護師役や患者役などの役割演技を交替しながら演習を行う。
事前・事後学習、自己学習を十分に行ったうえで授業に臨む。
看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

成人看護学実習	3～4年 後期～前期	2単位 (90時間)	必修
担当: 棚川 綾子・東野 督子・石黒 千映子・田口 栄子・河村 諒			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

急性期および慢性病の治療の場で行われる看護実践を知り、手術室・ICUおよび緩和ケア・化学療法・透析室等における看護の機能と役割を理解する。

【到達目標】

1. 手術室・ICUおよび緩和ケア・化学療法・透析室等で医療を受ける患者の特徴を説明できる。
2. 手術室・ICUおよび緩和ケア・化学療法・透析室等における治療および看護の特徴を説明できる。
3. 手術室・ICUおよび緩和ケア・化学療法・透析室等内での看護援助の実際および看護師の役割について説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1週は、急性期の治療に関連する部門、1週は、慢性病の治療に関連する部門で実習を行う。各専門部門・部署にてオリエンテーションを受けたのち、見学を中心とした実習を行う。5日目に学んだ内容をまとめ、学生間で共有する。 2. 急性期の治療に関する部門：手術室・ICU・入院支援部門 <ol style="list-style-type: none"> (1) 手術療法およびクリティカルケアを受ける患者の状態を知る。 (2) 手術室およびICUにおける看護師の役割、看護の特殊性を理解する。 (3) 手術室における患者および医療従事者の無菌対策について学ぶ。 (4) 入院支援における現状を知り、支援を受ける患者と家族に対する看護師の役割について学ぶ。 (5) 入院から退院まで一貫して支援することの目的を理解する。 3. 慢性病の治療に関連する部門：緩和ケアセンター・外来化学療法センター・透析室・初療室等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 緩和医療、化学療法、透析医療、初期診療等の実際について理解する。 (2) 緩和医療、化学療法、透析医療、初期診療等を受ける患者・家族と接し、患者・家族の体験や思いについて理解を深める。 (3) (2)を踏まえて、患者・家族が抱えている問題について考える。 (4) 患者および家族を継続的に支えるための、看護師同士および多職種との連携について理解する。 (5) 医療を受ける場や健康レベルの変化にかかわらず、患者および家族を継続的に支える看護の役割について考える。 4. 実習施設：名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、豊田厚生病院 	東野・石黒 棚川・田口 河村

授業方法

学内実習：第1日
施設実習：第2～第4日
施設実習もしくは学内実習：第5日

時間外学習

予習：実習を行う部門の構造と機能の特徴および疾患や治療等について事前学習を充実させておくこと。(1時間)
復習：実習した内容を振り返り、わからなかった部分について文献等により調べる。(30分)
その他：各自必要に応じて行う。

教科書

成人看護学の授業で使用した教科書

参考図書
適宜紹介する。

評価方法
実習目標に照らし合わせた評価表での評価〔80%〕、実習参加度〔10%〕、実習レポートもしくは発表資料〔10%〕で評価する。

フィードバック
日々の行動計画表、実習記録、カンファレンスにおいてフィードバックを行う。

その他
実習計画を記載し臨地実習指導者及び教員の助言を得て実習する。
看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

成人看護学実習	3～4年 後期～前期	2単位 (90時間)	必修
担当: 石黒 千映子・東野 督子・棚川 綾子・田口 栄子・河村 諒			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

成人期にある人の健康問題を理解し、患者およびその家族に対して健康の各段階に応じた看護を実践するために必要な能力を育成する。慢性病をもつ患者の健康問題を把握し、その問題解決を図るために、患者および家族に必要な看護を実践できる能力を育成する。

【到達目標】

1. 慢性病をもつ患者及び家族の健康問題を理解し、解決するために既習の諸理論を活用して看護過程（情報収集、アセスメント、看護診断、計画、実施、評価）を展開することができる。
2. 看護過程に、病態生理学等の知識を応用することができる。
3. コミュニケーション技術を効果的に用いて、信頼関係を築くことができる。
4. 慢性病をもつ成人患者に必要な看護技術（看護ケア、生活指導、患者教育等）を実践することができる。
5. すべてのケアの場面において、安全の原則を守って行動することができる。
6. 成人期の発達課題に応じた諸問題や個人がもつ価値観、信念の違いに配慮した看護を実践することができる。
7. 他の医療従事者と協調することができる。
8. 専門職としての態度で行動することができる。
9. 患者の権利擁護者としての看護師の役割を理解して行動することができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	1. 1 例以上の慢性病を持った患者を受け持ち、看護過程を展開する。 2. 実習施設：名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、豊田厚生病院	石黒・東野 棚川・田口 河村

授業方法

学内実習：第1日、第9日、第10日

施設実習：第2～第8日

時間外学習

予習：実習病棟の主な疾患や治療等について事前学習を充実させておくこと。（1時間）

復習：実習した内容を振り返り、わからなかった部分について文献等により調べる。（30分）

その他：各自必要に応じて行う。

教科書

成人看護学の授業で使用した教科書

参考図書

適宜紹介する

評価方法

実習目標に照らし合わせた評価表での評価〔80%〕、実習参加度〔10%〕、実習レポート〔10%〕で評価する。

フィードバック

教員や臨床指導者とともにケアを行い、学生が行ったケアについてフィードバックを行う。日々の行動計画表、実習記録、カンファレンスにおいてフィードバックを行う。

その他

実習計画を記載し臨地実習指導者及び教員の助言を得て実習する。看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

成人看護学実習	3～4年 後期～前期	2単位 (90時間)	必修
担当: 東野 督子・石黒 千映子・棚川 綾子・田口 栄子・河村 諒			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

成人期にある人の健康問題を理解し、患者及びその家族に対して健康の各段階に応じた看護を実践するために必要な能力を育成する。急性の経過をとる患者の健康問題を把握し、その問題解決を図るために、患者及び家族に必要な看護を実践できる能力を育成する。

【到達目標】

1. 急性期（周手術期：術前・術中・術後）の患者及び家族の健康問題を理解し、解決するために看護過程（アセスメント、看護診断、計画、実施、評価）を展開することができる。
2. 看護過程に、病態生理学等の基礎科学の知識を応用することができる。
3. コミュニケーション技術を効果的に用いて、信頼関係を築くことができる。
4. 急性期の成人患者に必要な看護技術を実践することができる。
5. すべてのケアの場面において、安全の原則を実践することができる。
6. 成人患者の価値観・信念の違いに配慮した看護を実践することができる。
7. 効果的な教育方法を用いて、患者教育を実践することができる。
8. 他の医療従事者と協調することができる。
9. 専門職としての態度で行動することができる。
10. 患者の権利擁護者としての看護師の役割を理解して行動することができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	1. 急性期の経過をとる患者の看護介入を学ぶために、1例以上の周手術期にある患者を受け持つ。 2. 実習施設：名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院	東野・石黒 棚川・田口 河村

授業方法

学内実習：第1日、第9日、第10日
施設実習：第2～第8日：施設実習、第9・10日：学内実習

時間外学習

予習：実習病棟の主な疾患や治療等について事前学習を充実させておくこと。（1時間）
復習：実習した内容を振り返り、わからなかった部分について文献等により調べる。（30分）
その他：各自必要に応じて行う。

教科書

成人看護学の授業で用いた教科書

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

実習目標に照らし合わせた評価表での評価〔80%〕、実習参加度〔10%〕、実習レポート〔10%〕で評価する。

フィードバック

教員や臨床指導者とともにケアを行い、学生が行ったケアについてフィードバックを行う。日々の行動計画表、実習記録、カンファレンスにおいてフィードバックを行う。

その他

実習計画を記載し臨地実習指導者及び教員の助言を得て実習する。看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

老年看護学	3年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 小林 尚司・清水 みどり・橋本 亜弓・臼井 かおり・近藤 香苗			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

老化に伴って生じやすい健康障害の予防や回復のための援助ならびに可能な限りその人らしい生活を継続する支援について学習する。

【到達目標】

1. 老化にともなって生じやすい健康障害や生活障害について理解できる。
2. 老化にともなって生じやすい健康問題や生活障害に対する看護について理解できる。
3. チームケアにおける看護の役割について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	食事に関する課題と看護：摂食嚥下機能障害	小林 尚司
2	排泄に関する課題と看護：尿失禁・便秘	小林 尚司
3	身体可動性障害を持つ高齢者の看護：褥瘡	清水 みどり
4	活動および休息に関する課題と看護：転倒・生活リズム	橋本 亜弓
5	感覚器疾患を持つ高齢者の看護：眼・耳・皮膚	橋本 亜弓
6	コミュニケーションに関する課題と看護：失語症・構音障害	清水 みどり
7	清潔に関する課題と看護：皮膚疾患・循環への影響	橋本 亜弓
8	呼吸器疾患を持つ高齢者の看護：COPD	近藤 香苗
9	循環器疾患を持つ高齢者の看護：心不全	清水 みどり
10	脳神経疾患を持つ高齢者の看護：脳梗塞・パーキンソン病	橋本 亜弓
11	認知症を持つ高齢者の看護：病態と症状	清水 みどり
12	認知症を持つ高齢者の看護：高齢者および家族の支援	清水 みどり
13	生活不活発病の予防：災害・閉じこもり	橋本 亜弓
14	手術を受ける高齢者の看護：骨折・白内障・せん妄	清水 みどり
15	他職種との協働：高齢者に関わる専門職種・多職種連携	臼井 かおり

授業方法

第1～15回は、講義

時間外学習

予習：テキストの授業予定に該当する箇所を読む（30分）。
復習：配布した資料およびテキストを見直す（30分）。
その他：授業中に出された課題に取り組む（適宜）。

教科書

「健康障害をもつ高齢者の看護」（新体系看護学全書，老年看護学2），第5版，亀井智子編，メヂカルフレンド社，N08/Sh57/2，9784839233730

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

定期試験（90％）、参加度・各回講義への意見・感想（10％）を総合して評価する。

フィードバック

授業終了時に、「学んだこと・意見・感想」を記入してもらいます。その内容から、受講者が授業内容をどのように受け止めたのかをとらえ、必要時には再度解説するか自己学習のポイントを提示する。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

老年看護学	3年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 小林 尚司・清水 みどり・橋本 亜弓・臼井 かおり・近藤 香苗			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

疾患や障害を持つ高齢者が、可能な限りその人らしく自立した生活を営むことを目指す看護を行うために、必要となるアセスメントと援助技術を学ぶ。

【到達目標】

1. 食事、排泄、活動に関する援助技術の方法とその根拠を説明できる。
2. 高齢者の現在の生活が、なぜそのようになっているのかを説明できる。
3. 老年看護の原則に基づき、適切な看護計画を立案し説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス	小林・清水 橋本・臼井 近藤
2	看護技術：食事の援助技術1嚥下機能障害のある高齢者	小林・清水 橋本・臼井 近藤
3	看護技術：食事の援助技術2経管栄養法	小林・清水 橋本・臼井 近藤
4	看護技術：排泄に関する援助技術	小林・清水 橋本・臼井 近藤
5	看護技術：活動に関する援助技術	小林・清水 橋本・臼井 近藤
6	看護過程：老年看護における看護過程、事例紹介	小林・清水 橋本・臼井 近藤
7	看護過程：ゴードンの機能的健康パターンを用いたアセスメント	小林・清水 橋本・臼井 近藤
8	看護過程：ゴードンの機能的健康パターンを用いたアセスメント	小林・清水 橋本・臼井 近藤
9	看護過程：高齢者の全体像、看護の方向性、看護診断	小林・清水 橋本・臼井 近藤
10	看護過程：高齢者の全体像、看護の方向性、看護診断(検討会)	小林・清水 橋本・臼井 近藤
11	看護過程：看護過程の展開の見直し	小林・清水 橋本・臼井 近藤
12	看護過程：看護目標	小林・清水 橋本・臼井 近藤
13	看護過程：看護計画	小林・清水 橋本・臼井 近藤
14	看護過程演習：看護目標と看護計画(検討会)	小林・清水 橋本・臼井 近藤
15	まとめ	小林・清水 橋本・臼井 近藤

授業方法

第1、15回は講義
第2～9、11～13回は演習
第10、14回は、発表、討論

時間外学習

予習：課題に応じた図書や資料を読む。
老年看護学概論・保健・老年看護学（健康障害と看護）での学びを復習する。
グループで決めた課題は必ず行う（30分）。
復習：演習で行った内容を事前学習と照らして理解する（30分）。
その他：必要に応じて、授業内容について十分に理解できるまで、教科書・授業資料を見直す（適宜）。

教科書

「健康障害をもつ高齢者の看護」（新体系看護学全書,老年看護学2）,第5版,亀井智子編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/2,9784839233730

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

参加状況（30%）、レポート（70%）で総合的に評価する。

フィードバック

グループ発表に対して解説を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。
老年看護学概論・保健、老年看護学（健康障害と看護）での学びをしっかりと復習してください。

介護福祉施設実習	3~4年 後期~前期	1単位 (45時間)	必修
担当: 小林 尚司・清水 みどり・橋本 亜弓・臼井 かおり・近藤 香苗			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

介護老人福祉施設における高齢者および家族への支援の実際を通して、暮らしの場における看護のあり方を検討する。

【到達目標】

1. 介護保険制度およびケアマネジメントの方法を説明できる。
2. 介護老人福祉施設の概要と提供されているサービスの内容を説明できる。
3. 介護老人福祉施設を利用している高齢者の概要を説明できる。
4. 介護老人福祉施設において必要な看護を考察し、述べることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	介護老人福祉施設の日常生活援助および、看護職員の活動に参加する。 【実習施設】 次の特別養護老人ホームのいずれかで、実習を行う。 ・第2とよた苑 ・みなみ福寿園 ・ひまわりの街 ・ひまわり邸 ・日進ホーム	小林・清水 橋本・臼井 近藤

授業方法

実習

時間外学習

予習：実習施設の法的基準・介護保険制度について十分に学習する。

日々の目標と行動計画を具体的に立てる。(30分)

復習：実習内容を振り返って、自分の学びを整理し、次の学習課題を明確にする。
(1時間)

その他：疑問に感じたことは、実習メンバー、実習指導者、教員と積極的に意見交換する。

教科書

特に指定しない。

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

実習への参加状況(15%)、実習内容(85%)で総合的に評価する。

フィードバック

学生が行ったケア、実習における学びについてフィードバックを行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

医療・老人保健施設実習	3～4年 後期～前期	3単位 (135時間)	必修
担当: 小林 尚司・清水 みどり・橋本 亜弓・臼井 かおり・近藤 香苗			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

健康障害を有する高齢者とその家族を理解し、適切な看護を実施するための基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 健康障害を有する高齢者の全体像を理解できる。
2. 必要な看護計画を立案し、実施、評価できる。
3. 受け持ち高齢者にかかわるサポートシステムが理解できる。
4. 他職種との連携の実際を知る。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	実習期間中、1名の高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。 【実習施設】 次の施設のいずれかで、実習を行う。 ・豊田東病院 ・高浜豊田病院 ・みよし市民病院 3病棟 ・介護老人保健施設 ハビリスーツ木 ・並木病院 ・介護老人保健施設 メディコ平針	小林・清水 橋本・臼井 近藤

授業方法

実習

時間外学習

予習：実習施設の法的基準について十分に学習する。

日々の目標と行動計画を具体的に立てる。(30分)

復習：実習内容を振り返って、自分の学びを整理し、次の学習課題を明確にする。

(1時間)

その他：疑問に感じたことは、実習メンバー、実習指導者、教員と積極的に意見交換する。

教科書

特に指定しない。

参考図書

特に指定しない。

評価方法

実習への参加状況(15%)、実習内容(85%)で総合的に評価する。

フィードバック

学生が行ったケア、実習における学びについてフィードバックを行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

母性看護学	3年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 野口 眞弓・長田 知恵子・千葉 朝子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

周産期にある女性とその家族を対象に、発達課題や健康上の諸問題に焦点をあてて、健康を促進するための支援方法を学習する。

【到達目標】

1. 妊婦の看護を理解できる。
2. 産婦の看護を理解できる。
3. 褥婦の看護を理解できる。
4. 新生児の看護を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	オリエンテーション 母性看護学の特徴	野口 眞弓 長田 知恵子
2	妊娠期 妊娠期の母児の特徴と看護	長田 知恵子
3	妊娠期 小テスト 妊娠期の母児のアセスメント	長田 知恵子
4	妊娠期 妊娠期事例のアセスメント	長田 知恵子
5	分娩期 小テスト 分娩第1期から第3期の母児の看護	千葉 朝子
6	分娩期 分娩第4期の母児の看護 帝王切開分娩の看護	千葉 朝子
7	産褥期 小テスト 生殖器の復古・身体機能の回復促進の看護	千葉 朝子
8	産褥期 生殖器の復古・身体機能の回復促進の看護 帝王切開で出産した褥婦への看護	千葉 朝子
9	産褥期 出産育児行動の促進、親役割獲得への看護	千葉 朝子
10	新生児 小テスト 新生児の特徴と生理的变化 帝王切開児の特徴	野口 眞弓
11	新生児 新生児期の健康と発育のアセスメント	野口 眞弓
12	新生児 新生児と家族への看護	野口 眞弓
13	母乳哺育 小テスト 母乳哺育に関する看護	長田 知恵子
14	母乳哺育 母乳哺育事例のアセスメント	長田 知恵子
15	母乳哺育 母乳哺育事例のアセスメントと看護(グループワーク)	長田 知恵子

授業方法

講義 (15回)

時間外学習

予習: 各回の教科書の指定ページ部分を読み、概要を理解する。(30分)

復習: 授業内容で理解できなかった部分について調べる。(30分)

その他: 母性看護学概論・保健および疾病・治療論の知識が不可欠である。これらの講義内容の復習をしてから、講義に出席をすること。

教科書

「母性看護学各論」(系統看護学講座, 専門分野・母性看護学2), 第13版, 森恵美著者代表, 医学書院

「母性」(新看護観察のキーポイントシリーズ), 前原澄子編集, 中央法規出版, N13/Ma27/2, 9784805834077

「ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程」, 第3版, 太田操編著, 医歯薬出版, N13/081/3rd, 9784263236871

参考図書

「母性」(新看護観察のキーポイントシリーズ), 前原澄子編集, 中央法規出版, N13/Ma27/1, 9784805834060

評価方法

定期試験 [60%]、5回の小テスト (3、5、7、10、13回) [25%]、5回のアセスメントシート (4、6、9、12、15回) [15%]を合計して評価する。

フィードバック

授業毎にレスポンス・カードに対するフィードバックを行う。

その他

クリッカーを用い既習知識の確認をする小テストを5回行う。

アセスメント・シートの提出を5回行う。

助産師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

母性看護学	3年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 野口 眞弓・長田 知恵子・千葉 朝子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護過程演習では、産褥期および新生児期にある対象をペーパーシミュレーションし、母性看護学実習に必要な展開技術の基本を学ぶ。看護技術演習では母性看護の基礎的技術を中心に学習する。

【到達目標】

1. 産褥期および新生児期の看護過程の展開ができる。
2. モデルを用いてレオポルド触診法、子宮底長・腹囲測定、胎児心音聴取ができる。
3. モデルを用いて産褥子宮の測定と悪露交換、帝王切開術後の子宮底と創部の観察、乳房・乳頭および乳汁分泌状態の観察、哺乳瓶授乳と排気、ポジショニングとラッチ・オンができる。
4. モデルを用いて新生児の抱き方寝かせ方、沐浴、新生児のバイタルサイン測定、黄疸測定、全身観察、おむつ交換、体重測定ができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	看護過程および技術演習(野口)、ロールプレイの説明(長田)、産褥期・新生児期の看護過程(千葉)	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子
2	【看護技術】レオポルド触診法、子宮底長・腹囲測定、胎児心音聴取、分娩監視装置の装着	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子
3	【看護技術】産褥子宮の測定と悪露観察、帝王切開術後の子宮底長と創部の観察、乳房・乳頭および乳汁分泌状態の観察、哺乳瓶授乳と排気、ポジショニングとラッチ・オン	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子
4	【看護技術】新生児の抱き方、寝かせ方、沐浴	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子
5	【看護技術】新生児のバイタルサイン測定、黄疸測定、全身観察、おむつ交換、体重測定	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子
6	【看護過程】正常分娩および帝王切開後の母子のアセスメント	千葉 朝子
7	【看護過程】産褥期の看護計画	長田 知恵子 千葉 朝子
8	【看護過程】産褥期の看護計画	千葉 朝子 長田 知恵子
9	【看護過程】新生児の看護計画	長田 知恵子
10	【看護過程】健康教育計画・実施計画・媒体作成・実施方法の打ち合わせ	長田 知恵子 千葉 朝子
11	【看護過程】ロールプレイ 援助計画等	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子
12	【看護過程】ロールプレイ 援助計画等	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子
13	【看護過程】健康教育計画・実施計画・媒体作成・実施方法の打ち合わせ	長田 知恵子 千葉 朝子
14	【看護過程】ロールプレイ 健康教育等	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子
15	【看護過程】ロールプレイ 健康教育等	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子

授業方法

看護過程：演習10.5回 看護技術：演習4.5回

時間外学習

- 予習：母性看護過程演習では、演習に必要な知識をまとめる。(30分)
母性看護技術演習では、演習要項で指定された内容を動画を用いて予習する。(30分)
- 復習：演習でわからなかった部分について調べる。(30分)
- その他：母性看護過程演習ではグループ発表がある。グループで準備すること。

教科書

- 「母性看護学概論」(系統看護学講座,専門分野・母性看護学1),第13版,森恵美著者代表,医学書院,N08/Ke28/1,9784260021883
- 「母性看護学各論」(系統看護学講座,専門分野・母性看護学2),第13版,森恵美著者代表,医学書院,N08/Ke28/2,9784260021791
- 「母性」(新看護観察のキーポイントシリーズ),前原澄子編集,中央法規出版,N13/Ma27/2,9784805834077
- 「ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程」,第3版,太田操編著,医歯薬出版,N13/081/3rd,9784263236871

参考図書

- 「ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図」,第3版,佐世正勝,石村由利子編集,医学書院,N13/Sa81/3rd,9784260028387
- 「母性」(新看護観察のキーポイントシリーズ),前原澄子編集,中央法規出版,N13/Ma27/1,9784805834060

評価方法

参加状況[14%]、母性看護技術演習の小テスト[24%]、看護過程の課題[20%]、ロールプレイ[42%]を合計して評価する。

フィードバック

看護技術演習では、クリッカーを用いて小テストを行い、その場で結果を提示する。看護過程演習では、プレゼンテーションおよびロールプレイに対して行う。

その他

到達目標を達成できるよう主体的に演習に臨むこと。
助産師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

母性看護学実習	3~4年 後期~前期	2単位 (90時間)	必修
担当: 野口 眞弓・長田 知恵子・千葉 朝子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

妊婦・産婦・褥婦・新生児の健康の保持・増進と回復への援助を、その家族を含めて実践するための基礎的能力を養う。また、母子保健活動の実際を通して、女性の生涯にわたる健康支援のあり方について検討する能力を養う。

【到達目標】

1. 妊産褥婦および新生児の特徴を身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解できる。
2. 妊産褥婦および新生児の経過に応じた援助ができる。
3. 褥婦・新生児の個別性をとらえた看護過程の展開方法を習得できる。
4. 女性と家族を支える健康支援の必要性について理解できる。
5. 母性看護における倫理行動について理解でき、責任ある行動がとれる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	1. 実習施設 1) 病院(名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、刈谷豊田総合病院、トヨタ記念病院のいずれか) 2) 助産所(愛知県内10施設のうちのいずれか) 2. 実習方法 1) 実習初日は、学内でオリエンテーション後、母性看護技術とケアの根拠の理解を深める。 2) 実習1週目は、病院で対象別実習を3日、助産所で1日実習をする。 3) 実習2週目は、病院で受け持ち実習を4日、学内で実習のまとめを1日行う。 3. 実習記録の提出 受け持ち事例記録、課題レポートを提出する。	野口 眞弓 長田 知恵子 千葉 朝子

授業方法

実習(病院7日、助産所1日、学内2日)

時間外学習

予習: 母性看護学に必要な基礎知識をまとめる。また、看護過程の展開ならびに母性看護技術ができるように準備する。(30分)

復習: 実習した内容を実習記録としてまとめる。また、実習でわからなかった部分について調べる。(1時間)

その他: 実習記録を毎日書くこと

教科書

「母性看護学概論」(系統看護学講座, 専門分野・母性看護学1), 第13版, 森恵美著者代表, 医学書院, N08/Ke28/1, 9784260021883

「母性看護学各論」(系統看護学講座, 専門分野・母性看護学2), 第13版, 森恵美著者代表, 医学書院, N08/Ke28/2, 9784260021791

「母性」(新看護観察のキーポイントシリーズ), 前原澄子編集, 中央法規出版, N13/Ma27/2, 9784805834077

「ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程」, 第3版, 太田操編著, 医歯薬出版, N13/081/3rd, 9784263236871

参考図書

「ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図」, 第3版, 佐世正勝, 石村由利子編, 医学書院, N13/Sa81/3rd, 9784260028387

「母性」(新看護観察のキーポイントシリーズ), 前原澄子編集, 中央法規出版, N13/Ma27/1, 9784805834060

評価方法

実習目標にそった評価[70%]、実習態度および実習記録の提出状況[20%]、ワークブック[10%]を合計して評価する。

フィードバック

教員や臨床指導者とともにケアを行い、学生が行ったケアについてフィードバックを行う。また、実習記録を用いて、看護過程の展開についてフィードバックを行う。

その他

事前学習を充分に行い、根拠に基づいた援助ができるよう準備しておくこと。助産師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

小児看護学	3年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 岡田 摩理・遠藤 幸子・神道 那実			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

小児の健康が障害されたことによって起こるさまざまな問題が、小児の成長・発達および家族に影響を及ぼすことを理解し、心身の状況や発達段階に応じた看護を学習する。健康問題や障がいをもつ小児と家族は看護に何を求めているのか、看護がそれにどう応えていくのかという視点から、小児の健康の回復・維持・増進に向けての援助を考える。

【到達目標】

1. 小児の健康障害によって起こる問題を述べることができる。
2. 小児の健康障害に対応した看護を述べるができる。
3. 小児の健康回復・維持・増進に向けての適切な援助を考え、述べるができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	急性期にある子どもと家族の看護（事故・外傷）	神道 那実
2	急性期にある子どもと家族の看護（呼吸器・消化器疾患）	神道 那実
3	急性期にある子どもと家族の看護（循環器疾患）	神道 那実
4	急性期にある子どもと家族の看護（小児感染症と川崎病）	遠藤 幸子
5	手術が必要な子どもと家族の看護（周手術期）	神道 那実
6	NICUにおける子どもと家族の看護（低出生体重児・先天異常）	岡田 摩理
7	急性期にある子どもと家族の看護（脳・神経系疾患）	神道 那実
8	慢性期にある子どもと家族の看護（腎・泌尿器疾患）	神道 那実
9	慢性期にある子どもと家族の看護（免疫・アレルギー疾患）	遠藤 幸子
10	終末期にある子どもと家族の看護（悪性新生物・白血病）	岡田 摩理
11	在宅における子どもと家族の看護（重症心身障がい）	岡田 摩理
12	成人への移行期にある子どもと家族の看護（内分泌・代謝性疾患）	岡田 摩理
13	精神的な課題を抱える子どもと家族の看護（発達障がい）	岡田 摩理
14	外来における子どもと家族の看護（運動器疾患）	岡田 摩理
15	災害を受けた子どもと家族の看護	岡田 摩理

授業方法

第1回～10回・12回・14回・15回 講義、意見交換
 第11回・13回 オンラインによる講義（オンデマンド）

時間外学習

予習：主な疾患と看護について教科書および参考図書で学習してくる。（15分）
 復習：配布資料と授業中に示したポイントを照らし合わせて学習する。（15分）
 その他：授業中に理解できなかったことは、わからないままにせず、担当教員に質問する。質問はFormsやメールでも受け付ける。

教科書

「小児の発達と看護」（ナーシング・グラフィカ,小児看護学1）,第6版,中野綾美編,メディカ出版,N08/N99/1,9784840465151
 「小児臨床看護各論（系統看護学講座,専門分野・小児看護学2）,第14版,奈良間美保他著,医学書院,N08/Ke28/2,9784260038669

参考図書

「小児看護技術」（ナーシング・グラフィカ,小児看護学2）,第4版,中野綾美編,メディカ出版,N08/N99/2,9784840465168
 「発達段階からみた小児看護過程+病態関連図」,第3版,浅野みどり,杉浦太一,山田知子編集,医学書院,N12/H43/3rd,9784260028370

評価方法

筆記試験（90％）、受講態度及び参加状況（10％）により総合的に評価する。
オンライン講義時は、Formsのミニテストへの回答をもって出席とみなし、取り組み状況を受講態度に含めて評価する。

フィードバック

單元ごとの課題に対して、次回の授業開始時に説明するなどのフィードバックを行う。
Formsやメールへの質問に対しては、次回講義で説明する。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

小児看護学	3年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 岡田 摩理・遠藤 幸子・大西 文子・神道 那実			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

発達段階や心身の状況に応じた小児看護に必要な看護技術を習得する。また、事例を通して、健康障害のある小児と家族の状況をアセスメントし、個別性に応じた看護計画の立案をする方法を習得する。

【到達目標】

1. 小児看護技術演習において、安全・安楽に配慮した正確な技術を身につけることができる。
2. 小児と家族の個別性（発達段階、病態、特徴）を踏まえた援助計画を考え、実施することができる。
3. 健康障害のある小児と家族のアセスメントから問題を見出し、看護計画を立案できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス・小児の安全・安楽・自立を考えた環境と関わり方	岡田 摩理
2	乳幼児の安全を守る環境や対策	岡田・神道・遠藤・大西
3	小児の治療・検査を支援する看護	岡田 摩理
4	乳幼児の内服・末梢静脈内輸液と検査に関する援助技術	岡田・神道・遠藤・大西
5	乳幼児の身体計測と救急蘇生の技術1	岡田 摩理
6	乳幼児の身体計測と救急蘇生の技術2	岡田・神道・遠藤・大西
7	小児のバイタルサイン測定の技術1	岡田 摩理
8	小児のバイタルサイン測定の技術2	岡田・神道・遠藤・大西
9	事例における看護過程1（小児のアセスメントの考え方）	岡田 摩理
10	事例における看護過程2（事例演習：アセスメント）	岡田・神道・遠藤・大西
11	事例における看護過程3（小児の関連図と看護計画の考え方）	岡田 摩理
12	事例における看護過程4（事例演習：関連図）	岡田・神道・遠藤・大西
13	事例における看護過程5（事例演習：看護計画）	岡田・神道・遠藤・大西
14	事例の状況に応じたプレパレーション（発表準備）	岡田・神道・遠藤・大西
15	事例の状況に応じたプレパレーション（ロールプレイによる発表）	岡田・神道・遠藤・大西

授業方法

第1回・第10回・第12回・第13回：講義、意見交換
 第2回・第4回・第6回・第8回：技術演習
 第3回・第5回・第7回・第9回・第11回：オンラインによる講義
 第14回：グループワーク
 第15回：発表

時間外学習

予習：次回の講義や演習について学習するとともに、事前に提示された課題に取り組む。（30分）
 復習：演習したことを踏まえ、事前に提示された課題をまとめる。（30分）
 その他：オンライン講義時の質問等は、Formsやメールで行う。
 セルフトレーニングは担当教員に申し出て、自主的に行う。

教科書

「小児看護技術」(ナーシング・グラフィカ,小児看護学2),第4版,中野綾美編,メディカ出版,N08/N99/2,9784840465168

参考図書

小児看護学領域にて作成し配布する「小児看護学 (小児看護技術・看護過程演習)手引き」に参考図書を提示する。

評価方法

筆記試験(50%)、課題・受講態度・参加状況(50%)により総合的に評価する。
オンライン講義は、Formsへの回答をもって出席とみなし、取り組み状況を含めて受講態度を評価する。

フィードバック

単元ごとの課題返却時に、補足説明および助言を行う。オンライン講義時の質問や意見に関しては、対面授業時に説明を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

小児看護学実習	3～4年 後期～前期	2単位 (90時間)	必修
担当: 大西 文子・岡田 摩理・神道 那実・遠藤 幸子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

小児期にある対象と家族を理解し、成長・発達段階、健康段階に応じた看護の基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 子どもの成長・発達を理解し、それに応じた日常生活の援助方法を考え、実施することができる。
2. 子どもを取り巻く家族および環境について理解し、述べるができる。
3. 健康障害、入院が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、援助を考え実施することができる。
4. 子どもと家族の権利を擁護して援助に活かすことができる。
5. 子ども観を養うとともに、小児看護に対する関心を深めることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	<p>1. 健康な小児の看護（保育所実習）</p> <p>(1) 実習内容 健康な子どもの保育活動の実際に参加し、子どもの成長・発達に応じた生活援助を考え、実施する。</p> <p>(2) 実習方法 実習期間：小児看護学実習期間内の第一週1日目と翌日午前 半日 実習場所：豊田市内のこども園</p> <p>2. 健康障害のある小児の看護（小児医療センターまたは小児病棟・小児科外来実習）</p> <p>(1) 実習内容 原則として1名の患者を受けもち、患者を通して看護を体験し学習する。 病棟の日課にそって、看護を体験する。 受けもち患者について、看護過程に沿った看護を展開する。 小児科外来で行われているケアの見学・実施、診療場面の見学を通して学習する。</p> <p>(2) 実習方法 実習期間：小児看護学実習期間内の第一週2日目の午後半日から第二週まで 実習場所：名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、刈谷豊田総合病院</p>	大西・岡田 神道・遠藤

授業方法

実習（こども園実習1.5日 病院実習7日 学内実習1.5日）

時間外学習

予習：小児の成長・発達、小児の疾患と看護、小児看護技術について学習する。（30分）

復習：実習で得た知識や技術について、文献等を用いて再学習する。（60分）

その他：実習目標到達を目指し、わからないことは担当教員や指導者に積極的に質問する。

教科書

「小児の発達と看護」（ナーシング・グラフィカ,小児看護学1）,第6版 ,中野綾美編,メディカ出版,N08/N99/1,9784840465151

「小児看護技術」（ナーシング・グラフィカ,小児看護学2）,第4版,中野綾美編,メディカ出版,N08/N99/2,9784840465168

「小児臨床看護各論」（系統看護学講座,専門分野・小児看護学2）,第14版,奈良間美保著者代表,医学書院,N08/Ke28/2,9784260038669

参考図書

「発達段階からみた小児看護過程+病態関連図 第3版」, 浅野みどり、杉浦太一、山田知子編, 医学書院, N12/H43/3rd, 9784260028370
「エビデンスに基づく小児看護ケア関連図」, 山口桂子、柴邦代、服部淳子編, 中央法規出版, N12/Y24, 9784805853955
「こどもの病気の地図帳」, 鴨下重彦、柳澤正義監, 講談社, 493.9/Ka41, 4-06-206605-X

評価方法

実習内容(60%)、実習記録物(20%)、レポート(10%)、受講態度及び参加状況(10%)により評価する。

フィードバック

日々の行動計画表、実施した看護援助、実習記録、カンファレンスにおいて、フィードバックを行う。

その他

小児看護学概論・保健、小児看護学、小児看護学 の単位を修得していること。小児看護学実習前に学内オリエンテーションを実施する。
看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

精神看護学	3年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 原田 真澄・初田 真人・坪之内 千鶴			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

精神に障がいをもつ人とその家族にとっての病の体験の意味を理解した上で、自律を支える援助方法を学ぶ。具体的には、患者-看護師関係を構築するために必要な観察と治療的コミュニケーション技法、精神疾患による症状、治療、検査に応じた看護援助方法、実践した看護過程の記録方法等を学習する。

【到達目標】

1. 精神障がいをもつ人を理解した上で、適切に理論・技術を適用できる。
2. 精神科治療の概要と必要な看護援助について理解できる。
3. 精神障がいをもつ人の健康課題を包括的にアセスメントできる。
4. 主な精神疾患をもつ人の看護援助について具体的に説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	精神障がいをもつ人の理解	原田 真澄
2	精神看護における援助方法 1 : 対人関係論と治療的関わりの基本的考え方	原田 真澄
3	精神看護における援助方法 2 : 治療構造と検査に関わる援助	原田 真澄
4	精神看護における援助方法 3 : 服薬治療に関わる援助	原田 真澄
5	精神看護における援助方法 4 : 日常生活援助とストレスマネジメント	坪之内 千鶴
6	精神看護における援助方法 5 : 精神科リハビリテーションと精神科訪問看護	初田 真人
7	統合失調症をもつ人の看護	原田 真澄
8	気分障害をもつ人の看護	原田 真澄
9	心的外傷性ストレス障害 (PTSD) ・ドメスティックバイオレンス (DV) ・神経症をもつ人の看護	原田 真澄
10	アルコール依存症・薬物依存症をもつ人の看護	原田 真澄
11	パーソナリティ障害・摂食障害をもつ人の看護	原田 真澄
12	身体疾患をもつ人のこころの健康:リエゾン精神看護	原田 真澄
13	児童精神看護	原田 真澄
14	精神障がいをもつ人の家族の看護	原田 真澄
15	精神看護におけるリスクマネジメントと看護記録:感染症・事故と看護記録	原田 真澄

授業方法

第1回～第15回: 講義

時間外学習

予習: 初回講義時に、授業各回の具体的な学習項目、教科書や参考書を提示する。精神疾病・治療論および精神看護学概論・保健の講義資料や教科書を活用し、授業内容について予習しておく。(30分)

復習: 講義内容の中で理解できなかった部分について調べる。(30分)

その他: 看護学を学ぶためには、看護の対象者に深い関心を寄せることが必要となることから、対象者の言動の意味を理解しようとする姿勢を持ち、病のある人の体験記を読むことをすすめる。(適宜)

教科書

「精神障害と看護の実践」(ナーシング・グラフィカ,精神看護学2),第4版,出口禎子編,メディカ出版,N08/N99/2,9784840453844
「精神障害をもつ人の看護」(新体系看護学全書,精神看護学2),第5版,岩崎弥生編集代表,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/2,9784839233648

参考図書

「精神看護学概論・精神保健」(新体系看護学全書,精神看護学1),第5版,岩崎弥生,渡邊博幸編,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/1,9784839233631

「情緒発達と看護の基本」(ナーシング・グラフィカ,精神看護学1),第4版,出口禎子編,メディカ出版,N08/N99/1,9784840453837

「精神看護の基礎」(系統看護学講座,専門分野・精神看護学1),第6版,武井麻子著者代表,医学書院,N08/Ke28/1,9784260042130

「精神看護の展開」(系統看護学講座,専門分野・精神看護学2),第6版,武井麻子著者代表,医学書院,N08/Ke28/2,9784260042147

「精神看護学:実践看護技術学習支援テキスト」,野嶋佐由美監修,野嶋佐由美他執筆,日本看護協会出版会,N20/N93,9784818009332

「精神看護」(看護学双書),第2版,樋口康子,稲岡文昭監修,文光堂,N20/H56/2nd,9784830646348

「精神看護学の新しい展開」,ゲイル・W・スチュアート編著,サンドラ・J・サンディーオン編著,神郡博監訳,医学書院,N20/St9,4260343939

「精神看護学:学生-患者のストーリーで綴る実習展開」,第2版,田中美恵子編著,医歯薬出版,N20/Ta84/2nd,9784263236734

「こころを癒す:実践オレム-アンダーウッド理論」(アクティブ・ナーシング),南裕子編著,講談社,N20/Mi37,4062702150

「精神保健・多職種つながり」(看護学テキストNICE,精神看護学1),改訂第2版,萱間真美,野田文隆編,南江堂,N20/Ka98/1,9784524257638

「臨床で活かすケア」(看護学テキストNICE,精神看護学2),改訂2版,萱間真美編,野田文隆編,南江堂,N20/Ka98/2,9784524257645

評価方法

成績評価は、試験【80%】、課題レポート【10%】、受講態度【10%】を合計して算出する。

フィードバック

授業各回にレスポンスカードを配布するため、質問・感想等を記載する。レスポンスカードの内容については次回授業開始時に説明を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

精神看護学	3年 前期	1単位 (30時間)	必修
担当: 初田 真人・坪之内 千鶴・飯田 大輔・原田 真澄・村瀬 智子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

精神に障がいをもつ人の健康課題に対する看護過程を展開することを通して対象者を理解するとともに、精神看護実践に必要な看護技術を学ぶ。具体的には、患者 看護者関係における援助的関係技法についてロールプレイングを取り入れた体験学習を行い、その過程を通して自分のコミュニケーションの特徴を知り、自己理解を深める。また、精神看護実践における倫理的課題への対応についてグループ学習を行う。

【到達目標】

1. 演習において精神障がいをもつ人の健康課題について、ストレングスモデルやオレム・アンダーウッド理論を基盤とした看護過程が展開できる。
2. 演習において看護場面の再構成の意義を理解し、治療的コミュニケーション技法を用いて看護活動ができる。
3. 演習においてSSTの意義を理解し、看護に活用できる。
4. 演習において倫理的視点から精神看護を考察できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	オリエンテーション・記録用紙の説明 看護過程 - 1 : 精神看護における看護過程	初田・坪之内 飯田
2	看護過程 - 2 : 精神に障がいをもつ人の病の体験の理解に必要な情報収集とアセスメント	初田・坪之内 飯田
3	看護過程 - 3 : 精神に障がいをもつ人の心身機能・身体構造に関する情報収集とアセスメント	初田・坪之内 飯田
4	看護過程 - 4 : オレム・アンダーウッド理論を基盤としたセルフケアの情報収集とアセスメント	初田・坪之内 飯田
5	看護過程 - 5 : ストレングスモデルを基盤とした統合アセスメント	初田・坪之内 飯田
6	看護過程 - 6 : 精神に障がいをもつ人の健康課題に対するケアプランの立案、実施、評価・考察	初田・坪之内 飯田
7	患者 看護者関係における援助的関係技法 - 1	飯田・初田 坪之内
8	患者 看護者関係における援助的関係技法 - 2	飯田・初田 坪之内
9	看護場面の再構成 - 1 (準備)	初田・坪之内 飯田
10	看護場面の再構成 - 2 (実施)	初田・坪之内 飯田
11	看護場面の再構成 - 3 (分析・評価)	初田・坪之内 飯田
12	SST (Social Skills Training)	坪之内・初田 飯田・原田 村瀬
13	精神科看護における倫理的課題の分析 - 1 (準備)	初田・坪之内 飯田
14	精神科看護における倫理的課題の分析 - 2 (分析)	初田・坪之内 飯田
15	リラクセ - ション	坪之内・初田 飯田

授業方法

第1回～第15回：講義・演習

時間外学習

- 予 習：精神疾病・治療論および精神看護学概論・保健の講義資料と、精神看護学、精神看護学の講義資料や教科書を用いて疾患や看護の特徴、理論を復習してください。また、あらかじめ配布する資料や教科書の該当ページを参照し、次回の授業内容に関する予習を行ってください。（30分）
- 復 習：各演習での課題を期日までに行ってください。理解が難しかった部分について自己学習を行ってください。（30分）
- その他：各自必要に応じて準備してください。（適宜）

教科書

「精神看護学：学生-患者のストーリーで綴る実習展開」,第2版,田中美恵子編著,医歯薬出版,N20/Ta84/2nd,9784263236734

参考図書

- 「精神看護の基礎」(系統看護学講座,専門分野・精神看護学1),第5版,武井麻子著者代表,医学書院,N08/Ke28/1,9784260027731
- 「精神障害をもつ人の看護」(新体系看護学全書,精神看護学2),第5版,岩崎弥生,渡邊博幸編集,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/2,9784839233648
- 「精神障害と看護の実践」(ナーシング・グラフィカ,精神看護学2),第4版,出口禎子編集,メディカ出版,N08/N99/2,9784840453844
- 「精神看護学概論・精神保健」(新体系看護学全書,精神看護学1),第5版,岩崎弥生,渡邊博幸編集,メヂカルフレンド社,N08/Sh57/1,9784839233631
- 「精神看護の展開」(系統看護学講座,専門分野・精神看護学2),第5版,武井麻子著者代表,医学書院,N08/Ke28/2,9784260027748
- 「リハビリ・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術」,萱間真美著,医学書院,N26/Ka98,9784260027984
- 「これからの精神看護学：病態生理をふまえた看護実践のための関連図」,改訂版,森千鶴監修編著,田中留伊編著,PILAR PRESS,N20/Mo45/2nd,9784861941696
- 「こころを癒す：実践オレム-アンダーウッド理論」(アクティブ・ナーシング),南裕子編著,講談社,N20/Mi37,4062702150
- 「看護場面の再構成」,改訂版,宮本真巳著,日本看護協会出版会,N10/Mi77/2nd,9784818022355
- 「援助技法としてのプロセスレコード：自己一致からエンパワメントへ」,宮本真巳著,精神看護出版,N85.1/Mi77,9784990090777
- 「看護倫理」(系統看護学講座,別巻),第2版,宮坂道夫著者代表,医学書院,N08/Ke28/2nd,9784260034456
- 「精神看護学：実践看護技術学習支援テキスト」,野嶋佐由美監修,野嶋佐由美他執筆,日本看護協会出版会,N20/N93,9784818009332

評価方法

成績評価は、看護過程【36%】、患者 看護者関係における援助的關係技法【12%】、看護場面の再構成【18%】、SST【6%】、精神科看護における倫理的課題の分析【12%】、リラクセーション【6%】の各演習における発表内容や提出課題の評価、および、受講態度(参加・貢献度)【10%】を合計して算出されます。

フィードバック

「看護過程」および「看護場面の再構成」、「精神科看護における倫理的課題の分析」の各演習において提示する事例について、それぞれ解説を行います。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授します。

精神看護学実習	3～4年 後期～前期	2単位 (90時間)	必修
担当: 村瀬 智子・原田 真澄・初田 真人・坪之内 千鶴・飯田 大輔			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

精神に障がいをもつ人とその家族にとっての病の体験の意味を理解した上で、治療的関係を形成し、その過程を考察することで自己洞察を深める。また、対象者の精神的健康課題を把握し、その課題への対応を意図した個別的な看護を実践する基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 精神に障がいをもつ人とその家族の病の体験の意味を理解し、対象者の精神的健康課題を把握できる。
2. 精神に障がいをもつ人のストレンクスを活用し、対象者の精神的健康課題への対応を意図した個別的な看護を実践することができる。
3. 精神に障がいをもつ人との関わりを通して治療的関係を形成し、その過程を通して自己洞察を深めることができる。
4. 精神科病院を含む地域で行われているリハビリテーションを意図した援助について理解し、精神に障がいをもつ人の社会参加のあり方を考えることができる。
5. 精神看護における倫理について理解し、精神に障がいをもつ人の安全・人権擁護を目指した援助を考えることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一名の患者を受け持つ。 2. 受け持ち患者について能動的に情報収集を行い、全体像を把握したうえで、統合アセスメントを行う。 3. 患者のストレンクスに着目してケアプランを立案し、指導者・教員の助言を得て援助を行う。 4. カンファレンスに主体的に参加し、問題意識を持ったことや感じたことをメンバ - と共有する。 5. 患者と関わる過程で自己洞察を深め、自分自身の感情に気づく。 6. 社会参加に必要な地域生活支援や看護の役割を理解する。 <p>実習施設：1. 刈谷病院 2. 共和病院 3. 藤田こころケアセンター 4. 豊田西病院 5. 多機能型事業所ライム 6. 刈谷市障害者支援センター</p>	村瀬・原田 初田・坪之内 飯田

授業方法

実習

時間外学習

予習：予習とは、実習事前学習と実習中の予習の両方を含む。精神疾病・治療論および精神看護学概論・保健の講義資料と、精神看護学、精神看護学の講義資料や教科書を活用し予習しておく。(学習時間：約30分)

復習：各自必要に応じて行う。(学習時間：約1時間)

その他：実習においてわからないことや疑問に感じたことは、各自で調べたり質問する。(適宜)実習配置表に関しては、掲示板を参照する。

教科書

適宜、紹介する。

参考図書

適宜、紹介する。

評価方法

実習目標に沿った評価(80%)、実習への参加度(20%)を合計して評価する。

フィードバック

実習中毎日提出する日々の記録を確認するとともに、適宜、学生と面接を行い、実習における学びについて振り返りを行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

保健指導方法論	3年 前期	2単位 (30時間)	選択
担当: 清水 美代子・廣田 直美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

地域で生活する様々なライフステージ・健康レベルにある人々が自らの健康課題・問題を捉え、主体的に解決し、生活者として行動できるように支援する視点を養う。
 地域の人々の健康管理能力を育成する保健指導の概念・方法の基礎知識を理解し、様々な対象の特性をふまえた個人・家族への支援活動が展開できる技術を学習する。

【到達目標】

1. 保健指導の方法とその技術の特徴が説明できる。
2. ライフステージ・健康レベルに応じた保健指導方法が説明できる。
3. 対象に応じた健康課題に関連する施策と保健事業の特徴、および相互の関連が説明できる。
4. 事例をもとに保健指導を計画・実施・評価し、ケースマネジメントが展開できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	公衆衛生看護活動と保健指導	清水 美代子
2	母子保健：施策と保健事業（乳幼児健診・相談）	清水 美代子
3	母子保健：演習 乳幼児健診場面の問診	清水・廣田
4	母子保健：演習 乳幼児健診場面の保健指導	清水・廣田
5	母子保健：乳幼児健診事後フォロー	清水 美代子
6	母子保健：演習 乳幼児健診事後フォロー教室と関係機関との連携	清水・廣田
7	成人保健：施策と保健事業、特定健診・特定保健指導（外部講師予定）	清水 美代子
8	成人保健：演習 特定健診・特定保健指導（外部講師予定）	清水 美代子
9	高齢者保健：施策、高齢者の健康課題と地域包括ケア	清水 美代子
10	精神保健：施策、社会病理と背景とする精神的問題	清水 美代子
11	障害者（児）保健（講義）：施策、障害者保健活動	清水 美代子
12	難病保健：施策、難病患者への支援・保健活動	清水 美代子
13	感染症保健：施策、疾病管理	清水 美代子
14	感染症保健：結核に関連した保健指導	清水 美代子
15	その他の保健指導（歯科保健、健康危機管理）とまとめ	清水 美代子

授業方法

講義と演習を適宜組み合わせる。

時間外学習

予習：事前に提示された次回授業範囲を予習する。（30分）

復習：授業中に紹介した学習のポイントを中心とした復習を行い、提示された課題を完成させる。（30分）

教科書

- 「対象別公衆衛生看護活動」（標準保健師講座3），第4版，松田正巳著者代表，医学書院，N40/H99/3，9784260031875
- 「地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド：地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案」，第2版，佐伯和子編著，医歯薬出版，N40/Sa14/2nd，9784263237106
- 「公衆衛生看護技術」（標準保健師講座2），第4版，中村裕美子著者代表，医学書院，N40/H99/2，9784260038706
- 「保健師業務要覧」，第4版，井伊久美子他編，日本看護協会出版会，N40/N71/4th，9784818022164
- 「国民衛生の動向 2019/2020」（雑誌「厚生」の指標増刊），厚生労働統計協会編集，厚生労働統計協会，雑誌・製本雑誌架

参考図書

「説明力で差がつく保健指導」，坂根直樹、佐野喜子編著，中央法規出版，N40/Sa34，9784805835180
「質問力でみかく保健指導：特定健診・特定保健指導従事者必携」，坂根直樹、佐野喜子編著，中央法規出版，N40/Sa34，9784805830833
「母子保健マニュアル」，改訂7版，高野陽他編，南山堂，N13.9/B66/7th，9784525184476
「難病看護の基礎と実践：すべての看護の原点として」，改訂版，川村佐和子監修、中山優季編，桐書房，N11.19/N45，9784876478682
「感染症法における結核対策：保健所・医療機関等における対策実施の手引き」，平成30年改訂版，加藤誠也編集代表，結核予防会，498.6/Ke29/'18，9784874513125
「乳幼児健診マニュアル」，第6版，福岡地区小児科医会乳幼児保健委員会編，医学書院，N12.9/F82/6th，9784260039352
その他、適宜紹介する。

評価方法

筆記試験〔60%〕、演習課題（個人ワーク・グループワーク）〔各15%、計30%〕、受講態度〔10%〕を合計して評価する。

フィードバック

演習課題の記述内容に関連した振り返り等を行う。疑問点等については、適宜教員が助言、回答を行う。

その他

保健師としての実務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

家族生活支援論	3年 後期	2単位 (30時間)	選択
担当: 長谷川 喜代美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

家族を単位として生活の場で健康課題を解決する意義を理解する。
保健師が行う地区活動の一手段としての家庭訪問の目的・方法を学習する。

【到達目標】

1. 公衆衛生看護活動における家庭訪問（訪問指導）の意義を説明できる。
2. 家族を単位として支援する意義および方法を説明できる。
3. 保健師の行う家庭訪問（訪問指導）の法的根拠を説明できる。
4. 保健師の行う家庭訪問（訪問指導）の展開方法を具体的に説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	公衆衛生看護における家庭訪問の意義	長谷川 喜代美
2	家族を単位としたとして行う支援の意義と家族への方法	長谷川 喜代美
3	家庭訪問の展開方法	長谷川 喜代美
4	家庭訪問の実際 - 健康課題のアセスメント（新生児家庭訪問を中心に）	長谷川 喜代美
5	家庭訪問の実際 - 家庭訪問計画の立案手順と留意点（新生児家庭訪問を中心に）	長谷川 喜代美
6	家庭訪問の実際 - 家庭訪問計画の立案（事例を用いて）	長谷川 喜代美
7	家庭訪問（訪問指導）の関係法令	長谷川 喜代美
8	保健師が行う家庭訪問の特徴-実践事例をとおして考える -	長谷川 喜代美
9	家庭訪問の実際 - 訪問で使用する物品等の使い方（新生児訪問を中心に）	長谷川 喜代美
10	新生児家庭訪問の展開 - 家庭訪問計画の立案	長谷川 喜代美
11	新生児家庭訪問の展開 - 家庭訪問の実施（ロールプレイ）	長谷川 喜代美
12	新生児家庭訪問の展開 - 家庭訪問の実施（ロールプレイ）	長谷川 喜代美
13	新生児家庭訪問の展開 - 家庭訪問の評価、記録作成	長谷川 喜代美
14	新生児家庭訪問の展開 - 家庭訪問の評価、記録作成	長谷川 喜代美
15	保健師が行う家庭訪問の意義、展開方法のまとめ	長谷川 喜代美

授業方法

第1～3回，第7回：講義、第4～6回，第8～10回，第15回：講義と演習、第11～14回：演習

時間外学習

予習：事前に提示された授業範囲を理解する。（30分程度）

復習：授業で理解できなかった部分を見直し理解を深める。（30分程度）

その他：演習課題に取り組む。（適宜）

教科書

「公衆衛生看護技術」（標準保健師講座2），第4版，中村裕美子他著，医学書院
N40/H99/2，9784260038706

「対象別公衆衛生看護活動」（標準保健師講座3），第4版，松田正己著者代表，医学書院
N40/H99/3，9784260031875

「保健師業務要覧」，新版 第4版，井伊久美子他編，日本看護協会出版会
N40/N71/4th，9784818022164

参考図書

「最新公衆衛生看護学 総論」，第3版，宮崎美砂子他編，日本看護協会出版会
N40/Mi88/3rd，9784818021587

「最新公衆衛生看護学 各論1」，第3版，宮崎美砂子他編，日本看護協会出版会
N40/Mi88/3rd，9784818021594

「家族看護学：理論と実践」，第5版，鈴木和子，渡辺裕子，佐藤律子著，日本看護協会出版会
N51/Su96/5th，9784818022089

「公衆衛生看護活動論技術演習」，第3版，岩本里織他編，クオリティケア
N40/I94/3rd，9784904363676

評価方法

受講態度（20%）、演習への取り組み（50%）、レポート（30%）を合計して評価する。

フィードバック

講義：授業終了後にコメントを書いてもらい、次回授業でフィードバックする。

演習：演習の際にその場でフィードバックする。

その他

担当教員は、行政保健師の実務経験があり、専門知識をこの授業科目で教授する。

地区活動論	3年 後期	2単位 (30時間)	選択
担当: 長谷川 喜代美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

保健師が地域のあらゆる人々の豊かな社会生活の実現をめざし、地域や文化的な背景をふまえて個人と地域の健康課題を連動させながら行う活動の展開方法、特に、地域の健康課題をふまえた地域組織育成、資源開発・施策化ならびに地域ケアシステムの構築について理解を深める。

【到達目標】

1. 地区活動の目的、方法の特徴を説明できる。
2. 地区活動の展開方法、すなわち地域診断、計画作成、実施、評価・改善を繰り返しながら健康なまちづくりを推進する方法を具体的に説明できる。
3. 健康なまちづくりの推進における地域組織活動の意義、地域組織活動への保健師の支援のあり方を説明できる。
4. 地域のケアシステム構築における保健師の役割を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	地区活動の目的、対象のとらえ方、活動方法の特徴、活動展開の概要	長谷川 喜代美
2	地区活動のプロセス 地域診断の方法	長谷川 喜代美
3	地区活動のプロセス 計画作成 健康課題の明確化	長谷川 喜代美
4	地区活動のプロセス 計画作成 目標の設定、実施計画作成	長谷川 喜代美
5	地区活動のプロセス 評価、地区活動の質の管理	長谷川 喜代美
6	地域組織活動の意義、社会的背景	長谷川 喜代美
7	地域組織活動の発展過程と保健師の支援	長谷川 喜代美
8	地域組織活動への支援の実際	長谷川 喜代美
9	地区活動におけるヘルスケアチームづくり	長谷川 喜代美
10	地域ケア体制の構築の意義	長谷川 喜代美
11	地域ケア体制の構築における保健師の役割	長谷川 喜代美
12	地区活動計画立案演習 (地域診断)	長谷川 喜代美
13	地区活動計画立案演習 (健康課題の明確化)	長谷川 喜代美
14	地区活動計画立案演習 (実施計画作成)	長谷川 喜代美
15	まとめ	長谷川 喜代美

授業方法

第1回～第11回，第15回：講義、第11～14回：演習

時間外学習

予習：事前に提示された、次の授業に該当する教科書または資料を読む。(30分程度)
 復習：授業内容で理解できなかった部分を見直し理解を深める。(30分程度)
 その他：演習課題に取り組む。(適宜)

教科書

「公衆衛生看護技術」(標準保健師講座2),第4版,中村裕美子他著,医学書院
 N40/H99/2,9784260038706

「保健師業務要覧」,新版 第4版,井伊久美子他編,日本看護協会出版会,N40/N71/4th
 ,9784818022164

参考図書

「公衆衛生看護技術」(公衆衛生看護学テキスト2),佐伯和子責任編集,医歯薬出版
N40/Ko87/2,9784263231142
「公衆衛生看護学概論」(標準保健師講座1),第5版,標美奈子著者代表,医学書院
N40/H99/1,9784260035606
「対象別公衆衛生看護活動」(標準保健師講座3),第4版,松田正己著者代表,医学書院
N40/H99/3,9784260031875
「地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド」,第2版,佐伯和子編著,医歯
薬出版,N40/Sa14/2nd,9784263237106
「行政看護学」(保健の実践科学シリーズ),金子仁子編著,講談社,N40/Ka53
9784061563247
「PDCAの展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動」,守田孝恵編著,クオ
リティケア,N40/Mo66,9784904363744
「地域保健スタッフのための「住民グループ」の作り方・育て方」,星旦二,栗盛須雅
子編,医学書院,498.1/H92,9784260011860
「地域保健に活かすCBPR:コミュニティ参加型の活動・実践・パートナーシップ」
CBPR研究会著,医歯薬出版,N40/C85,9784263235416
「最新公衆衛生看護学 総論」第3版,宮崎美砂子他編,日本看護協会出版会
N40/Mi88/3rd,9784818021587

評価方法

受講態度(10%)、ミニテスト(20%)、演習への取り組み(40%)、レポート(30%)を
合計して評価する。

フィードバック

講義:授業終了後にコメントを書いてもらい、次回授業でフィードバックする。
演習:演習の際にその場でフィードバックする。

その他

担当教員は保健師の実務経験があり、専門知識をこの授業科目で教授する。
外部講師による授業日の調整に伴い授業順序は変更の可能性があるが、授業内容に変更
はない。

公衆衛生看護管理	4年 前期	2単位 (30時間)	選択
担当: 長谷川 喜代美・清水 美代子・廣田 直美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

保健師の実践活動を看護管理機能の面から理解し、効果的かつ効率的に実践活動を展開する方法を理解する。
地域の健康危機管理の概念、活動体制、保健師の役割について理解する。

【到達目標】

1. 公衆衛生看護管理の目的と機能を説明できる。
2. 保健師に求められる看護管理の特徴を説明できる。
3. 公衆衛生看護活動の活動基盤となる根拠法令を説明できる。
4. 公衆衛生看護管理の方法を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	公衆衛生看護管理の目的と機能 保健師に求められる看護管理機能1：事例管理、地区管理	長谷川 喜代美
2	保健師に求められる看護管理機能2：事業・業務管理、組織運営管理、予算管理	長谷川 喜代美
3	保健師に求められる看護管理機能3：人材育成、人事管理、情報管理	長谷川 喜代美
4	保健師に求められる看護管理機能4：健康危機管理	長谷川 喜代美
5	公衆衛生看護活動の活動基盤となる法令等1：母子保健福祉	長谷川 喜代美
6	公衆衛生看護活動の活動基盤となる法令等2：成人・高齢者保健福祉	長谷川 喜代美
7	公衆衛生看護活動の活動基盤となる法令等3：感染症	長谷川 喜代美
8	公衆衛生看護管理の具体的方法1：実習地域の地区管理1(演習)	長谷川・清水・廣田
9	公衆衛生看護管理の具体的方法2：実習地域の地区管理2(演習)	長谷川・清水・廣田
10	公衆衛生看護管理の具体的方法3：実習地域の地区管理3(演習)	長谷川・清水・廣田
11	公衆衛生看護管理の具体的方法4：実習地域の事業・業務管理1(演習)	長谷川・清水・廣田
12	公衆衛生看護管理の具体的方法5：実習地域の事業・業務管理2(演習)	長谷川・清水・廣田
13	公衆衛生看護管理の具体的方法6：実習地域の事業・業務管理3(演習)	長谷川・清水・廣田
14	公衆衛生看護管理の具体的方法7：実習施設の組織運営管理1(演習)	長谷川・清水・廣田
15	公衆衛生看護管理の具体的方法8：実習施設の組織運営管理2(演習)	長谷川・清水・廣田

授業方法

第1～7回：講義 第8～15回：演習

時間外学習

予習：次の授業に該当する教科書の内容等を読み、概要を理解する。(30分程度)
復習：授業内容で理解できなかった部分を見直し理解を深める。(30分程度)
その他：課題に取り組む。(適宜)

教科書

「公衆衛生看護学概論」(標準保健師講座1),第5版,標美奈子著者代表,医学書院
N40/H99/1,9784260035606
「対象別公衆衛生看護活動」(標準保健師講座3),第4版,松田正己著者代表,医学書院
N40/H99/3,9784260031875
「保健師業務要覧」,新版 第3版,井伊久美子他編,日本看護協会出版会
N40/N71/4th,9784818022164
「地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド」,第2版,佐伯和子編著,医歯
薬出版,N40/Sa14/2nd,9784263237106

参考図書

「公衆衛生看護技術」(公衆衛生看護学テキスト2),佐伯和子責任編集,医歯薬出版
N40/Ko87/2,9784263231142
「最新公衆衛生看護学 各論2」,第3版,宮崎美砂子他編集,日本看護協会出版会
N40/Mi88/3rd,9784818021600

評価方法

受講態度(10%)、演習へ取り組み(60%)、試験(30%)を合計して評価する。

フィードバック

講義:授業終了後にコメントを書いてもらい、次回授業でフィードバックする。
演習:演習の際にその場でフィードバックする。

その他

担当教員は、保健師の実務経験があり、専門知識をこの授業科目で教授する。

公衆衛生看護学実習	4年 通年	5単位 (225時間)	選択
担当: 長谷川 喜代美・清水 美代子・廣田 直美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

地域の特性や健康課題を捉え、健康課題を解決・改善するための公衆衛生看護活動が実践できる基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 公衆衛生看護活動の中心的拠点である保健所と市町保健センターの機能・役割が理解できる。
2. 実習地の地域診断を行い、健康課題や地域の特性を把握することができる。
3. 地域における保健事業等に参加し、公衆衛生看護活動の展開について理解できる。
4. 地域の人々や多機関・多職種との連携・協働が理解できる。
5. 人々のQOLを高めるためのネットワークや社会資源が理解できる。
6. 地域の健康課題を解決・改善するための保健指導を保健師の指導や助言を得て実施できる。
7. 労働者の労働環境と健康との関連について理解できる。
8. 産業の場における健康管理体制を理解できる。
9. 産業の場における健康管理・健康づくりと支援の方法について理解できる。
10. 産業保健チームの一員としての保健師の役割が理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	<p>公衆衛生看護学実習は、【自治体における実習】(4単位)と【産業における実習】(1単位)から構成される。</p> <p>【自治体における実習】 実習施設: 政令市・中核市保健所または愛知県保健所と市町保健センター及びあいち健康の森健康科学総合センター 実習内容: 地域診断、家庭訪問、健康教育を実施する。また、健康相談、健康増進事業等に参加する。</p> <p>【産業における実習】 実習施設: 事業所内健康管理室、健康管理センター 実習内容: 職場巡視、健康診断の問診・事後指導、健康測定等に参加する。</p>	長谷川・清水・廣田

授業方法

実習

時間外学習

予習: 実習関連科目の授業内容を復習する。実習計画を立てる。(1時間程度)
 復習: 実習内容を振り返り、文献等を用いて学びを整理する。(1時間程度)
 その他: 実習に関連した時事ニュースや新聞記事に関心を持ち、内容を確認する。(適宜)

教科書

公衆衛生看護関連科目の授業で用いたテキスト

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

実習目標にそって評価表を用い、実習目標達成状況を実習記録及びカンファレンス並びに実習のまとめにおける参加態度、実習終了後の面談から評価する。実習内容(85%)、実習参加状況(15%)を合計して評価する。

フィードバック

事前学習課題の確認、中間・最終カンファレンス、実習のまとめにおいてフィードバックを行う。

その他

担当教員は、保健師の実務経験があり、専門知識・技術及び態度についてこの授業科目で教授する。

在宅看護論	3年 前期	2単位 (30時間)	必修
担当: 深谷 由美・松田 優子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

在宅療養者と家族を支える地域包括ケアシステムを理解し、保健・医療・福祉分野との連携、看護の役割と機能について学習する。また、在宅ケアにおけるリスクマネジメント、日常生活援助、医療管理を必要とする在宅療養者と家族への支援について学習する。そして、在宅看護における社会資源の活用と看護過程の基礎的能力を習得する。

【到達目標】

1. 地域包括ケアシステムの概要と地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉分野の連携について説明できる。
2. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割と機能について説明できる。
3. 在宅ケアにおけるリスクマネジメントの必要性と方法について説明できる。
4. 在宅療養者と家族の生活を支える日常生活援助技術と支援方法について説明できる。
5. 医療管理を必要とする在宅療養者と家族への支援について説明できる。
6. 在宅看護における社会資源の活用について理解できる。
7. 在宅看護における看護過程について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	在宅ケアにおける地域包括ケアシステム： 保健・医療・福祉分野の連携、看護の役割と機能	深谷 由美
2	在宅ケアにおけるリスクマネジメント(感染予防、災害時対応) 在宅における日常生活援助技術と支援1：環境調整、移動	松田 優子
3	在宅における日常生活援助技術と支援2： 食事、排泄、清潔・皮膚のケア、口腔ケア	松田 優子
4	医療管理を必要とする在宅療養者と家族への支援1： 服薬支援、在宅持続皮下注入法、経管栄養法、在宅中心静脈栄養法	深谷 由美
5	医療管理を必要とする在宅療養者と家族への支援2： 吸引、在宅酸素療法、人工呼吸療法	深谷 由美
6	医療管理を必要とする在宅療養者と家族への支援3： 褥瘡ケア、腹膜透析	深谷 由美
7	医療管理を必要とする在宅療養者と家族への支援4： 膀胱留置カテーテル、膀胱瘻、人工肛門・人工膀胱	深谷 由美
8	在宅看護における看護過程の特徴	深谷 由美
9	在宅看護における看護過程の展開1(演習)：情報収集	深谷・松田
10	在宅看護における看護過程の展開2(演習)：アセスメント(1)	深谷・松田
11	在宅看護における看護過程の展開3(演習)：アセスメント(2)	深谷・松田
12	在宅看護における看護過程の展開5(演習)：関連図と課題の抽出(1)	深谷・松田
13	在宅看護における看護過程の展開5(演習)：関連図と課題の抽出(2)	深谷・松田
14	在宅看護における看護過程の展開6(演習)：看護計画立案	深谷・松田
15	在宅看護における看護過程の展開7(演習)：評価、まとめ	深谷・松田

授業方法

講義：第1～8回、演習・第9～15回

時間外学習

予習：各回の教科書の指定ページ部分を読み、内容について理解する。

事前課題がある場合は、積極的に取り組む。(30分)

復習：授業内容の中で理解できなかった部分について調べる。(30分)

その他：課題や演習は積極的に取り組む。在宅看護に関する制度や社会問題に関心を持ち、授業内容と関連づける。(適宜)

教科書

「在宅看護論」, 新版, 木下由美子編著, 医歯薬出版, N43/Ki46, 9784263235324

参考図書

- 「国民衛生の動向 2020/2021」（雑誌「厚生指標」増刊），厚生労働統計協会編集，厚生労働統計協会，雑誌・製本雑誌架
 - 「在宅看護論」（系統看護学講座，統合分野），第5版，河原加代子著者代表，医学書院 N08/Ke28/5th，9784260027625
 - 「在宅看護論：実践をことばに」，第6版，杉本正子，真船拓子編，ヌーヴェルヒロカワ，N43/Su38/6th，9784861740688
 - 「在宅看護学」，第6刷増補新訂版，波川京子，三徳和子編集，クオリティケア，N43/N47，9784904363768
 - 「地域療養を支えるケア」（ナーシング・グラフィカ，在宅看護論1），第6版，臺有桂，石田千絵，山下留理子編，メディカ出版，N08/N99/1，9784840465205
 - 「写真でわかる訪問看護アドバンス：訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ！」，新訂版，押川真喜子監修，インターメディカ，N43/Sh13，9784899964117
- その他、必要に応じて授業で提示する。

評価方法

課題の提出状況および内容（50%）、小テスト（40%）、受講態度（10%）を合計して評価する。

フィードバック

課題レポート学習や授業後のアクションカード等により、学生が授業内容を振り返り習得できるようにする。疑問点などについては、適宜教員が助言および回答を行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

在宅看護学実習	3～4年 後期～前期	2単位 (90時間)	必修
担当: 松田 優子・深谷 由美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

在宅療養者と療養生活を支える家族の生活状況を理解するとともに、各施設の概要と在宅ケアの実際を通して、必要な在宅看護を実践するための基礎的能力を養う。また、在宅ケアにおける保健医療福祉制度の活用と連携のあり方について学ぶ。

【到達目標】

1. 在宅療養者と家族が地域で療養生活を継続するために必要な看護を実施できる。
2. 在宅療養者を支える在宅看護の機能と看護師の役割を理解する。
3. 在宅ケアを支える保健医療福祉サービスの連携や協働を理解する。
4. 看護倫理をふまえ、学習者として積極的な態度で実習に臨み、責任ある行動をとることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	1. 実習期間：2週間 2. 実習は、愛知県内の訪問看護ステーションで行う。 3. 実習内容は、見学ではなく参加型学習とする。 4. 学生は、1クールあたり4～7施設ごとのグループに分かれ、実習を行う。1施設あたりの学生は2～4人とする。 5. 実習初日は、学内でオリエンテーションを行う。	松田 優子 深谷 由美

授業方法

実習施設における実習

時間外学習

予習：講義内容について十分復習する。実習計画について事前学習をする。(1時間)
 復習：日々の学習内容を振り返り、翌日の課題を明確にする。(2時間)
 その他：在宅看護に関する制度や社会問題に関心を持つ。(適宜)

教科書

「在宅看護論」, 新版, 木下由美子編著, 医歯薬出版, N40/Ki46, 9784263235324

参考図書

「国民衛生の動向 2020/2021」(雑誌「厚生の指標」増刊), 厚生労働統計協会編, 厚生労働統計協会, 雑誌・製本雑誌架
 「地域療養を支えるケア」(ナーシング・グラフィカ, 在宅看護論1), 第6版, 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編, メディカ出版, N08/N99/1, 9784840465205
 「写真でわかる訪問看護アドバンス: 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!」, 新訂版, 押川真喜子監修, インターメディカ, N43/Sh13, 9784899964117

評価方法

実習目標にそった評価〔80%〕、実習態度〔20%〕で評価する。

フィードバック

事前課題や実習記録の中で学びを振り返り、学習不足の部分について助言し再学習を促す。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

家族看護論	3年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 大西 文子・小林 尚司・原田 真澄・石黒 千映子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

様々な健康障害のある人を家族員にもつ家族のヘルスニーズや、家族の健康問題によって発生する家族問題を知り、家族の健康管理機能や介護機能を高めるための基礎知識を修得する。

【到達目標】

1. 家族に対する看護の必要性を説明できる。
2. 家族を理解するための方法を説明できる。
3. 様々な健康障害のある人を家族員にもつ家族に生じる問題について理解し、支援の必要性を説明できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	家族とは、家族のもつケア機能、家族理論と家族の理解	大西 文子
2	家族看護の視点：家族アセスメントを中心に	大西 文子
3	家族看護の実践 (1)乳幼児を家族員にもつ家族の理解と支援	大西 文子
4	(2)救急医療・集中治療の場における家族の理解と支援	大西 文子
5	(3)障がいのある人を家族員にもつ家族の理解と支援	原田 真澄
6	(4)高齢者を家族員にもつ家族の理解と支援	小林 尚司
7	(5)終末期患者を家族員にもつ家族の理解と援助	石黒 千映子
8	まとめ	大西 文子

授業方法

第1回：講義、第2回：講義、第3～4回：講義・演習・発表、
第5回：講義・演習、第6回：講義・演習、第7：講義・演習・発表、第8回：講義・演習・発表

時間外学習

予習：学習内容について、教科書および参考図書で学習してくること（15分）
復習：配布資料と授業中に示したポイントを照らし合わせて学習すること（15分）
その他：授業中に理解できなかったことは、わからないままにせず担当教員に質問すること

教科書

「家族看護学：理論と実践」,第5版,鈴木和子,渡辺裕子,佐藤律子著,日本看護協会出版会,N51/Su96/5th,9784818022089

参考図書

特になし

評価方法

筆記試験（90%）、受講態度及び参加状況（10%）により総合的に評価する。

フィードバック

單元ごとの質問に対して、次回の授業開始時に説明するなどのフィードバックを行う。

その他

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

医療安全	3年 後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 松浦 正子・南谷 志野			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

わが国の医療安全対策をふまえ、安全な看護サービスを行う上で日常的に起こる可能性がある医療事故とその対応について学ぶ。

【到達目標】

1. 医療安全の基本的概念と基本的用語を理解できる。
2. 医療事故発生メカニズムと事故防止の考え方や方法について理解できる。
3. 看護業務に関わる医療事故の種類や対策、事故後の対応について理解できる。
4. 看護職の安全を脅かすリスクと対策について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス、医療安全の概念、わが国における医療安全への取り組み	松浦 正子
2	医療事故発生メカニズムと事故分析	南谷 志野
3	職場における安全文化の醸成	松浦 正子
4	チームステップス（医師への報告場面：SBAR、2チャレンジルール、CUS、チェックバック）：演習	松浦 正子 南谷 志野
5	看護業務における医療事故の種類と対策	南谷 志野
6	看護職の安全を脅かすリスクと対策	南谷 志野
7	医療事故後の対応	松浦 正子
8	在宅看護における医療事故と安全対策	南谷 志野

授業方法

第1～3、5～8回：講義・討議
第4回：演習

時間外学習

予習：実習での体験を振り返り、医療安全対策を想起して授業に臨む。
各回に対応する教科書を読み、概要を理解する。（30分）
復習：教科書、ノート、配布資料等を再度確認し、理解を深める。（30分）

教科書

「医療安全」（ナースング・グラフィカ、看護の統合と実践2）、第4版、松下由美子、杉山良子、小林美雪編集、メディカ出版、N08/N99/2、9784840472128

参考図書

授業中に適宜紹介する。

評価方法

筆記試験（60％） 課題の提出（10％） 受講態度：参加態度と貢献度（30％）

課題のテーマは「これまでの実習体験を振り返り、臨地における医療安全対策を一つ以上挙げよ」である。なお、その対策の実施状況や目的（いつ・誰が・何を防ぐために・どのようにしているか）等を分かる範囲で簡潔に記述（箇条書きでも可）すること。形式は、A4（40字×40行）1枚以内、表紙・チェックリスト不要、右上に提出年月日・学籍番号・氏名を記載することとする。提出期限および提出先は、第1回講義日に提示する。

フィードバック

出席カードに記載された質問に対して、次回の授業で説明を行う。
課題のフィードバックは、第5回講義内で行う。

その他

看護管理者として経験豊かな教員が専門知識を本科目で教授する。

看護管理論	4年 前期	1単位 (15時間)	必修
担当: 松浦 正子・南谷 志野			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

保健・医療・福祉・介護の政策動向をふまえ、看護実践の場における看護管理の実際と課題について学ぶ。

【到達目標】

1. 看護管理とは何かを理解できる。
2. 看護管理の基盤となる概念や理論、法律や制度について理解できる。
3. 看護を効果的・効率的に提供するための「しくみ」や「しかけ」、資源管理（ヒト・モノ・カネ・情報）について理解できる。
4. チーム医療における看護職の役割について理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	ガイダンス、看護管理および看護サービスの定義・概念、組織論	松浦 正子
2	看護管理における効果性と効率性（看護提供方式、看護体制）	南谷 志野
3	医療・看護サービスの質管理（資源管理と質評価）	南谷 志野
4	多職種との連携・協働	南谷 志野
5	看護管理に求められるスキル（意思決定、コミュニケーション、リーダーシップ、動機付け、組織変革など）	南谷 志野
6	医療経済・経営と看護管理（入院基本料、DPC、「重症度、医療・看護必要度」）	松浦 正子
7	看護の専門性と職能団体，看護政策	松浦 正子
8	看護専門職としてのキャリア開発（人材育成・活用）	松浦 正子

授業方法

第1～8回：講義・討議

時間外学習

予習：各回に対応する教科書を読み、概要を理解する。（30分）

復習：教科書、ノート、配布資料等を再度確認し、理解を深める。（30分）

教科書

「看護管理」（ナーシング・グラフィカ、看護の統合と実践1），第4版，吉田千文，志田京子，手島恵，武村雪絵編集，メディカ出版，N08/N99/1，9784840461351

参考図書

授業中に適宜紹介する。

評価方法

筆記試験（70％） レポート（20％） 受講態度：参加態度と貢献度（10％）

レポート課題は「講義内容とこれまでの実習体験を振り返り、看護管理とは何かについてあなたの言葉で説明せよ」である。形式は、A4（40字×40行）1枚程度、表紙・チェックリスト不要、右上に提出年月日、学籍番号、氏名を記載することとする。提出期限および提出先は、第1回講義日に提示する。

フィードバック

出席カードに記載された質問に対して、次回の授業で説明を行う。

その他

看護管理者として経験豊かな教員が専門知識を本科目で教授する。

統合実習	4年 通年	2単位 (90時間)	必修
担当: 看護専門教員全員・村瀬 智子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護学実習の集大成として、対象がもつ健康問題を全体的に捉えることを通して、これまで学習してきた看護の知識・技術を統合して看護ケアを行うと共に、保健医療福祉チームの一員として看護の専門性や役割を検討する。

【到達目標】

- 保健医療福祉チームの一員としての看護の専門性や役割について理解を深める。
 - 看護チームの目標、看護体制について理解できる。
 - 看護ケアを効果的に提供するためのしくみを理解できる。
 - 看護チームと多職種との連携について理解できる。
 - 看護チームのリーダー、看護管理者の役割を理解できる。
 - 組織横断的活動を行う看護職者の役割を理解できる。
- 各医療施設・地域等の看護サービスの場で、看護の対象者にとって必要な看護ケアや看護専門職としての活動を見学・実施し、保健医療福祉チームにおける看護の独自性・専門性について理解を深める。
 - 対象がもつそれぞれの課題や、看護に関連する行政等の活動について、助言を受けて全体的・構造的に捉えることができる。
 - 家族を含む複数の看護の対象者に対する適切な看護ケア方法の選択・優先度の決定、または看護専門職に対する支援について、クリティカルに検討することができる。
 - 多様な看護サービスの場での実習体験を通して、看護の独自性・専門性について考察し、自分の考えを述べるができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1週目	<p>【到達目標1に関する実習】看護管理実習</p> <p>1. 実習方法(実習施設によって異なることもある)</p> <p>(1) 学生は各自の学習課題を明確にして実習に臨む。</p> <p>(2) 実習期間: 1週間</p> <p>(3) 病院実習 看護管理者(看護部長、副看護部長、看護師長)、副看護師長、看護チームリーダー、スタッフナース、組織横断的活動を行う看護職者(専従認定看護師、専従専門看護師、専従退院調整看護師、専従医療安全管理者、専従教育担当者など)と可能な限り行動を共にし、看護管理の視点から参与観察する。その後、個別面談を行い、参与観察中の疑問や気づきについて確認する。 看護チームのカンファレンス、多職種協働による患者カンファレンスや病棟ラウンドを見学する。 夜勤看護師から日勤看護師への引継ぎや、日勤看護師から夜勤看護師への引継ぎを見学する。 実習体験を整理し、学習目標に到達するため、日々のカンファレンスを30分程度行う。</p> <p>(4) 学内実習 グループワーク・発表 病院実習において、どのような学びがあったのかについてグループ・ディスカッションを行い、発表する。</p> <p>2. 実習場所: 下記のいずれかの施設で行う。 岐阜赤十字病院、高山赤十字病院、静岡赤十字病院、浜松赤十字病院、諏訪赤十字病院、長野赤十字病院、飯山赤十字病院、伊勢赤十字病院、富山赤十字病院、福井赤十字病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、豊田厚生病院、刈谷豊田総合病院、トヨタ記念病院、八千代病院、愛知県がんセンター病院</p>	松浦・山田 南谷・中島 竹内・巻野 加藤

回数	内容	担当者
2週目	<p>【到達目標2に関する実習】領域別統合実習</p> <p>1. 実習方法（各領域や看護サービスの場によって異なることもある）</p> <p>(1) 学生は各自の学習課題を明確にして実習に臨む。</p> <p>(2) 実習期間：1週間</p> <p>(3) 病院や地域における看護サービスの場における実習オリエンテーションの後、スタッフナースと行動を共にし、直接的なケアや看護チームへの連絡・報告などを見学または一部実施する。</p> <p>(4) 各専門領域における看護の独自性・専門性を活かしたナースの活動を見学する。</p> <p>(5) 看護チームのカンファレンスや他職種とのカンファレンスに参加する。</p> <p>(6) 家族を含む複数の対象者に対する看護を体験する。</p> <p>(7) 原則として、日常生活や診療に伴う援助技術のすべてまたは一部を実施する。実習施設における特徴的なケアや、厚生労働省が示した看護師教育の技術項目と卒業時の到達度に示された「：単独で実施できる」、「：看護師・教員の指導のもとで実施できる」とされている項目の中から選択する。</p> <p>(8) 実習体験を整理し、実習目標に到達するためのカンファレンスを行う。 日々のカンファレンス：毎日 30 分程度実施する 最終カンファレンス：実習目標に即してどのような学習ができたのかを発表・討論し、発表内容をグループで共有することで看護の独自性・専門性について理解を深める。</p> <p>2. 実習場所 実習する領域により異なる（説明資料参照）。</p>	基礎看護学領域の教員を除く看護専門教員

授業方法

実習

時間外学習

- 予習（15分）： 実習施設の法的位置づけ、看護チームとしての役割・機能、看護体制、看護提供方式について学習しておく。
 過去の実習を振り返り、最後の実習としての、自己の課題を明確にしておく。
 関連する文献等も活用しながら実習目標と行動計画を明確にし、日々の実習に臨む。
- 復習（15分）：実習記録用紙を活用してその日に行った実習内容を振り返り、学んだ内容を整理する。
- その他：主体的かつ計画的に予習と復習を行うこと。

教科書

特に指定しない。

参考図書

特に指定しない。適宜紹介する。

評価方法

実習内容（80％）、実習記録（10％）、参加状況（10％）で総合的に評価する。

フィードバック

実習中の個別指導やカンファレンスにおける学生・教員の相互作用の過程で思考の幅を広げるとともに、問題解決に向けた主体的取り組みが促進できるよう適宜、関わり指導する。

その他

事前学習および準備等のうち、実習開講施設の特性に関連する内容については後日指示する。
 看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、臨地における視点・思考力等を本科目で教授する。

看護研究方法	3年 後期	2単位 (30時間)	必修
担当: 小林 尚司・森田 一三・村瀬 智子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問や問題を科学的に探求する能力を養う。また、研究に必要な基本的用語や代表的な研究方法論の基礎を学習する。

【到達目標】

1. 看護研究の意義を認識し、看護研究に必要な文献検索と文献検討、研究計画書の作成、研究における倫理を理解できる。
2. 量的研究では量的なアプローチの研究デザイン、質問紙法、量的なデータの分析方法を、質的研究では多様な研究方法について理解できる。
3. 研究論文を批判的に読むことができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	看護研究の意義	村瀬 智子
2	文献検索と文献検討	村瀬 智子
3	研究計画書の作成	村瀬 智子
4	看護研究における倫理的配慮	村瀬 智子
5	論文の書き方	村瀬 智子
6	看護研究の実践への活用	村瀬 智子
7	量的研究の概要	森田 一三
8	質問紙の使用法	森田 一三
9	量的研究の分析方法	森田 一三
10	量的研究の論文の講読	森田 一三
11	質的研究とは	小林 尚司
12	データ収集の方法としての面接法と参加観察法	小林 尚司
13	多様な質的研究方法 - 事例研究、グラウンデッド・セオリー・アプローチなど	小林 尚司
14	質的研究論文のまとめ方 - 内容分析と KJ 法	小林 尚司
15	看護研究のクリティーク	小林 尚司

授業方法

講義と演習を行う。

時間外学習

予習：事前に教科書を読み、講義に出席する。(30分)

復習：授業内容で理解できなかった部分について調べる。(30分)

その地：興味を持った現象を理解するために、医学中央雑誌などのデータベースを用いて、文献検索をする。(適宜)

教科書

「黒田裕子の看護研究step by step」, 第5版, 黒田裕子著, 医学書院, N07/Ku72/5th, 9784260030151

参考図書

適宜、紹介する。

評価方法

講義への参加態度(15%)と以下の内容を合計して評価する。

第1~6回 演習課題への取り組み(35%)、第7~10回 課題レポート(25%)、

第11~15回 課題レポート(25%)

フィードバック

学習のフィードバックは授業内で行う。

その他

看護師としての勤務経験や公衆衛生に関する専門知識を持つ担当教員が、看護研究に関する基本的知識・技術を本科目で教授する。

看護活動と研究	4年 後期	2単位 (30時間)	選択
担当: 小林 尚司・野口 眞弓・大西 文子・東野 督子・山田 聡子・村瀬 智子・深谷 由美・松浦 正子			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護のトピックスを社会の情勢や医療・保健・福祉の動向から捉え理解し、看護の今日的研究課題について論述する。

【到達目標】

1. 基礎、母性、小児、成人、老年、精神、在宅看護学ならびに看護管理のトピックスを理解できる。
2. 基礎、母性、小児、成人、老年、精神、在宅看護学ならびに看護管理の国家試験の出題傾向が理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	基礎看護学トピックス	山田 聡子
2	母性看護学トピックス(1)	野口 眞弓
3	母性看護学トピックス(2)	野口 眞弓
4	小児看護学トピックス(1)	大西 文子
5	小児看護学トピックス(2)	大西 文子
6	成人看護学トピックス(1)	東野 督子
7	成人看護学トピックス(2)	東野 督子
8	成人看護学トピックス(3)	東野 督子
9	老年看護学トピックス(1)	小林 尚司
10	老年看護学トピックス(2)	小林 尚司
11	精神看護学トピックス(1)	村瀬 智子
12	精神看護学トピックス(2)	村瀬 智子
13	在宅看護学トピックス(1)	深谷 由美
14	在宅看護学トピックス(2)	深谷 由美
15	看護管理トピックス	松浦 正子

授業方法

第1回・第3回～第15回：講義、第2回・第3回：クリッカーを使用する。

時間外学習

予 習：講義担当領域の国家試験の勉強をする。(30分)

復 習：授業内容の中で理解できなかった部分について調べる。(30分)

その他：学内において医学書院系統的看護師問題WEBを活用する。(適宜)

教科書

随時紹介する。

参考図書

随時紹介する。

評価方法

参加状況(100%)

フィードバック

学習のフィードバックは授業内で行う。

その他

選択科目であるが、看護についての卒業時における最新の内容や国家試験の動向なども触れるため全員出席が望ましい。

看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

卒業研究	4年 通年	4単位 (120時間)	必修
担当: 専門基礎・専門科目の講師以上			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護研究方法および既存の諸学の知識を基盤に、疑問や興味、関心をもった看護上の現象や疑問を科学的・系統的に探求する方法を学び、卒業論文としてまとめる。

【到達目標】

1. 研究課題を明確にすることができる。
2. 研究課題周辺の文献検討ができる。
3. 研究目的・方法を記述することができる。
4. 計画に基づき研究の過程を経ることができる。
5. 論文として記述することができる。
6. 抄録を作成できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	1. 研究をするに至った看護上の経緯を明確にする 2. 解決するための方法を検討する 3. 計画に基づいて実施する (データ収集、分析、考察の過程を経る) 4. 卒業論文としてまとめる 5. 卒業論文抄録を作成する 6. 各ゼミで発表する	各担当教員

授業方法

各担当教員による。

時間外学習

各担当教員による。

教科書

随時紹介

参考図書

随時紹介

評価方法

論文内容(60%)、発表(10%)、研究への取り組み(20%)、参加状況(10%)等から総合的に評価する。
論文内容の評価は到達目標に準じる。

フィードバック

発表時にコメントを伝える。

その他

看護師・保健師・医師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識を本科目で教授する。

赤十字災害看護学演習	4年 後期	1単位 (30時間)	必修
担当: 小林 洋子・長尾 佳世子・藤井 愛海			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

赤十字の基本原則に基づく災害救護活動を理解するとともに、災害時に看護が果たす役割や災害救護活動に必要な知識と援助方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 急性期・亜急性期の災害医療・看護について説明できる。
2. 災害時の自助、公助を理解した行動を考えられる。
3. 避難所・救護所設営時の留意点について説明できる。
4. 災害救護時、多職種との協働について説明できる。
5. 災害救護活動における看護師の役割について考えることができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	授業ガイダンス 災害救護における看護師の役割	小林 長尾・藤井
2	災害医療総論	花木
3	模擬避難所体験を通じて自助・共助と避難所の環境を知る	小林 長尾・藤井
4	避難所で使用する物品の取り扱い	小林 長尾・藤井
5	避難所でのアセスメント 災害時に起こりやすい健康障害とその予防	小林 長尾・藤井
6	大規模災害実動訓練への参加・見学ガイダンス 避難所・救護所の設営を考える	小林 長尾・藤井
7	大規模災害実動訓練への参加・見学（一部） 1) 現地救護所活動 2) 災害拠点病院支援活動 3) 災害時、広域搬送訓練	小林 長尾・藤井
8	大規模災害実動訓練への参加・見学（一部） 1) 現地救護所活動 2) 災害拠点病院支援活動 3) 災害時、広域搬送訓練	小林 長尾・藤井
9	大規模災害実動訓練への参加・見学（一部） 1) 現地救護所活動 2) 災害拠点病院支援活動 3) 災害時、広域搬送訓練	小林 長尾・藤井
10	大規模災害実動訓練への参加・見学（一部） dERUを使用した救護所運営 避難所アセスメント	小林 長尾・藤井
11	大規模災害実動訓練への参加・見学（一部） dERUを使用した救護所運営 避難所アセスメント	小林 長尾・藤井
12	災害医療総論	花木
13	避難所・救護所の設営を考える	小林 長尾・藤井
14	避難所・救護所の設営を考える（共有）	小林 長尾・藤井
15	避難所・救護所の設営を考える（共有）	小林 長尾・藤井

授業方法

第1回～第2回、第5回、第12回：講義、第3回～第4回、第7回～第11回：演習、第6回、第13回～第15回：グループワーク・共有

時間外学習

- 予習：各回の教科書の指定ページを読み、理解する。(30分)
復習：授業資料を読み理解できなかったことを調べる。(30分)
救急法実技はできるようになるまで練習する。(60分)
その他：赤十字の救護活動に関するニュースに関心を持ち、情報収集する。(適宜)

教科書

- 「災害看護学・国際看護学」(系統看護学講座,看護の統合と実践3),第4版,浦田喜久子編,医学書院,N08/Ke28/3,9784260035705
「赤十字救急法基礎講習教本」,第3版,日本赤十字社編,日赤サービス,R1.07/N77/3rd
「赤十字救急法講習教本」,第8版,日本赤十字社編,日赤サービス,R1.07/N77/8th
「災害時のこころのケア」,日本赤十字社編,日赤サービス,N10.51/N77

参考図書

- 「災害看護学習テキスト概論編」,南裕子,山本あい子編,日本看護協会出版会,N10.5/Mi37,9784818012714
「災害看護学習テキスト実践編」,南裕子,山本あい子編,日本看護協会出版会,N10.5/Mi37,9784818012578
「災害看護:心得ておきたい基本的な知識」,第3版,斎藤正子,板垣知佳子編,南山堂,N10.51/Ko44/3rd,9784525502539
「災害が起こったときにあなたが支援できること:災害時高齢者生活支援講習ハンドブック」,日本赤十字社企画編集,日赤サービス,赤十字資料コーナー

評価方法

レポート〔60%〕、演習・グループワーク参加貢献度〔40%〕を合計して評価する。

フィードバック

グループワーク、まとめ、発表にて助言する。
日本赤十字愛知県支部 救護班要員研修見学时に適宜、説明する。

その他

大規模災害実動訓練とは日本赤十字社愛知県支部救護班要員研修を示す。
大規模災害実動訓練への参加・見学(一部)に際しては事前のガイダンスを踏まえて参加する。
大規模災害実動訓練が中止の場合は同等の講義内容を別途開講する。
看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

赤十字健康生活支援演習	3年 後期	1単位 (15時間)	選択
担当: 松田 優子・深谷 由美			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

健康生活支援講習を通して、地域における高齢者に起こりやすい事故の予防と手当、支援活動の心がまえ、日常生活の自立に向けた具体的な介護技術、認知症の理解と高齢者への対応、在宅での看取りの要件などについて多くの演習を行い学ぶ。

【到達目標】

1. 地域における高齢者支援に役立つ基礎的知識・技術を習得できる。
2. 高齢者に起こりやすい事故の予防・手当の方法について述べるができる。
3. 日常生活の自立に向けた具体的な介護技術を習得できる。
4. 認知症の理解と高齢者への対応、看取りの援助を考え述べるができる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	高齢者の健康と安全	松田・深谷
2	地域における高齢者支援に役立つ知識と技術	松田・深谷
3	日常生活の具体的な介護の知識と技術：自立をめざした介護	松田・深谷
4	日常生活の具体的な介護の知識と技術：食事・排泄ケア	松田・深谷
5	日常生活の具体的な介護の知識と技術：熱布浴	松田・深谷
6	認知症の理解と高齢者への対応	松田・深谷
7	在宅での看取りの要件	松田・深谷
8	癒しのハンドケア・介護者の健康管理、まとめ	松田・深谷

授業方法

各回：講義、演習

時間外学習

予習：各回の教科書の指定ページを読み、内容について理解する。(30分)
復習：授業内容の中で理解できなかった部分について調べ整理する。(30分)
その他：実技の学習は積極的に取り組み、学びをまとめる。地域での高齢者支援などに
関心を持ち、情報収集をする。(適宜)

教科書

「健康生活支援講習」, 日本赤十字社, 日赤サービス, R1.07/N77

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

試験(80%)、受講態度(参加・貢献度)(20%)を合算して評価する。

フィードバック

演習の中で適宜その場で指導や助言、質問に答え、フィードバックする。

その他

全課程修了者に受講証、検定合格者に赤十字健康生活支援講習支援員の資格が与えられ、
「赤十字健康生活支援講習支援員認定証」が授与される。
看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。

赤十字幼児安全演習	4年 通年	1単位 (15時間)	選択
担当: 大西 文子・岡田 摩理			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

幼児安全法支援員養成講習を通して、子どもの尊いいのちを守り、社会全体で子どもを大切に育てるために、子どもに起こりやすい事故に対する事故予防と手当の方法、家庭内での看病の方法や災害時の乳幼児支援など、地域での生活の中で役立つ知識や技術を習得する。

【到達目標】

1. 子どもの成長・発達と事故予防が理解できる。
2. 子どもに起こりやすい事故や怪我における応急手当を習得できる。
3. 子どもに起こりやすい病気と家庭内での看病の仕方について理解できる。
4. 災害時の乳幼児支援など地域での生活の中で役立つ知識と技術を習得できる。
5. 乳幼児の一次救命処置について知識と技術を習得できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	子どもの成長・発達と事故予防	大西・岡田
2	子どもに起こりやすい事故と応急手当	大西・岡田
3	子どもに起こりやすい怪我と応急手当	大西・岡田
4	子どもの病気と家庭内での看病の方法	大西・岡田
5	災害時の乳幼児支援および地域の子育て支援	大西・岡田
6	乳幼児の一次救命処置 1 (胸骨圧迫と人工呼吸、AED)	大西・岡田
7	乳幼児の一次救命処置 2 (気道異物除去)	大西・岡田
8	まとめ・試験	大西・岡田

授業方法

第1回：講義、第2～第4回：講義・演習、第5回：講義、第6～第8回：講義・演習

時間外学習

予習：各回の教科書の指定ページを読み、内容について理解する。(1時間)
 復習：授業内容の中で理解できなかった部分について調べ整理する。(1時間)
 その他：演習時間を有効に活用し積極的に取り組むことができる。

教科書

「赤十字幼児安全法講習教本」, 日本赤十字社, 日赤サービス, R1.07/N77
 「赤十字幼児安全法講習教本：乳幼児の一次救命処置」, 日本赤十字社, 日赤サービス, R1.07/N77

参考図書

特になし

評価方法

試験(80%)、受講態度及び参加状況(20%)を合算して評価する。

フィードバック

演習の中で指導を受けたことや習得不足の内容について、授業終了時にまとめる。

その他

全課程修了者に受講証、検定合格者に赤十字幼児安全法支援員の資格が与えられ「赤十字幼児安全法支援員認定証」が授与されます。
 看護師としての勤務経験を持つ担当教員が、専門知識・技術を本科目で教授する。
 COVID19感染状況によっては開講できない可能性がある。

国際救援看護論実習	3年 通年	1単位 (45時間)	選択
担当: 小林 洋子・長尾 佳世子・藤井 愛海			

授業目的及び到達目標

【授業目的】

異文化を理解し、諸外国で生活している人々の健康の回復・維持・増進や QOL の向上をめざして実践される諸外国における保健活動や医療支援の実際を学習する。この学習を通し、将来、国際的な保健医療支援活動としての看護実践ができる基本的能力を培う。また、赤十字の国際救援事業や開発協力事業への参加に関心を高める。

【到達目標】

1. 国際的な保健医療支援活動について説明できる。
2. 訪問国の文化・生活習慣・宗教・価値観など異文化について理解ができる。
3. 将来、国際的な保健医療支援活動としての看護実践ができる基本的能力について説明できる。
4. 諸外国における保健医療支援のあり方について考えることができる。
5. 現地、赤十字社の訪問を通し、国際赤十字の活動を理解できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
	1. 実習施設は他国赤十字社・政府機関・NGO等の関連施設である。 2. 実習期間は、1週間程度（移動日含む）である。 4. 実習方法は、次のとおりである。 学内で実習目的・目標、実習方法の説明を受ける。 実習前にゼミ形式で、訪問国について理解を深める。 訪問国赤十字社の活動、保健医療の現状や、他国からの保健医療支援の現状等を学習する。 現地で保健医療支援活動の見学、及び一部参加する。 これらの体験をもとに、国際的な保健医療支援のあり方や将来、国際的な保健医療支援をするためにどのような学習を深めればよいか意見交換をする。	小林・長尾・藤井

授業方法

学内演習と、訪問国における8日間（移動日含む）の現地実習

時間外学習

予習：訪問国の歴史や医療・保健制度について調べる。（適宜）
 復習：赤十字災害看護学、国際救援看護論、国際救援看護論演習において関心のある内容や、十分理解が得られなかった内容を探究する。（適宜）
 その他：訪問国や保健医療に関する国内外のニュースに関心をもち、情報収集する。（適宜）

教科書

「災害看護学・国際看護学」（系統看護学講座、統合分野・看護の統合と実践3）、第4版、浦田喜久子他編、医学書院、N08/Ke28/3、9784260035705

参考図書

適宜紹介する。

評価方法

レポート（60%）、実習記録（30%）、実習態度（10%）

フィードバック

1. 事前学習において助言する。
2. 実習中、カンファレンスを行ない、学生の学びについて助言する。
3. 日々の実習記録に助言し返却する。
4. 実習の学びをまとめる際に助言する。
5. 報告会を開催し、参加者から助言を得るようにする。

その他

- ・実習終了後、報告会を開催する。
- ・諸般の状況で、他国を訪問する実習が困難な場合は、国内において国際救援看護について学習する方法に切り替えることがある。
- ・看護師としての勤務経験を持つ担当教員が実地における視点・思考力等を本科目で教授する。



日本赤十字豊田看護大学

〒471-8565

愛知県豊田市白山町七曲12番33

TEL 0565-36-5111

FAX 0565-37-8558

ホームページ <http://www.rctoyota.ac.jp/>